

SL-D550

ユーザーズガイド

本機の使い方全般を説明しています。

商標

Apple、Mac、macOS、OS X、Bonjour、Safari、AirPrint、iPad、iPhone、iPod touch、iBeacon、iTunes、ColorSync は米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。"iPhone" の商標は日本国内においてアイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。

Use of the Works with Apple badge means that an accessory has been designed to work specifically with the technology identified in the badge and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.

The Mopria® wordmark and the Mopria® Logo are registered and/or unregistered trademarks of Mopria Alliance, Inc. in the United States and other countries. Unauthorized use is strictly prohibited.

Google Chrome、Chromebook、Android、Google Play は Google LLC の商標です。

Adobe、Photoshop、Photoshop Elements、Photoshop Lightroom、Acrobat、Reader は、米国ならびに他の国における Adobe の登録商標または商標です。

Microsoft、Windows は、マイクロソフト グループの企業の商標です。

Firefox is a trademark of the Mozilla Foundation in the U.S. and other countries.

AOSS™ は株式会社バッファローの商標です。

QR コードは (株) デンソーウェーブの登録商標です。

その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不恰当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

インクボトルは純正品をお勧めします

プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクボトルを使用することをお勧めします。指定外のインクを使用すると、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できないことがあります。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。指定外のインクの使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

もくじ

マニュアルの見方	6
マークの意味	6
安全に関するマーク	6
一般情報に関する表示	6
掲載画面	6
掲載イラスト	6
OS の表記	6
Windows	6
Mac OS	6
マニュアルの構成	7
PDF マニュアルの見方	7

ご使用の前に	9
各部の名称と働き	9
前面	9
内部	10
背面	11
操作パネル	12
画面の見方と操作	13
ホーム画面	13
文字入力画面	14
使用上のご注意	15
製品本体取扱上のご注意	15
用紙に関するご注意	15
インクボトル取り扱い上のご注意	17
ソフトウェアの紹介	18
メンテナンスツールのインストール (Windows のみ)	20
インストール方法	20
EPSON Software Updater の使い方	20
更新されたか確認してアップデート	20
アップデートの通知を受け取る	21
Web Config の使い方	21
起動方法	21
終了方法	21
ソフトウェアの削除	22
Windows	22
Mac OS	22
管理者パスワードに関するご注意	23
初期パスワードの確認方法	23
パスワードの変更方法	23

基本の操作	24
用紙のセット	24
準備するもの	24
用紙のセット方法	24
基本的な印刷方法 (Windows)	27
Photoshop からの印刷方法	27
印刷の中止方法 (コンピューターから)	29
印刷の中止方法 (本機から)	30
基本的な印刷方法 (Mac OS)	30
Photoshop からの印刷方法	30
印刷の中止方法 (コンピューターから)	33
印刷の中止方法 (本機から)	33

各種機能を使った印刷	34
色補正	34
色補正の設定	34
色調の手動設定	34
アプリケーションソフトによるカラーマネジメント (色補正なし)	37
プリンタードライバーによるカラーマネジメント (ICM) (Windows)	38
プリンタードライバーによるカラーマネジメント (ColorSync) (Mac OS)	39
四辺フチなし印刷	40
フチなし印刷方法の種類	40
設定手順	41
定形サイズ以外の用紙に印刷	42
Windows での設定	42
Mac OS での設定	43
両面印刷	44
Windows での設定	44
Mac OS での設定	45

スマートデバイスからの印刷	46
Epson Smart Panel で写真を印刷する	46
Epson Smart Panel で文書を印刷する	46
AirPrint を使う	47
Mopria Print Service で印刷する	47

クラウドサービスからの印刷 48

操作パネルから Epson Connect サービスを登録する 48

メンテナンス 49

メンテナンス項目一覧 49

使用済み消耗品の処分 49

 メンテナンスボックスの回収 49

インクの補充 50

 作業時のご注意 50

 インクの補充方法 50

メンテナンスボックスの交換 52

プラテンの清掃 54

給紙ローラーキットの清掃と交換 56

 給紙ローラーキットの清掃 56

 給紙ローラーキットの交換 60

プリントヘッドのノズルチェック 61

 ノズルチェックの種類 61

 ノズルチェックパターンの印刷方法 62

プリントヘッドのクリーニング 63

 クリーニングの種類 63

 プリントヘッドのクリーニング（通常クリーニング） 63

 強力ヘッドクリーニング 63

 インクチューブリフレッシュ 64

メンテナンスツールの使い方 (Windows) 65

メンテナンスツールの概要 65

 起動と終了 65

 メイン画面の説明 66

 プリンター設定画面の説明 68

 システム環境設定画面の説明 72

プリンターのメンテナンス 73

 メンテナンスの種類 73

 ノズルチェックの方法 73

 ノズルチェックパターンの印刷方法 74

 プリントヘッドのクリーニングの方法 75

 ギャップ調整の方法 76

 紙送り調整の方法 77

メンテナンスツールの使い方 (Mac OS) 79

メンテナンスツールの概要 79

 起動と終了 79

 メイン画面の説明 80

 プリンターウィンドウ画面の説明 82

 動作状態設定画面の説明 83

 自動ノズルチェック設定画面の説明 84

プリンターのメンテナンス 86

 メンテナンスの種類 86

 ノズルチェックの方法 86

 ノズルチェックパターンの印刷方法 87

 プリントヘッドのクリーニングの方法 88

 ギャップ調整の方法 89

 紙送り調整の方法 90

用紙情報の追加 92

ペーパー定義ファイルを使った用紙情報の追加 92

 Windows での設定 92

 Mac OS での設定 93

カスタムメディア設定からの用紙情報の追加 (Windows のみ) 94

操作パネルのメニュー 96

設定メニュー一覧 96

設定メニューの説明 100

無線 LAN の接続 108

無線 LAN 接続の種類 108

 無線 LAN (Wi-Fi) 接続 108

 Wi-Fi Direct (シンプル AP) 接続 108

コンピューターとの接続 108

スマートデバイスとの接続 109

 無線 LAN ルーター経由でスマートデバイスに接続 109

 iPhone、iPad、iPod touch で Wi-Fi Direct 接続する 109

 iOS 以外のデバイスと Wi-Fi Direct 接続する 110

プリンターのネットワーク設定 111

 プリンターに SSID とパスワードを入力して設定する 111

 押しボタンで自動設定する (AOSS/WPS) 112

 カンタン自動設定で設定する 113

PIN コードで設定する (WPS) 113

ネットワーク接続診断レポートを印刷する 114

 ネットワーク接続診断レポートの見方と対処方法 114

 E-1 114

 E-2, E-3, E-7 115

 E-5 115

 E-6 115

 E-8 116

 E-9 116

 E-10 116

 E-11 116

 E-12 116

 E-13 117

 ネットワーク環境に関するメッセージ 118

無線 LAN ルーター (アクセスポイント) を交換または追加したときは 119

 コンピューターとの接続設定をする 119

 スマートデバイスとの接続設定をする 119

困ったときは 120

メッセージが表示されたとき 120

 本機に表示されるメッセージ 120

 エラーメッセージについて (Windows) 122

 エラーメッセージについて (Mac OS) 123

 メンテナンスツールに表示されるメッセージコード (Windows のみ) 124

トラブルシューティング 128

 用紙が詰まったときは 128

 印刷できない (プリンターが動かない) 130

 プリンターは動くが印刷されない 131

 フチなし印刷ができない 131

 印刷品質/印刷結果のトラブル 131

 給紙ミス/排紙のトラブル 133

 スマートデバイスと接続されているのに印刷できない (iOS) 133

 その他 133

 トラブルが解消されないときは 133

付録 134

消耗品とオプション 134

使用可能な用紙 134

 エプソン製専用紙 134

 市販のハガキ (日本郵便株式会社製) 135

 その他の市販用紙 135

移動と輸送 137

 移動の方法 137

 輸送の方法 137

システム条件 141

 プリンタードライバー 141

 メンテナンスツール 141

 Web Config 142

仕様一覧 143

 必要スペース 145

サービス・サポートのご案内 146

 エプソンサービスパック 146

 保守サービスのご案内 146

 保守サービスの種類 146

お問い合わせ先 148

製品に関する諸注意 149



オープンソースソフトウェアのライセンス契約について 151

マニュアルの見方




マークの意味

安全に関するマーク

マニュアルでは、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作や取り扱いを次の記号で警告表示しています。内容をご理解の上で本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

一般情報に関する表示

 重要	必ず守っていただきたい内容を記載しています。この内容を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。
 参考	補足説明や参考情報を記載しています。
	関連した内容の参照ページを示しています。
【設定値】	コンピューターの画面に表示される文字列は [] で囲んで示します。
【OK】 ボタン	操作パネルのボタン名称を示しています。

掲載画面

- 本書の画面は実際の画面と多少異なることがあります。また、OSの違いや使用環境によっても異なる画面となることがありますので、ご注意ください。
- 本書に掲載する Windows の画面は、特に指定がない限り Windows 10 の画面を使用しています。
- 本書に掲載する Mac OS の画面は、特に指定がない限り macOS Monterey の画面を使用しています。

掲載イラスト

掲載しているイラストが、お使いの機種と若干異なる場合がございます。ご了承ください。

OS の表記

Windows

本書では、以下の OS（オペレーティングシステム）をそれぞれ「Windows 11」「Windows 10」「Windows 8.1」と表記しています。また、これらの総称として「Windows」を使用しています。

- Microsoft® Windows® 11 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® 10 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® 8.1 operating system 日本語版

Mac OS

本書では、OS X Mavericks を「Mac OS X 10.9.5」と表記しています。また、Mac OS X 10.9.5 以降、および macOS 10.12 以降の総称として「Mac OS」を使用しています。

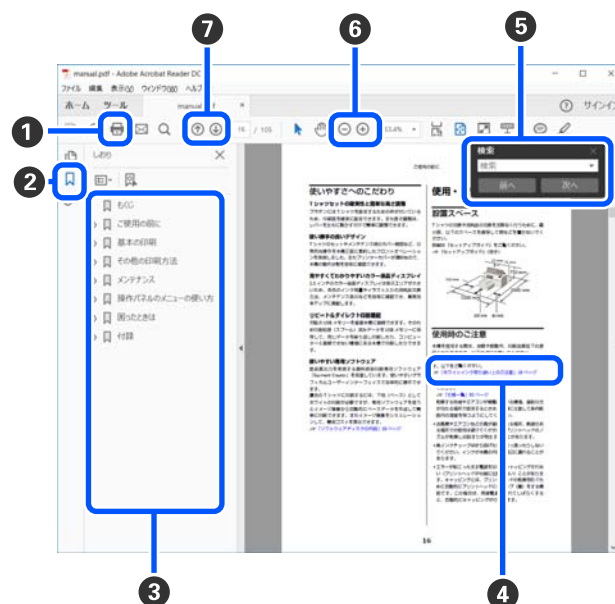
マニュアルの構成

本製品のマニュアルは、以下の構成で提供しています。
PDF マニュアルは、Adobe Acrobat Reader やプレビュー（Mac OS）などでご覧ください。

セットアップガイド	本機を箱から取り出した以降から、本機を使用可能にするまでの作業を説明しています。
安全上のご注意	お客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたいことを説明しています。製品を安全に正しくお使いいただくために、必ずご覧ください。
ユーザーズガイド（抜粋版）（PDF）	日常使用するうえで必要な、基本の操作とメンテナンスの方法を説明しています。
オンラインマニュアル	
ユーザーズガイド（本書）	本機の操作方法や日常お使いいただく上で必要な事項、メンテナンス作業、困ったときの対処方法など本機の使い方全般を説明しています。
システム管理者ガイド（PDF）	システム管理者向けに管理の仕方やプリンターの設定方法を説明しています。

PDF マニュアルの見方

Adobe Acrobat Reader で PDF マニュアルを見る際の基本的な操作を Adobe Acrobat Reader DC で表示したときを例に説明します。



- PDF マニュアルを印刷するときにクリックします。
- クリックするたびに、しおりを閉じたり表示したりします。
- タイトルをクリックすると該当のページが表示されます。
[+] をクリックすると、下の階層のタイトルが表示されます。
- 参照先が青字で記載されているときは、青字の部分をクリックすると該当のページが表示されます。
元のページに戻るときは、以下のように行います。
Windows の場合
Alt キーを押したまま ← キーを押します。
Mac OS の場合
command キーを押したまま ← キーを押します。
- 確認したい項目名などキーワードを入力して検索ができます。
Windows の場合
PDF マニュアルのページ上で右クリックし、表示されたメニューで [簡易検索] を選択すると、検索ツールバーが表示されます。
Mac OS の場合
[編集] メニューで [簡易検索] を選択すると、検索ツールバーが表示されます。

- ⑥ 表示中の文字が小さくて見えにくいときは ⊕ をクリックすると拡大します。⊖ をクリックすると縮小します。イラストや画面図など拡大する部分を指定するには、以下のように行います。

Windows の場合

PDF マニュアルのページ上で右クリックし、表示されたメニューで [マーキーズーム] を選択します。ポインターが虫眼鏡に変わりますので拡大したい箇所を範囲指定します。

Mac OS の場合

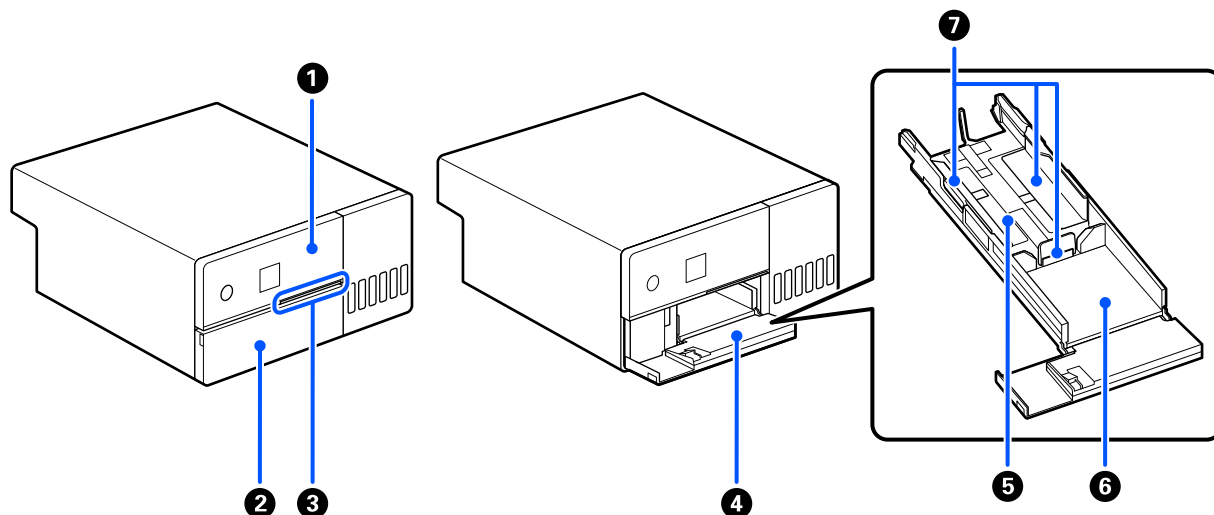
[表示] メニュー - [ズーム] - [マーキーズーム] の順にクリックすると、ポインターが虫眼鏡に変わります。そのまま虫眼鏡のポインターで拡大したい箇所を範囲指定します。

- ⑦ 前ページ/次ページを表示します。

ご使用前に

各部の名称と働き

前面



① 操作パネル

📖 「操作パネル」 12 ページ

② 前面カバー

用紙セット時や印刷時に開けます。印刷を開始すると自動で開きます。

③ 状態表示ランプ

点灯 : エラーが発生しています。
エラーの内容は、画面で確認してください。

消灯 : 正常な状態です。

④ 用紙カセット

用紙セット時に引き出します。

⑤ 給紙エリア

用紙をセットします。

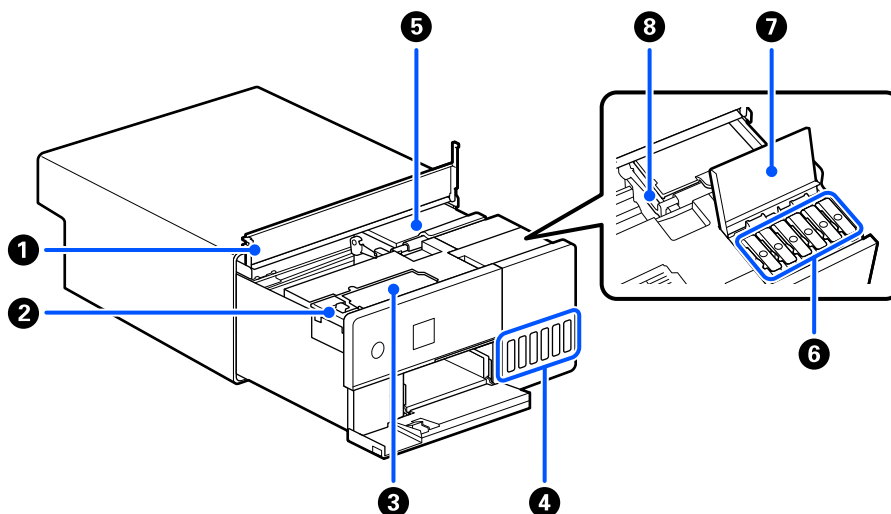
⑥ 排紙エリア

印刷された用紙を保持します。

⑦ エッジガイド

用紙セット時に用紙のエッジに合わせます。

内部



① 内部カバー

用紙詰まりやメンテナンス作業時に開けます。

② メンテナンスボックスカバー

メンテナンスボックスを交換するときに開けます。

③ メンテナンスボックス

インクの廃液をためるための容器です。

☞ [「メンテナンスボックスの交換」52 ページ](#)

④ インクタンク

プリントヘッドにインクを供給します。インク残量も確認できます。

⑤ プリントヘッド

左右に移動しながらインクを吐出して印刷します。プリントヘッドは無理に手で動かさないでください。故障の原因になります。

⑥ インクタンクキャップ

インクタンクにインクを補充するときに開けます。

⑦ インクタンクカバー

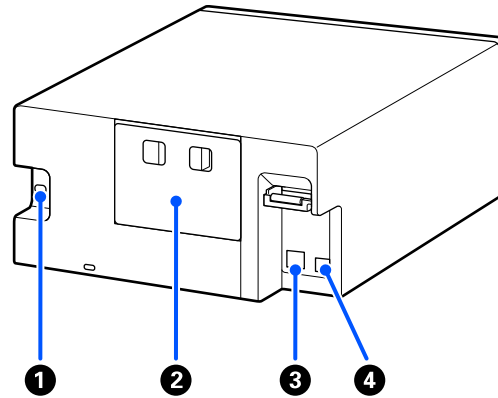
インクタンクにインクを補充するときに開けます。

⑧ 輸送用ロック

移動や輸送をするときに、インクが漏れないように、輸送位置にセットします。通常は印刷位置にセットされています。

☞ [「移動と輸送」137 ページ](#)

背面



① 電源コネクター

電源コードを接続します。

② 背面ユニット

用紙詰まりやメンテナンス作業時に取り外します。

背面ユニットを取り外すと、プリントヘッドが見える位置までプリンターの内部を引き出すことができます。

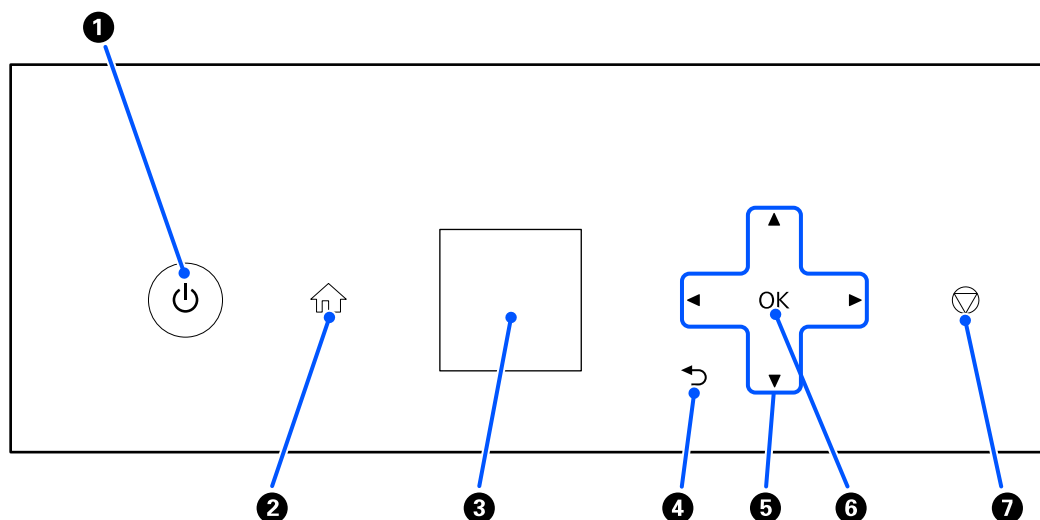
③ LAN ポート

LAN ケーブルを接続します。

④ USB ポート

USB ケーブルを接続します。

操作パネル



① 【】 ボタン（電源ボタン）、ランプ（電源ランプ）

通常は ON（ランプ点灯）の状態で使用します。緊急時や、長期間使用しないときなどはボタンを押して OFF（ランプ消灯）にします。

動作中はランプが点滅します。

② 【】 ボタン（ホームボタン）





設定メニュー表示中などに押すと、ホーム画面に戻ります。

③ 画面

本機の状態やメニュー、エラーメッセージなどが表示されます。

④ 【】 ボタン（戻るボタン）

設定メニュー表示中にひとつ上の階層に戻るときに押します。

⑤ 【】 / 【】 / 【】 / 【】 ボタン（選択ボタン）

設定メニューで項目の選択や文字を入力するときを押します。

⑥ 【OK】 ボタン

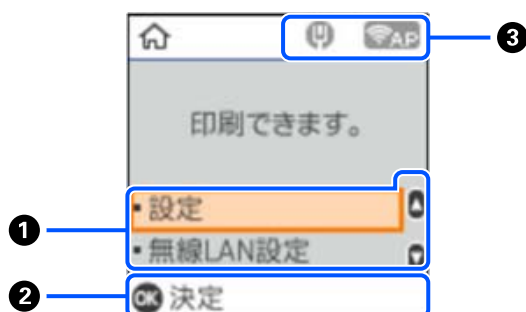
選択や入力を確定するときや、機能を実行するときを押します。

⑦ 【】 ボタン（ストップボタン）

動作を中止するときを押します。

画面の見方と操作

ホーム画面



① 設定メニュー

本機の設定やメンテナンス機能の実行を行います。

【▲】 / 【▼】 ボタンで項目を選び、【OK】 ボタンを押して次画面に進んでください。


[📄 「操作パネルのメニュー」 96 ページ](#)


② 操作ボタンガイド


操作できるボタンが表示されます。この例では、【OK】 ボタンで選択したメニューに進むことを示しています。


③ ネットワーク情報

ネットワークの接続状態をアイコンで表示します。

 : 有線 LAN 非接続、ネットワーク未設定


 : 有線 LAN 接続中


 : 無線 LAN (Wi-Fi) 無効、または接続処理中

 : 無線 LAN (Wi-Fi) 接続に問題がある、または検索中

 : 無線 LAN (Wi-Fi) 接続中

線の数は電波の状態を示します。線の数が多いほど、電波の状態は良好です。

 : Wi-Fi Direct (シンプル AP) 接続無効

 : Wi-Fi Direct (シンプル AP) 接続有効

文字入力画面

ネットワーク設定時の数字や文字、記号の入力は、【▲】 / 【▼】 / 【◀】 / 【▶】 ボタンと画面に表示されるキーボードを使います。【▲】 / 【▼】 / 【◀】 / 【▶】 ボタンで入力したい文字やファンクションキーを選択して、【OK】 ボタンを押します。入力が全て終わったら【OK】 を選択して、【OK】 ボタンで決定します。



- ◀▶ : 左右に1文字分、カーソルを移動します。
- A1# : 入力文字種を切り替えます。英数字や記号を入力できます。
- ␣ : スペースを入力します。
- ✖ : 左側に1文字ずつ削除します (バックスペース)。
- OK : 入力した文字を確定します。

使用上のご注意

製品本体取扱上のご注意

- 本機を設置した部屋の温度を急激に変化させないでください。
温度を急激に変化させると、製品内部に水滴（結露）が発生し、動作に悪影響をおよぼすおそれがあります。
- 本機は温度 10～35℃、湿度 20%～80% の環境でお使いください。本機をシステムラックに組み込むときも、ラック内の環境はこの温度、湿度の範囲でお使いください。
ただし、上記の条件を満たしていても、使用する用紙の環境条件を満たしていないと、正しく印刷できないことがあります。必ず用紙の環境条件も満たした場所で使用してください。詳しくは、用紙のマニュアルを参照してください。
また、乾燥する地域やエアコンが稼働している環境、直射日光が当たる場所で使用するときは、乾燥に注意して条件範囲内の湿度を保つようにしてください。
- 本機の上に水の入った花瓶やコップを置かないでください。本機内に水が入ると、故障の原因になります。
- 本機の付属品は、本機以外には使用しないでください。
- ご使用のコンピューターの性能によっては、本機が印刷中に一時的に止まる場合がありますが故障ではありません。
- 本機を長期間使用しないときは、メンテナンスボックスを付けたままで保管してください。
- 本機が動作中は、電源プラグをコンセントから抜いたり、プレーカーを落としたりしないでください。プリントヘッドがキャッピングされない（プリントヘッドが右端に位置しない）ことがあります。キャッピングとは、プリントヘッドの乾燥を防ぐために自動的にプリントヘッドにキャップ（蓋）をする機能です。この場合は、再度電源を入れてしばらくすると、自動的にキャッピングが行われます。
- 本機の内部はインクで汚れていることがあります。メンテナンス時に本機の内部を引き出したときに、手や衣服を汚さないように注意してください。本機内部のインク汚れを市販の柔らかい布などで拭き取ってから作業することをお勧めします。

用紙に関するご注意

用紙の取り扱いや保管の際は、以下の点にご注意ください。用紙の状態が悪いと、良好な印刷結果が得られません。必ず各用紙のマニュアルも併せてご覧ください。

取り扱い上のご注意

弊社が推奨する用紙を使用してください。

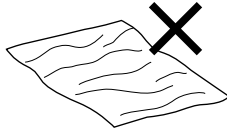
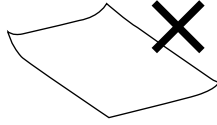
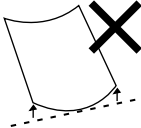
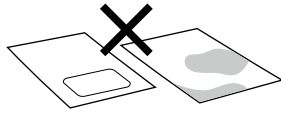
用紙の取り扱いについては、以下の点にご注意ください。

- エプソン製の専用紙は一般室温環境下（温度 15～25℃、湿度 40～60%）でお使いください。
- 用紙を折り曲げたり、印刷面を傷付けたりしないように注意してください。
- 用紙の印刷面には触れないでください。手に付いた水分や油が、印刷品質に影響します。
- 用紙は、用紙の端を持って取り扱ってください。また、取り扱い時は綿製の手袋を着用することをお勧めします。
- 個装箱や個装袋は、用紙の保管時に使用しますので、なくさないでください。
- 本機を毎日使用しないときは、使用後に用紙カセットにセットした用紙を全て取り出してください。
用紙カセットに用紙をセットした状態で放置すると、用紙が部分的に変色することがあります。
- 用紙は、温度や湿度などの環境の変化により、波打ったり、反ったりすることがあります。以下の点を守ってください。
 - 用紙は、印刷直前にセットする。
 - 波打ったり反ったりした用紙を使用しない。

- 用紙を濡らさないでください。

使用できない用紙

次のような用紙はセットしないでください。紙詰まりや印刷汚れの原因になる可能性があります。

<ul style="list-style-type: none">• 波打っている用紙• 破れている用紙• 切れている用紙• 厚過ぎる用紙• 薄過ぎる用紙• 硬い用紙	
<ul style="list-style-type: none">• 角が反っている用紙• 折りがある用紙	
<ul style="list-style-type: none">• 丸まっている用紙• 3 mm 以上反っている用紙	
<ul style="list-style-type: none">• シールなどを貼った用紙• 湿った用紙	

セット前のご注意

用紙カセットに用紙をセットする前に、用紙の束をよくさばいて用紙の密着をほぐしてから上下左右の端をそろえてください。

さばき方  [「用紙のセット方法」24 ページ](#)

保管時のご注意

- 高温、多湿、直射日光を避けて保管してください。
- 開封後の用紙を保管する際は、個装袋に戻して個装箱に入れて水平な状態で保管してください。

印刷時のご注意

用紙の先端が、長辺に対して垂直でまっすぐな切り口になっていることを確認してください。

印刷した用紙の保管と展示について

- 印刷物をこすったり引っかいたりしないでください。こすったり引っかいたりするとインクが剥がれることがあります。
- 印刷後の用紙は、重ねたり折り曲げたりせずに十分に乾燥させてください。乾燥させずに重ねると、重なった部分の色が変わる（重なった部分に跡が残る）ことがあります。この跡はすぐに用紙を剥がして乾燥させればなくなりますが、そのまま放置すると跡が消えなくなります。
- ドライヤーなどを使用して乾燥させないでください。

- 色合いを保つために、高温・高湿・直射日光を避け、暗所に保存してください。
- 屋外での展示や直射日光の当たる場所での展示は避けてください。色あせが早くなる場合があります。
- 室内に展示する場合は、ガラスなどの額に入れて展示することをお勧めします。長期間色あせることなくご覧になれます。

インクボトル取り扱い上のご注意

インクボトルは、良好な印刷品質を保つために、以下の点に注意して取り扱ってください。

インク補充時のご注意

- 本機用のインクボトルを使用してください。
- 本機のご使用に当たっては、インクの取り扱いに注意してください。インクタンクにインクを補充する際に、インクが飛び散ることがあります。インクが衣服や所持品に付着すると、取れないことがあります。
- インクボトルを強く振ったり押し潰したりしないでください。
- 本機はプリントヘッドの品質を維持するため、インクが完全になくなる前に動作を停止するように設計されており、インクタンク内に多少のインクが残ります。
- プリンターの状態を良好に保つためには、インク残量が少ない状態で放置しないことをお勧めします。
- 最適な印刷結果を得るために、少なくとも年に一度はインクタンクの上限線までインクを補充してください。

インクボトル保管時のご注意

- 直射日光を避けて保管してください。
- 高温や凍結するような環境で保管しないでください。
- インクボトルは個装箱に印刷されている期限までに使用することをお勧めします。
- インクボトルを保管または輸送するときは、傾けたり衝撃や急激な温度変化を与えたりしないでください。インクボトルのキャップをしっかり締めてもインクが漏れることがあります。インクボトルのキャップを締めるときは必ずボトルをまっすぐに立ててください。また、ボトルを輸送する際は、袋に入れるなど、インクが漏れないようにしてください。
- インクボトルを寒い所に長時間保管していたときは、3時間以上室温で放置してからお使いください。
- インクボトルの袋は、インクタンクにインクを補充する直前まで開封しないでください。品質保持のため、真空パックにしています。開封後、そのまま長時間放置すると、正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- 開封したボトルは、なるべく早くお使いください。

インクの消費

- プrintヘッドを良好な状態に保つため、印刷時以外にもヘッドクリーニングなどのメンテナンス動作で全色のインクが消費されます。また、電源を入れたときにも消費されることがあります。
- モノクロやグレースケール印刷のときでも、用紙種類や印刷品質の設定によっては、カラーインクを使った混色の黒で印刷します。
- 購入直後のインク初期充填では、プリントヘッドノズル（インクの吐出孔）の先端部分までインクを満たして印刷できる状態にするため、その分インクを消費します。そのため、初回は2回目以降に使用するインクボトルよりも印刷できる枚数が少なくなることがあります。

ソフトウェアの紹介

本機を使用するには、プリンタードライバーとメンテナンスツールをコンピューターにインストールしてください。本機を最適な状態で使用できるように、最新のプリンタードライバーとメンテナンスツールをエプソンのウェブサイト (<https://www.epson.jp>) からダウンロードしてインストールしてください。

ソフトウェア名称	概要
プリンタードライバー	<p>アプリケーションソフトからの印刷指示に従って本機に印刷させるためのソフトウェアです。</p> <p>プリンタードライバーの主な機能は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> アプリケーションソフトから受け取った印刷データを、本機が印刷できるデータに変換して、本機に送ります。 プリンタードライバーの設定画面で用紙種類や用紙サイズなどの印刷条件を設定します。 <p>Windows をお使いの場合は、以下の機能も実行できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> メンテナンスツールを起動できます。 <ul style="list-style-type: none"> 「メンテナンスツールの使い方 (Windows)」 65 ページ 用紙種類追加ツールを起動して、本機やプリンタードライバーに用紙情報を追加できます。 <ul style="list-style-type: none"> 「用紙情報の追加」 92 ページ
メンテナンスツール	<p>コンピューターから、本機の状態の確認、設定、プリントヘッドのクリーニングなどの調整/保守作業を行うことができます。</p> <p>また、以下の場合にもメンテナンスツールのインストールが必要なため、本機はメンテナンスツールをインストールしてお使いください。</p> <ul style="list-style-type: none"> プリントヘッドの自動ノズルチェック機能を使う。 本機で使用する用紙種類を追加する。 EPSON SureLab OrderController/EPSON SureLab OrderController LE を使う。 <p>Windows をお使いの場合、メンテナンスツールは自動ではインストールされません。以下をご覧になりインストールしてください。</p> <p>Mac OS をお使いの場合はプリンタードライバーと一緒にインストールされます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「メンテナンスツールのインストール (Windows のみ)」 20 ページ <p>メンテナンスツールの詳細は以下をご覧ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「メンテナンスツールの使い方 (Windows)」 65 ページ 「メンテナンスツールの使い方 (Mac OS)」 79 ページ
SL Paper Type Additional Tool	<p>Mac OS 用の用紙種類を追加するためのソフトウェアです。Mac OS をお使いの場合はプリンタードライバーと一緒にインストールされます。</p> <p>SL Paper Type Additional Tool の詳細は以下をご覧ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ペーパー定義ファイルを使った用紙情報の追加」 92 ページ
EPSON Software Updater	<p>インターネット上に新しいソフトウェアや更新情報があるか確認してインストールするソフトウェアです。本機のマニュアルもアップデートできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「EPSON Software Updater の使い方」 20 ページ
EPSON NetConfig SE	<p>コンピューターから本機のネットワークに関する各種設定を行うソフトウェアです。キーボードを使ってアドレスや名称を入力できるので便利です。</p> <p>インストールを行うとマニュアルも一緒にインストールされます。</p>
Web Config	<p>本機にあらかじめ内蔵されているソフトウェアです。ネットワーク経由で Web ブラウザーから起動して使用します。</p> <p>ネットワークセキュリティの設定は Web Config から行います。本機のエラーなどをお知らせするメール通知機能もあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「Web Config の使い方」 21 ページ
EPSON SureLab OrderController/ EPSON SureLab OrderController LE*1	<p>注文の受付をし、印刷する写真をオーダーとして管理、処理するためのソフトウェアです。自動補正などの画像処理機能もあります。EPSON SureLab OrderController LE は EPSON SureLab OrderController の機能制限版です。</p>

ご使用前に

ソフトウェア名称	概要
EPSON Print Factory for DPE*1	EPSON SureLab OrderController/EPSON SureLab OrderController LE に対応する注文受付端末用ソフトウェアです。シンプルな操作性と音声ガイダンスにより簡単に注文ができます。複数の画面割り付けや、カレンダー・デザインテンプレートなどの機能もあります。
EPSON SureLab Layout and ID*1	写真加工機能とレイアウト機能を備えたソフトウェアです。証明写真作成、文字入れ、フレーム合成等、受け付けた写真にいろいろな加工ができます。EPSON SureLab Layout and ID 単体では印刷できません。EPSON SureLab OrderController/EPSON SureLab OrderController LE と一緒にお使いください。
EPSON SureLab FrameEditor*1	EPSON SureLab Layout and ID で合成するフレームを作成するソフトウェアです。
Epson Smart Panel*2	スマートデバイスから印刷をしたり本機の状態を確認したりするためのソフトウェアです。
Epson Device Admin*3	ネットワークや USB 接続している複数台の本機の状態を一元管理、設定ができるソフトウェアです。紙詰まりやインク切れなどのエラー情報を管理者にメールでお知らせしたり、新しい機器を導入するときに IP アドレスの設定などをリモートで変更したりすることもできます。
Firmware Updater*3	ファームウェア更新用のソフトウェアです。EFU 形式のファームウェア更新用ファイルを使用して本機のファームウェアをアップデートします。

*1 オプションソフトウェアです。

*2 必要に応じて App Store または Google Play からダウンロードしてください。

*3 自動ではインストールされません。必要に応じてエプソンのウェブサイトからダウンロードしてインストールしてください。

メンテナンスツールのインストール (Windows のみ)

お使いのコンピューターの OS が Windows のときは、以下の手順でメンテナンスツールをインストールしてください。

参考

お使いのコンピューターの OS が Mac OS のときは、プリンタードライバーをインストールすると、メンテナンスツールも一緒にインストールされます。

インストール方法

- 1 以下のウェブサイトアクセスし、お使いの製品名を入力して検索を実行します。

<https://epson.sn>

- 2 [サポート] - [System Software] の [見る] の順にクリックします。

SL-D500 Series System Software 画面が表示されます。

- 3 ソフトウェア使用許諾契約を確認し、[同意する] をクリックして、コンピューターの任意の場所にファイルを保存します。

- 4 保存したファイルを解凍して、**D500Inst.exe** をダブルクリックします。

セットアップウィザードが始まります。

- 5 [次へ] をクリックします。

この後は画面の指示に従ってインストールを完了させてください。

メンテナンスツールの詳細は以下をご覧ください。

[🔗 「メンテナンスツールの使い方 \(Windows\)」 65 ページ](#)

参考

本機にソフトウェアディスクが同梱されているときは、ソフトウェアディスクからメンテナンスツールをインストールすることもできます。
コンピューターにソフトウェアディスクをセットして、[Apps] - [SystemSoftware] フォルダの D500Inst.exe をダブルクリックすると、セットアップウィザードが始まりません。

EPSON Software Updater の使い方

更新されたか確認してアップデート

- 1 以下の状態になっていることを確認します。

- コンピューターがインターネットに接続されている。
- 本機とコンピューターが通信できている。

- 2 **EPSON Software Updater** を起動します。

Windows 8.1

検索チャームでソフトウェア名を入力して表示されたアイコンを選択します。

Windows 10/11

スタートボタンをクリックして、[すべてのアプリ] - [Epson Software] - [EPSON Software Updater] の順に選択します。

Mac OS

[移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] - [EPSON Software Updater] の順に選択します。

参考

Windows では、デスクトップのタスクバーにあるプリンターアイコンをクリックして、[ソフトウェアアップデート] を選択しても起動できます。

- 3 **Windows** のときは、画面上部で本機を選択します。

最新のソフトウェアの有無を確認します。

- 4 アップデートするソフトウェアやマニュアルを選んで更新します。

以降は画面の指示に従ってください。

!重要

更新中は、コンピューターや本機の電源を切らないでください。

参考

一覧に表示されないソフトウェアは EPSON Software Updater では更新できません。エプソンのウェブサイトでも最新のソフトウェアを確認してください。

<https://www.epson.jp>

アップデートの通知を受け取る

- 1 EPSON Software Updater を起動します。
- 2 [確認の間隔設定] をクリックします。
- 3 本機の [間隔] の欄で更新の確認を行う間隔を選択して [OK] をクリックします。

Web Config の使い方

ここでは Web Config の起動と終了方法を説明します。Web Config の使い方の詳細は『オンラインマニュアル』から『システム管理者ガイド』をご覧ください。

起動方法

本機と同一のネットワークに接続しているコンピューターのブラウザで起動します。

- 1 本機の IP アドレスを確認します。
ホーム画面から、[設定] - [ネットワーク設定] - [ネットワーク詳細設定] - [TCP/IP] - [手動] の順に押します。
- 2 本機とネットワークで接続されているコンピューターで Web ブラウザーを起動します。
- 3 Web ブラウザーのアドレスバーに本機の IP アドレスを入力して、[Enter] または [Return] キーを押します。

書式：

IPv4： <https://本機の IP アドレス/>

IPv6： [https://\[本機の IP アドレス\]/](https://[本機の IP アドレス]/)

例：

IPv4： <https://192.168.100.201/>

IPv6： [https://\[2001:db8::1000:1\]/](https://[2001:db8::1000:1]/)

- 4 画面右上の [ログオン] をクリックし、ユーザー名と現在のパスワードを入力して [確認] をクリックします。

初めてログオンするときは、[ユーザー名] は空欄のまま、[管理者パスワード] に初期パスワードを入力して [OK] をクリックしてください。

 [「管理者パスワードに関するご注意」23 ページ](#)

終了方法

Web ブラウザーを終了します。

ソフトウェアの削除

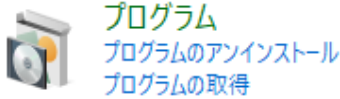
Windows

プリンタードライバーとメンテナンスツールは個別に削除する必要があります。

！重要

- 管理者権限のあるユーザーでログオンしてください。
- 管理者のパスワードまたは確認を求められたときは、パスワードを入力して操作を続行してください。

- 1 コントロールパネルを表示して、[プログラムのアンインストール] をクリックします。



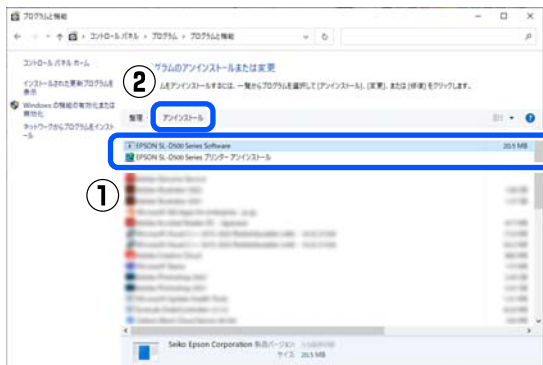
- 2 削除するソフトウェアを選択して、[アンインストールと変更]（または [アンインストール]）をクリックします。

プリンタードライバーを削除するとき

[EPSON SL-D500 Series プリンター アンインストール] を選択します。

メンテナンスツールを削除するとき

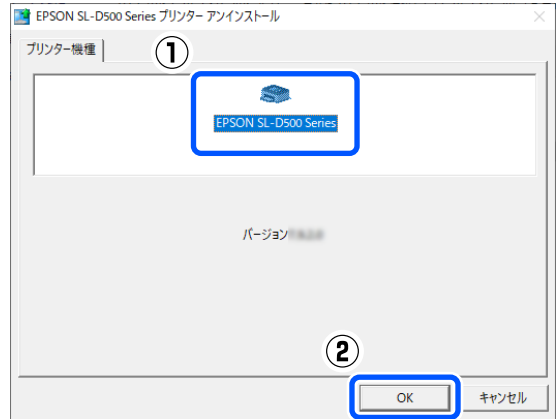
[EPSON SL-D500 Series Software] を選択します。



プリンタードライバーを削除するときは、手順 3 に進みます。

メンテナンスツールを削除するときは、手順 4 に進みます。

- 3 本機のアイコンをクリックして、[OK] をクリックします。



- 4 この後は、画面の指示に従ってください。削除を確認するメッセージが表示されたら [はい] をクリックします。

プリンタードライバーを再インストールするときは、コンピュータを再起動してください。

Mac OS

プリンタードライバーを削除するとメンテナンスツールも一緒に削除されます。

プリンタードライバーの削除は「Uninstaller」を使います。

入手方法

「Uninstaller」をエプソンのウェブサイトからダウンロードしてください。

<https://www.epson.jp/>

操作手順

「Uninstaller」を入手時に手順も確認いただき、その手順に従ってください。

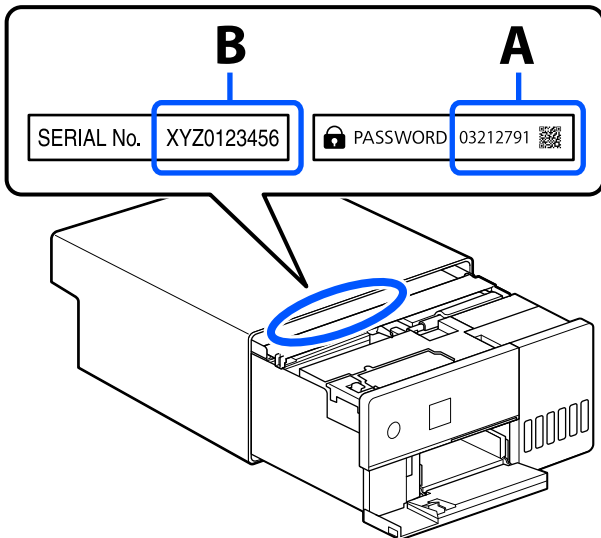
管理者パスワードに関する ご注意

本機は工場出荷時に機体ごとに異なる初期パスワードが設定されています。使用開始後は初期パスワードのまま使用し続けず、任意のパスワードに変更することをお勧めします。

初期パスワードの確認方法

管理者用パスワードの初期値は、本機内部の内部カバーの奥に貼られているラベルに記載されています。内部カバーが見える位置まで本機の内部を引き出す方法は、以下の手順 2~4 をご覧ください。

[🔗 「ブラテンの清掃」 54 ページ](#)



- 「PASSWORD」と記載されたラベルがあるとき：
Aのようにラベルに記載されている PASSWORD の値が初期値です。（図の例の場合、初期値は「03212791」です。）
- 「PASSWORD」と記載されたラベルがないとき：
Bのようにラベルに記載されている SERIAL No. の値が初期値です。（図の例の場合、初期値は「XYZ0123456」です。）

パスワードの変更方法

！重要

パスワードを忘れたときは、エプソンソリューションコールセンターにご相談ください。

[🔗 「お問い合わせ先」 148 ページ](#)

管理者パスワードの変更は本機の操作パネル、または Web Config から設定できますが、文字入力しやすい Web Config からの設定をお勧めします。

本機から設定するときは、ホーム画面で [設定] - [セキュリティ設定] - [管理者設定] - [管理者パスワード] - [変更] を選択してください。

1 Web Config を起動して管理者としてログオンします。

[🔗 「Web Config の使い方」 21 ページ](#)

2 [本体セキュリティ] タブ - [管理者パスワード変更] を選択します。

3 [現在のパスワード] に現在のパスワードを入力します。

4 [新しいパスワード] と [新しいパスワードの確認] に新しいパスワードを入力します。

必要に応じてユーザー名を入力します。

5 [設定] をクリックします。

基本の操作

用紙のセット

準備するもの

以下のものを準備します。

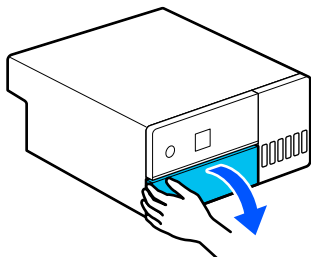
- 新しくセットする用紙
- 手袋
用紙が汚れないように、用紙を扱うときに着用します。

用紙のセット方法

参考

本機で使用できる用紙の詳細は、以下をご覧ください。
📄 [「使用可能な用紙」134 ページ](#)

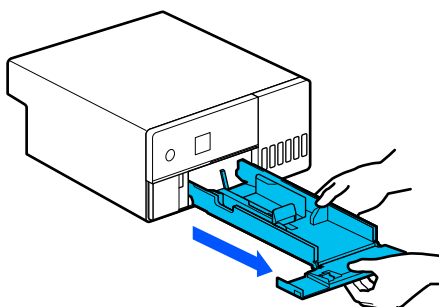
1 前面カバーを開けます。



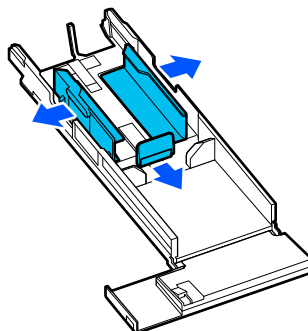
2 用紙カセットを引き抜きます。

！重要

用紙カセットは両手で引き抜いてください。片手で作業をすると、用紙カセットを引き抜いたときに重さで用紙カセットが落下し破損するおそれがあります。

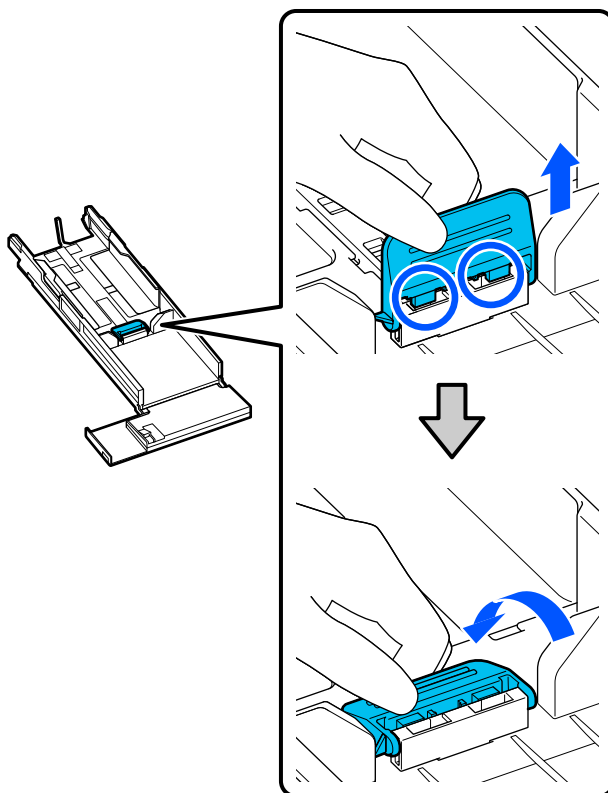


3 左右と手前のエッジガイドをいっぱいまで広げます。



4 手前のエッジガイドを倒します。

図のように2箇所のツメが見える位置まで上に引っ張ると倒せます。

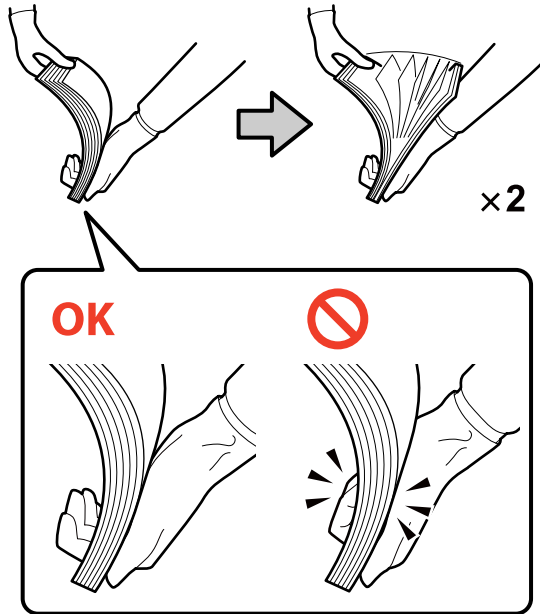


5 セットする用紙をさばきます。

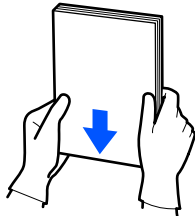
用紙の束は、静電気などにより用紙同士が密着していることがあります。このままセットすると給紙不良が発生するおそれがあるため、以下の手順に従って用紙をさばいてください。用紙をさばくことにより用紙間に空気を入れて、密着をほぐすことができます。

さばくのは用紙の短辺に対して2回ずつ行います。

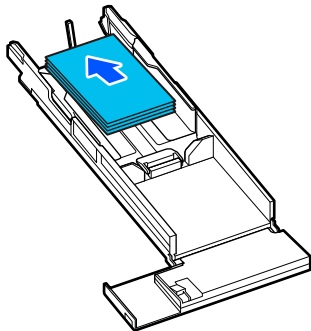
- ① 用紙の短辺を図のように2回さばきます。
用紙は強くつかまずに軽く持ってください。
強くつかむと用紙端まで空気が入らず密着が
ほぐれないときがあります。



- ② もう一方の短辺を同様に2回さばきます。
③ 用紙の上下左右の端をそろえます。



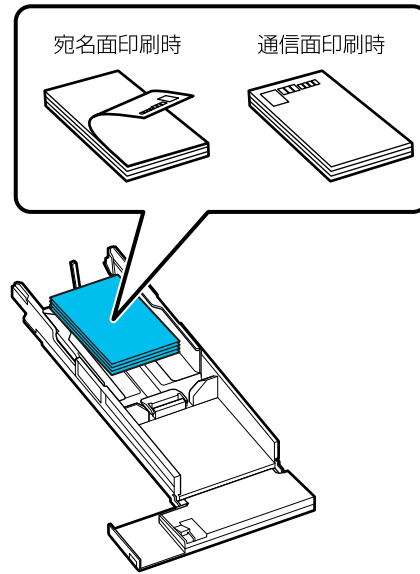
- 6** 印刷する面を下にして、用紙をセットします。
用紙カセット奥の突起に突き当たるように用紙を
セットします。
セットできる用紙の枚数は最大100枚です。



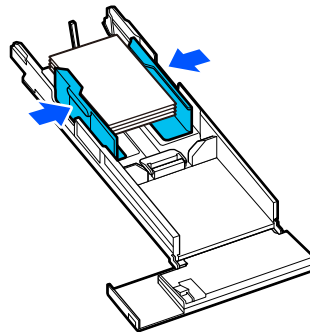
参考

エプソン製専用紙の自動両面印刷対応用紙は、包装紙の
開封面側を下にしてセットします。

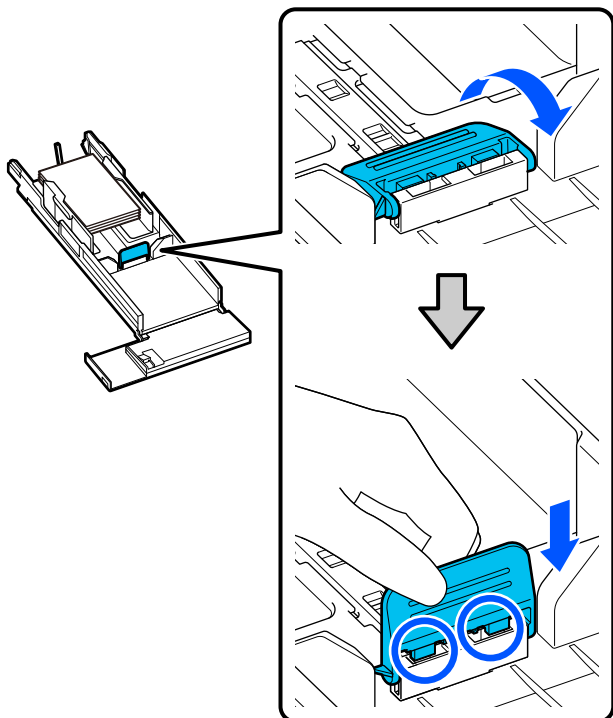
ハガキは下図の方向にセットしてください。



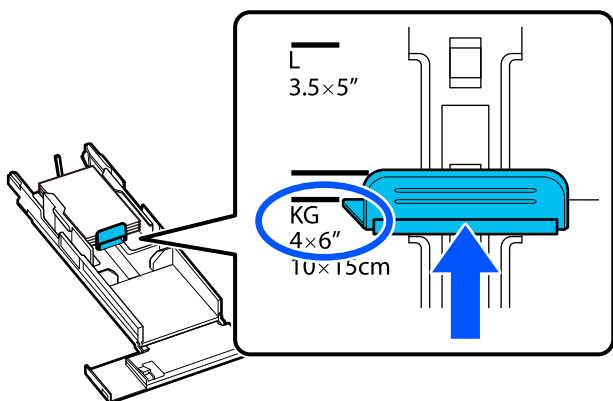
- 7** 左右のエッジガイドを用紙に合わせます。
エッジガイドと用紙の間に隙間があると、印刷時に
用紙が斜行するおそれがあるため、しっかりと合わ
せてください。



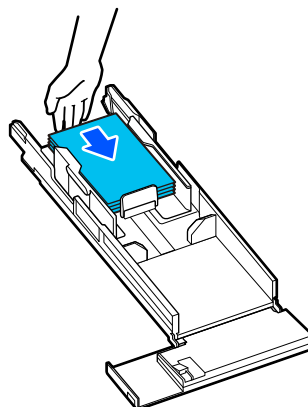
- 8** 手前のエッジガイドを起こします。
図のように2箇所のツメをカチッと音がするまで差し込みます。



- 9** 手前のエッジガイドをセットする用紙サイズの位置に合わせます。
下の図は KG サイズに合わせた例です。



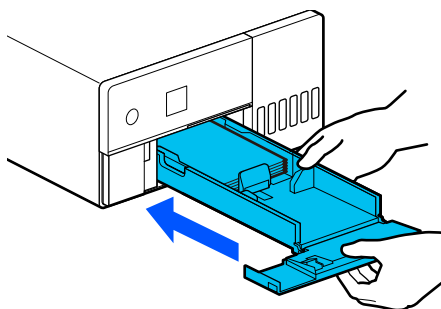
- 10** 手前のエッジガイドに当たるまで用紙を寄せます。



- 11** 用紙カセットを差し込みます。

!重要

用紙カセットは両手で差し込んでください。片手で作業をすると、セットした用紙の重さで用紙カセットが落下し破損するおそれがあります。



- 12** 操作パネルの画面で用紙サイズと用紙種類を設定します。

画面に表示された用紙種類とセットした用紙の用紙種類が一致しているときは、[閉じる] が選択されていることを確認して【OK】ボタンを押します。



用紙種類が異なっているときは、[変更] を選択して用紙種類を変更します。

基本的な印刷方法 (Windows)

印刷と中止の方法を説明します。

印刷は、本機に接続したコンピューターのアプリケーションソフトから実行します。

途中で印刷を中止するときは、以下をご覧ください。

[🔗 「印刷の中止方法 \(コンピューターから\)」 29 ページ](#)

Photoshop からの印刷方法

Adobe Photoshop 2021 を使用して画像データを印刷する方法を例に説明します。

お使いのアプリケーションソフトに応じて操作が異なることがあります。詳細はアプリケーションソフトのマニュアルをご覧ください。

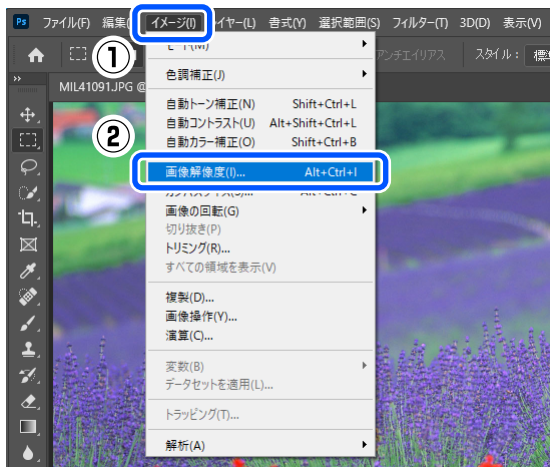
1 本機の電源を入れて、使用する用紙をセットします。

[🔗 「用紙のセット」 24 ページ](#)

2 Adobe Photoshop 2021 を起動して、画像を開きます。

3 [イメージ] - [画像解像度] の順にクリックします。

[画像解像度] 画面が表示されます。

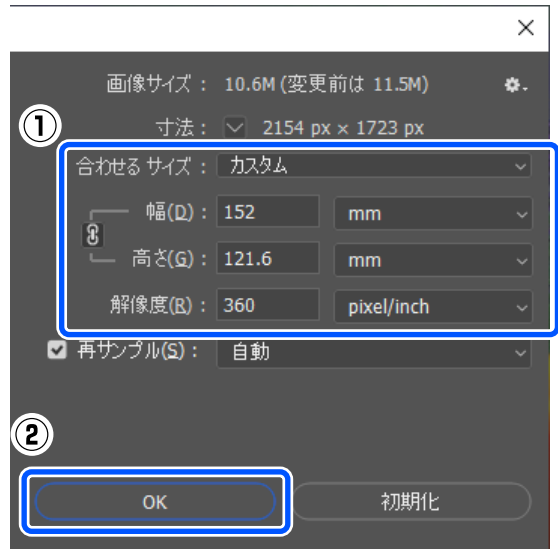


4 画像サイズと解像度を設定して、[OK] をクリックします。

[合わせるサイズ] で [オリジナルのサイズ] を選択して、[幅] または [高さ] を印刷する用紙のサイズに合わせます。

[解像度] を設定します。

[幅] または [高さ] を設定すると、[合わせるサイズ] が [カスタム] に変わります。



参考

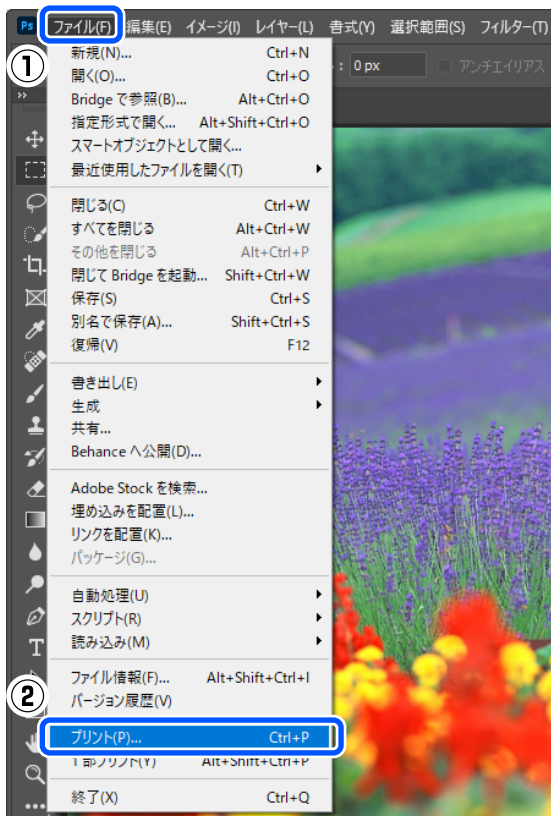
[解像度] は、通常は 360 dpi に設定することをお勧めします。

ただし、以下の印刷設定に全て当てはまるときは、720 dpi に設定するときれいに印刷できます。

- プリンタードライバーの [スムージング (文字/輪郭)] にチェックを付けたとき
- プリンタードライバーの [印刷品質] で [ドラフト] 以外を設定したとき

5 【ファイル】 - 【プリント】 の順にクリックします。

【Photoshop プリント設定】 画面が表示されます。



6 【プリンター】 で本機を選択して、【プリント設定】 をクリックします。

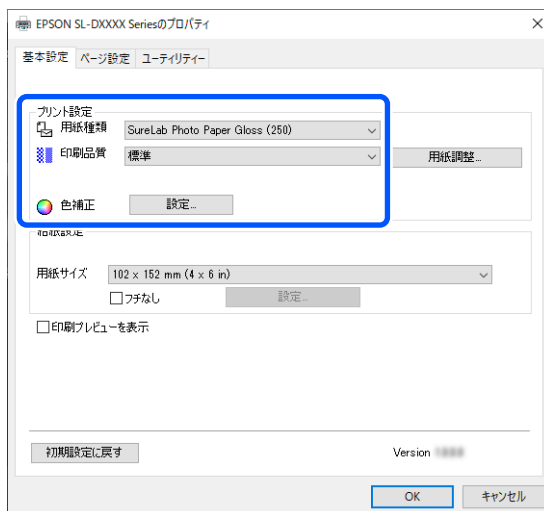
プリンタードライバーの基本設定画面が表示されます。



7 【プリント設定】 の各項目を設定します。

- 用紙種類
本機にセットした用紙種類を選択します。
- 印刷品質
選択した用紙種類に応じて選択できる印刷品質が異なります。

通常は【標準】 に設定します。品質重視で印刷したいときは【高画質】 に設定して、短時間で印刷したいときは【ドラフト】 に設定します。【ドラフト】 に設定すると、速度と引き換えに印刷品質が多少低下することがあります。

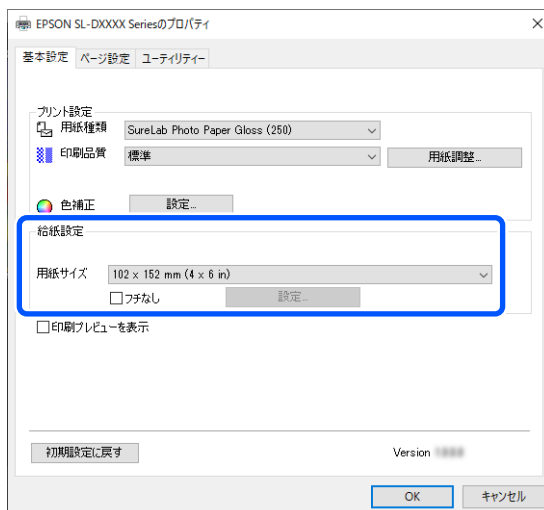


色補正の方法やカラー調整をお好みに応じて詳細に設定するときは、【設定】 をクリックします。

[「色補正」 34 ページ](#)

8 【給紙設定】 の各項目を設定します。

- 用紙サイズ
印刷するサイズを選択します。手順 4 で設定した画像サイズと合わせてください。

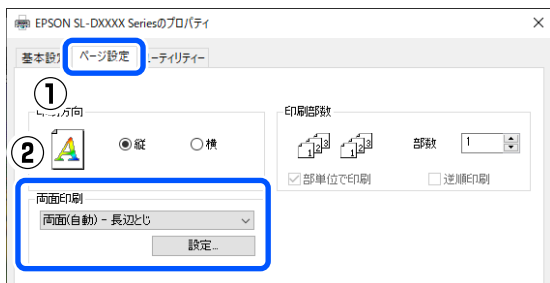


フチ（余白）のない印刷を行うときは、【フチなし】 にチェックを付けます。

[「四辺フチなし印刷」 40 ページ](#)

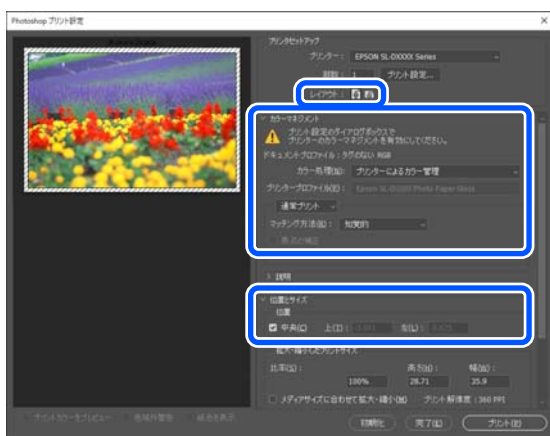
- 9 自動両面印刷対応用紙で両面印刷を行うときは、**「ページ設定」**をクリックして、**「両面印刷」**でとじ位置を設定します。

[「両面印刷」 44 ページ](#)



- 10 **「OK」**をクリックします。

- 11 **「Photoshop プリント設定」**画面のイメージを確認しながら、印刷の向きや位置、カラーマネジメントなどの各項目を設定します。



参考

- プリンタードライバーの**「色補正」**を**「手動設定」**に設定しているときは、**「カラーマネジメント」**の**「カラー処理」**で**「プリンターによるカラー管理」**を選択してください。

- Photoshop の機能で詳細なカラーマネジメントを行うときは、**「カラーマネジメント」**を条件に合わせて設定してください。

色補正の詳細は、以下をご覧ください。

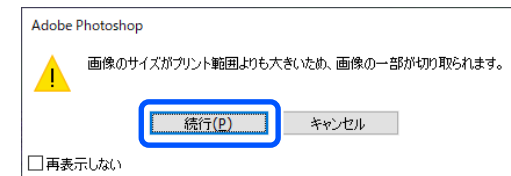
[「色補正」 34 ページ](#)

- 12 **「プリント」**をクリックします。

参考

画像サイズが印刷サイズより大きいと、以下の画面が表示されます。

「続行」をクリックします。**「キャンセル」**をクリックすると印刷を中止し、アプリケーションソフトの画面に戻ります。



印刷データが本機に送信され、前面カバーが自動で開いて印刷が始まります。

！重要

印刷が終了するまでは前面カバーを閉じないでください。

印刷した用紙の取り扱い方法は、以下をご覧ください。

[「印刷した用紙の保管と展示について」 16 ページ](#)

印刷の中止方法（コンピューターから）

コンピューターから本機へのデータ転送が終了しているときは、コンピューターからは印刷を中止できません。本機で中止してください。

[「印刷の中止方法（本機から）」 30 ページ](#)

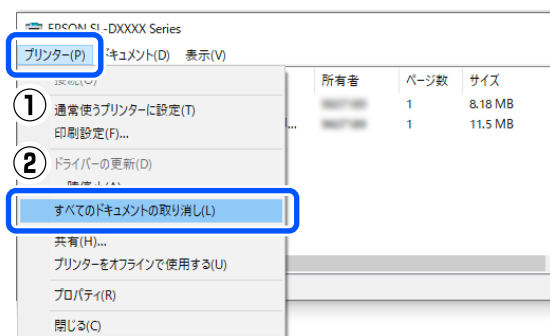
- 1 タスクバーにあるプリンターのアイコンをクリックします。



アイコンが表示される、されないは Windows での設定によります。

- 2** 中止したい印刷データを選択して、[ドキュメント] メニューの [キャンセル] をクリックします。

全ての印刷データを中止するときは、[プリンター] メニューの [すべてのドキュメントの取り消し] をクリックします。



本機へのデータ転送が終了していると、上記画面に印刷データは表示されません。

印刷の中止方法（本機から）

操作パネルの【⏹】ボタン（ストップボタン）を押します。

印刷途中であっても、印刷をキャンセルします。キャンセル後、印刷可能状態になるまでに時間が掛かることがあります。

参考

上記の操作では、コンピューターの印刷待ちデータは削除できません。印刷待ちデータを削除するときは、前項の「印刷の中止方法（コンピューターから）」をご覧ください。

基本的な印刷方法（Mac OS）

印刷と中止の方法を説明します。

印刷は、本機に接続したコンピューターのアプリケーションソフトから実行します。

途中で印刷を中止するときは、以下をご覧ください。

📖 「印刷の中止方法（コンピューターから）」33ページ

Photoshop からの印刷方法

Adobe Photoshop 2021 を使用して画像データを印刷する方法を例に説明します。

お使いのアプリケーションソフトに応じて操作が異なることがあります。詳細はアプリケーションソフトのマニュアルをご覧ください。

- 1** 本機の電源を入れて、使用する用紙をセットします。

📖 「用紙のセット」24ページ

- 2** Adobe Photoshop 2021 を起動して、画像を開きます。

- 3** [イメージ] - [画像解像度] の順にクリックします。

[画像解像度] 画面が表示されます。

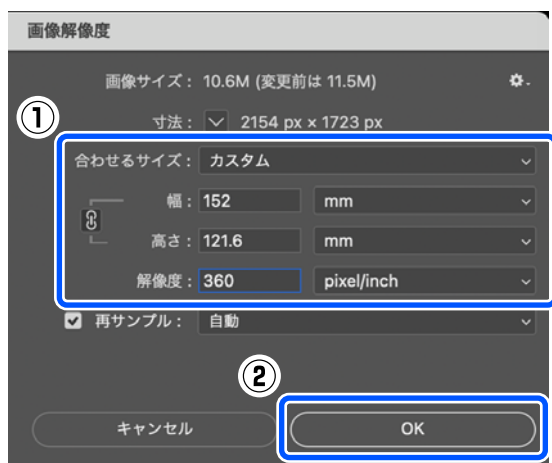


4 画像サイズと解像度を設定して、**[OK]** をクリックします。

【合わせるサイズ】で【オリジナルのサイズ】を選択して、【幅】または【高さ】を印刷する用紙のサイズに合わせます。

【解像度】を設定します。

【幅】または【高さ】を設定すると、【合わせるサイズ】が【カスタム】に変わります。



参考

【解像度】は、通常は 360 dpi に設定することをお勧めします。

ただし、以下の印刷設定に全て当てはまるときは、720 dpi に設定するときれいに印刷できます。

- プリンタードライバーの【スムージング（文字/輪郭）】にチェックを付けたとき
- プリンタードライバーの【印刷品質】で【ドラフト】以外を設定したとき

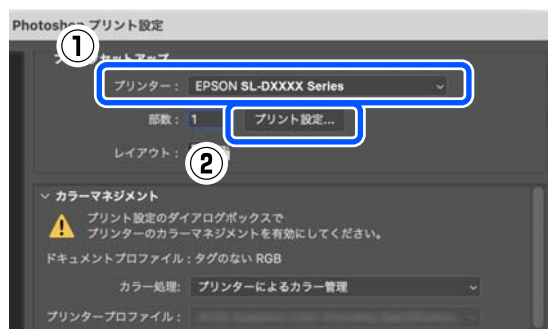
5 【ファイル】 - 【プリント】の順にクリックします。

【Photoshop プリント設定】画面が表示されます。



6 【プリンター】で本機を選択して、【プリント設定】をクリックします。

プリント画面が表示されます。



7 各項目を設定します。

ポップアップメニューで【印刷設定】を選択すると、用紙種類や印刷品質を設定できます。

- 用紙サイズ
印刷するサイズを選択します。手順 4 で設定した画像サイズと合わせてください。
- 用紙種類
本機にセットした用紙種類を選択します。
- 印刷品質

選択した用紙種類に応じて選択できる印刷品質が異なります。

通常は [標準] に設定します。品質重視で印刷したいときは [高画質] に設定して、短時間で印刷したいときは [ドラフト] に設定します。[ドラフト] に設定すると、速度と引き換えに印刷品質が多少低下することがあります。



フチ (余白) のない印刷を行うときは、[用紙サイズ] でフチなし印刷用の用紙サイズを選択します。

🔗 [「四辺フチなし印刷」40 ページ](#)

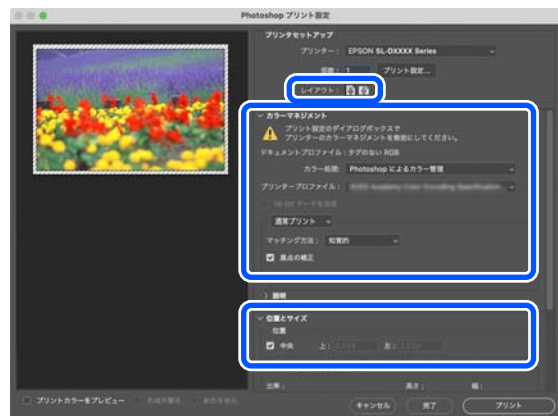
- 8** 自動両面印刷対応用紙で両面印刷を行うときは、ポップアップメニューの [自動両面印刷設定] を選択して、[自動両面印刷] でとじ位置を設定します。

🔗 [「両面印刷」44 ページ](#)



- 9** [プリント] をクリックします。

- 10** [Photoshop プリント設定] 画面のイメージを確認しながら、印刷の向きや位置、カラーマネジメントなどの各項目を設定します。



参考

- プリンタードライバーの色補正を [手動設定] に設定しているときは、[カラーマネジメント] の [カラー処理] で [プリンターによるカラー管理] を選択してください。
- Photoshop の機能で詳細なカラーマネジメントを行うときは、[カラーマネジメント] を条件に合わせて設定してください。

色補正の詳細は、以下をご覧ください。

🔗 [「色補正」34 ページ](#)

11 [プリント] をクリックします。

印刷データが本機に送信され、前面カバーが自動で開いて印刷が始まります。

！重要

印刷が終了するまでは前面カバーを閉じないでください。

印刷した用紙の取り扱い方法は、以下をご覧ください。

🔗 [「印刷した用紙の保管と展示について」16ページ](#)

印刷途中であっても、印刷をキャンセルします。キャンセル後、印刷可能状態になるまでに時間が掛かることがあります。

参考

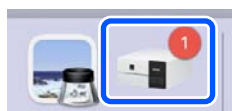
上記の操作では、コンピューターの印刷待ちデータは削除できません。印刷待ちデータを削除するときは、前項の「印刷の中止方法（コンピューターから）」をご覧ください。

印刷の中止方法（コンピューターから）

コンピューターから本機へのデータ転送が終了しているときは、コンピューターからは印刷を中止できません。本機で中止してください。

🔗 [「印刷の中止方法（本機から）」33ページ](#)

1 Dock 内のプリンターアイコンをクリックします。




2 中止したい印刷データを選択して、[×] をクリックします。



本機へのデータ転送が終了していると、上記画面に印刷データは表示されません。

印刷の中止方法（本機から）

操作パネルの【】ボタン（ストップボタン）を押します。

各種機能を使った印刷

色補正

色補正の設定

本機で印刷するときには、以下の色補正方法を選択できます。

お使いのアプリケーションソフトまたは OS の条件や、目的に合わせて最適な方法を選択して印刷してください。

色調の手動設定

印刷する色空間や色調の調整を手動で行います。お使いのアプリケーションソフトに色補正機能がないときなどに使います。

[「色調の手動設定」 34 ページ](#)

アプリケーションソフトによるカラーマネジメント（色補正なし）

カラーマネジメントに対応したアプリケーションソフトから印刷する方法です。全てのカラーマネジメント処理をアプリケーションソフトのカラーマネジメントシステムが行います。この方法は、異なる OS 環境で共通のアプリケーションソフトを使用し同様のカラーマネジメント結果を得たいときなどに使います。

[「アプリケーションソフトによるカラーマネジメント（色補正なし）」 37 ページ](#)

プリンタードライバーによるカラーマネジメント

プリンタードライバーが OS のカラーマネジメントシステムを使用して、全てのカラーマネジメント処理を行います。この方法は、同じ OS 環境で異なるアプリケーションソフトから印刷したときの印刷結果を近づけたいときなどに使います。ただし、このときもカラーマネジメントに対応したアプリケーションソフトが必要です。

[「プリンタードライバーによるカラーマネジメント（ICM）（Windows）」 38 ページ](#)

[「プリンタードライバーによるカラーマネジメント（ColorSync）（Mac OS）」 39 ページ](#)

色調の手動設定

以下のどちらかの色補正方法を選択できます。さらに、プレビュー画像を見ながら、明度、コントラスト、彩度、カラーバランスの微調整ができます。

- sRGB：sRGB 空間に最適化して色補正を行います。通常はこちらを選択してください。
- Adobe RGB：Adobe RGB 空間に最適化して色補正を行います。Adobe RGB の色空間情報を持ったデータの印刷時などに選択します。

Windows での設定

- 1 カラーマネジメント機能を持つアプリケーションソフトを使用するときは、アプリケーションソフトでカラー処理の方法を設定します。

カラーマネジメント機能に対応していないアプリケーションソフトを使用するときは、手順 2 から始めてください。

以下のアプリケーションソフトでは、カラーマネジメントの設定を [プリンターによるカラー管理] にしてください。

- Adobe Photoshop CS6 以降
- Adobe Photoshop Elements 11 以降
- Adobe Photoshop Lightroom 5 以降

その他のアプリケーションソフトでは、[カラーマネジメントなし] に設定してください。

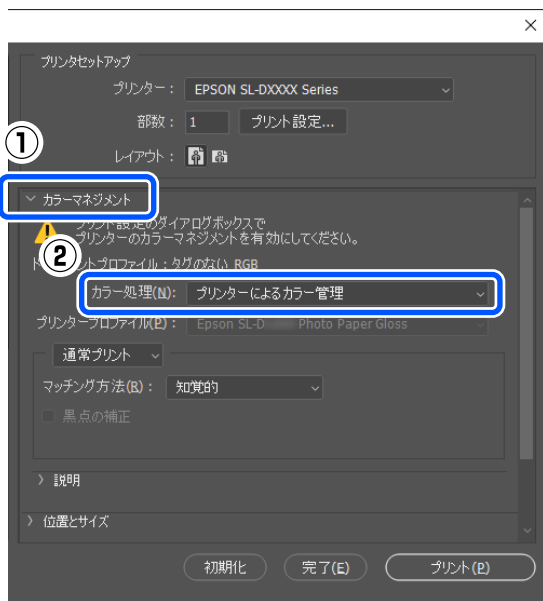
参考

各アプリケーションソフトの対応 OS は製品提供元のウェブサイトをご覧ください。

Adobe Photoshop 2021 の設定例

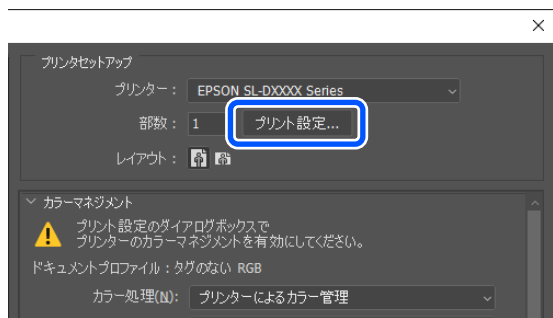
[Photoshop プリント設定] 画面を開きます。

【カラーマネジメント】を選択して、【カラー処理】で【プリンターによるカラー管理】を選択します。



2 プリンタードライバーの【基本設定】画面を表示します。

Adobe Photoshop 2021 のときは【プリント設定】をクリックすると、プリンタードライバーの【基本設定】画面が表示されます。



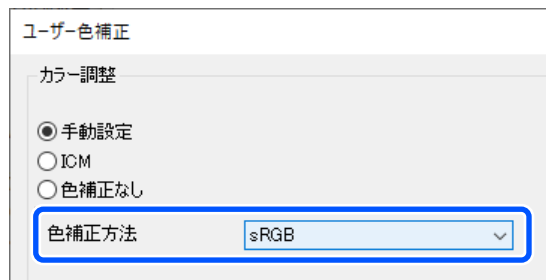
3 【色補正】の【設定】をクリックします。



4 【カラー調整】で【手動設定】を選択します。
【ユーザー色補正】画面に設定項目が表示されます。

5 【色補正方法】を選択します。

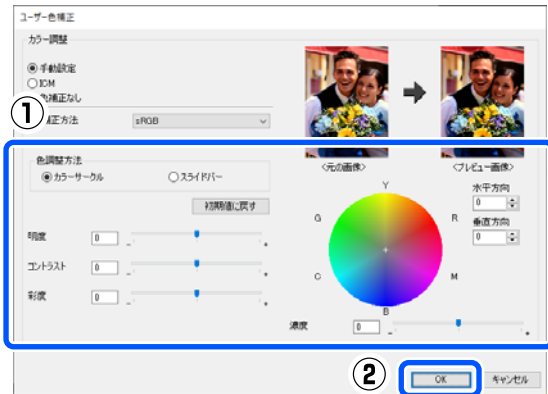
- sRGB
sRGB で色処理します。最適な色合いで印刷します。通常はこちらを選択してください。
- Adobe RGB
より広い色空間の Adobe RGB で色処理します。Adobe RGB の色空間情報を持ったデータの印刷時などに選択します。



6 各項目を設定して【OK】をクリックします。

- 色調整方法
色の調整方法を選択します。
【カラーサークル】を選択すると、カラーサークル上をクリックして色合いを調整し、濃度のスライダーを動かして濃さを調整します。
【スライダー】を選択すると、各色のスライダーを動かして色合いを調整します。
- 明度
画像全体の明るさを調整します。
- コントラスト
画像全体のコントラスト(明暗比)を調整します。コントラストを上げると、明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなります。逆にコントラストを下げると、画像の明暗の差が少なくなります。
- 彩度
画像全体の彩度(色の鮮やかさ)を調整します。

彩度を上げると、色味が強くなります。彩度を落とすと、色味がなくなり、無彩色化されてグレーに近くなります。



参考

画面右側のサンプル画像で確認しながら色調整ができます。

7 必要に応じてその他の項目を設定して印刷します。

Mac OS での設定

1 カラーマネジメント機能を持つアプリケーションソフトを使用するときは、アプリケーションソフトでカラー処理の方法を設定します。

カラーマネジメント機能に対応していないアプリケーションソフトを使用するときは、手順 2 から始めてください。

以下のアプリケーションソフトでは、カラーマネジメントの設定を [プリンターによるカラー管理] にしてください。

- Adobe Photoshop CS6 以降
- Adobe Photoshop Elements 12 以降
- Adobe Photoshop Lightroom 5 以降

その他のアプリケーションソフトでは、[カラーマネジメントなし] に設定してください。

参考

各アプリケーションソフトの対応 OS は製品提供元のウェブサイトをご覧ください。

Adobe Photoshop 2021 の設定例

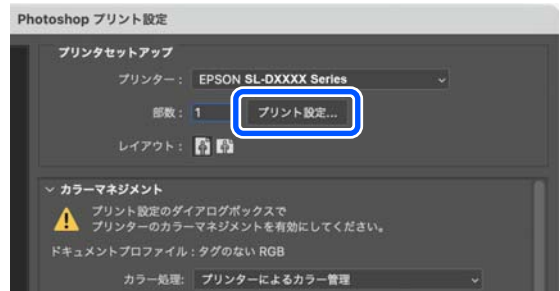
[Photoshop プリント設定] 画面を開きます。

[カラーマネジメント] を選択して、[カラー処理] で [プリンターによるカラー管理] を選択します。



2 プリント画面を表示します。

Adobe Photoshop 2021 のときは [プリント設定] をクリックすると、プリント画面が表示されます。



- 3** ポップアップメニューの [カラー・マッチング] を選択して、[EPSON Color Controls] を選択します。



参考
以下のアプリケーションソフトをお使いのときは、手順 1 の設定をしていないと [EPSON Color Controls] が選択できません。

- Adobe Photoshop CS6 以降
- Adobe Photoshop Elements 12 以降
- Adobe Photoshop Lightroom 5 以降

- 4** ポップアップメニューの [カラーオプション] を選択して、[手動設定] を選択します。



- 5** [詳細設定] の ▶ をクリックし、各項目を設定して [プリント] をクリックします。

- 明度
画像全体の明るさを調整します。
- コントラスト
画像全体のコントラスト(明暗比)を調整します。

コントラストを上げると、明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなります。逆にコントラストを下げると、画像の明暗の差が少なくなります。

- 彩度
画像全体の彩度(色の鮮やかさ)を調整します。彩度を上げると、色味が強くなります。彩度を落とすと、色味がなくなり、無彩色化されてグレーに近くなります。
- シアン、マゼンタ、イエロー
各色のスライダーを動かして色合いを調整します。



参考
画面左側のサンプル画像で確認しながら色調整ができます。

- 6** 必要に応じてその他の項目を設定して印刷します。

アプリケーションソフトによるカラーマネジメント(色補正なし)

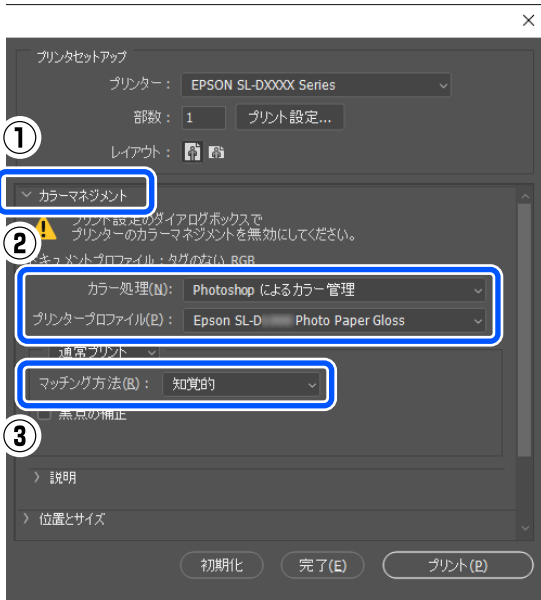
カラーマネジメントに対応したアプリケーションソフトから印刷します。アプリケーションソフトでカラーマネジメントの設定を有効にして、プリンタードライバーの色補正機能を無効にします。

- 1** アプリケーションソフトでカラー処理の方法を設定します。

Adobe Photoshop 2021 の設定例

[Photoshop プリント設定] 画面を開きます。

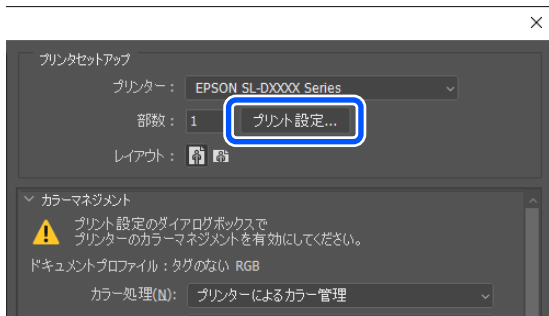
「カラーマネジメント」を選択し、「カラー処理」で「Photoshopによるカラー管理」を選択して、「プリンタープロファイル」と「マッチング方法」を選択します。



参考
独自のプリンタープロファイルを使用しないときは、「プリンタープロファイル」で使用する用紙種類のプロファイルを選択してください。

2 プリンタードライバーの設定画面（Windows）またはプリント画面（Mac OS）を表示します。

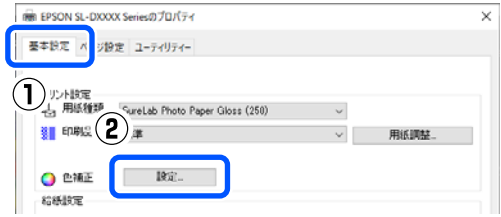
Adobe Photoshop 2021 のときは「プリント設定」をクリックすると、それぞれの画面が表示されます。



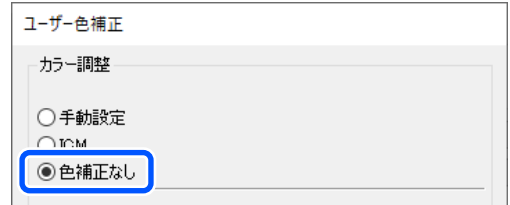
3 色補正をオフに設定します。

Windows の場合

① 「基本設定」画面の「色補正」の「設定」をクリックします。



② 「カラー調整」で「色補正なし」を選択して、「OK」をクリックします。



Mac OS の場合

ポップアップメニューの「カラーオプション」を選択して、「色補正なし」を選択します。



4 必要に応じてその他の項目を設定して印刷します。

プリンタードライバーによるカラーマネジメント（ICM）（Windows）

カラーマネジメントの処理をプリンタードライバーで行います。プリンタードライバーで設定した用紙種類に対応する ICC プロファイルが自動で選択され、色補正を行います。

- 1 カラーマネジメント機能を持つアプリケーションソフトを使用するときは、アプリケーションソフトでカラー処理の方法を設定します。

カラーマネジメント機能に対応していないアプリケーションソフトを使用するときは、手順2から始めてください。

以下のアプリケーションソフトでは、カラーマネジメントの設定を「プリンターによるカラー管理」にしてください。

- Adobe Photoshop CS6 以降
- Adobe Photoshop Elements 11 以降
- Adobe Photoshop Lightroom 5 以降

その他のアプリケーションソフトでは、「カラーマネジメントなし」に設定してください。

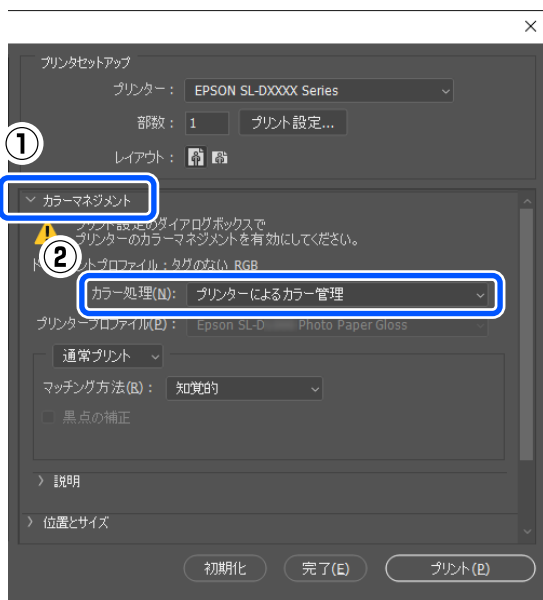
参考

各アプリケーションソフトの対応 OS は製品提供元のウェブサイトをご覧ください。

Adobe Photoshop 2021 の設定例

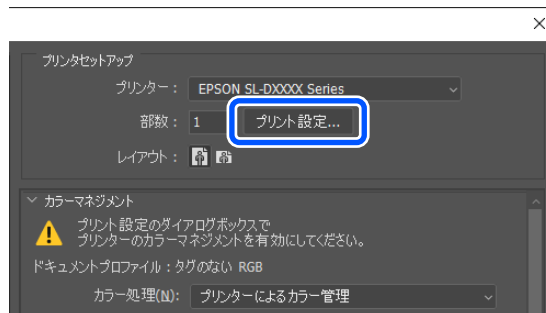
「Photoshop プリント設定」画面を開きます。

「カラーマネジメント」を選択して、「カラー処理」で「プリンターによるカラー管理」を選択します。

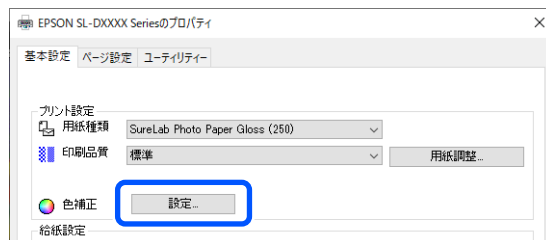


- 2 プリンタードライバーの「基本設定」画面を表示します。

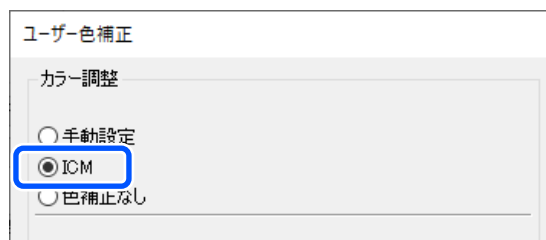
Adobe Photoshop 2021 のときは「プリント設定」をクリックすると、プリンタードライバーの「基本設定」画面が表示されます。



- 3 「色補正」の「設定」をクリックします。



- 4 「カラー調整」で「ICM」を選択して、「OK」をクリックします。



- 5 必要に応じてその他の項目を設定して印刷します。

プリンタードライバーによるカラーマネジメント (ColorSync) (Mac OS)

カラーマネジメントの処理をプリンタードライバーで行います。アプリケーションソフトが ColorSync に対応している必要があります。ColorSync でカラーマネジメントを行うときは、入力プロファイルが埋め込まれた画像データを使用してください。

参考

以下のアプリケーションソフトは、ColorSync によるカラーマネジメント印刷は使用できません。

- Adobe Photoshop
- Adobe Photoshop Elements
- Adobe Photoshop Lightroom

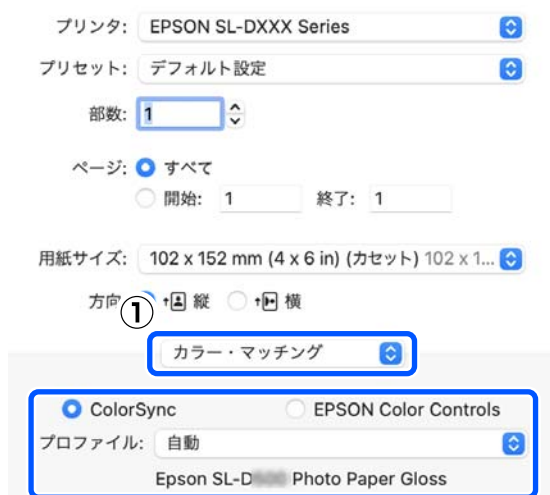
1 アプリケーションソフトでカラー処理の方法を [カラーマネジメントなし] に設定します。

参考

各アプリケーションソフトの対応 OS は製品提供元のウェブサイトをご覧ください。

2 プリント画面を表示します。

3 ポップアップメニューの [カラー・マッチング] を選択し、[ColorSync] を選択して [プロファイル] を選択します。



4 必要に応じてその他の項目を設定して印刷します。

四辺フチなし印刷

フチなし印刷機能によりフチ（余白）のない印刷ができます。

フチなし印刷方法の種類

フチなし印刷を行うには、自動拡大と原寸維持の2通りの方法があります。

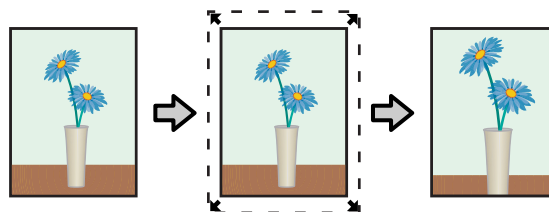
簡単にフチなし印刷したいときは自動拡大をお勧めします。プリンタードライバーによる画像の拡大を避けたいときは原寸維持をお勧めします。

自動拡大

プリンタードライバーで画像データを用紙サイズより少し拡大し、はみ出させて印刷します。用紙からはみ出した部分は印刷されませんので、結果としてフチのない印刷になります。

アプリケーションソフトのページ設定などで画像データのサイズを以下のように設定します。

- 印刷する用紙サイズとページ設定を同じサイズに合わせます。
- 余白設定できるときは、余白を「0 mm」に設定します。
- 画像データを、用紙サイズいっぱいになるように作成します。

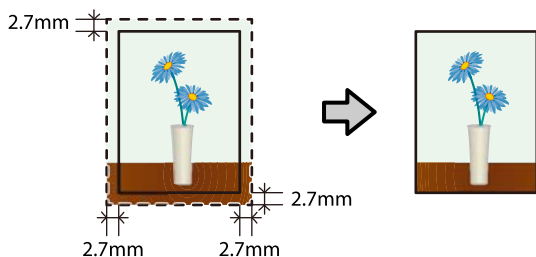


原寸維持

アプリケーションソフトで実際的用紙サイズより大きな印刷データを作成しておくことにより、フチなし印刷を実現します。プリンタードライバーでは画像データを拡大しません。アプリケーションソフトのページ設定などで画像データのサイズを以下のように設定します。

- 実際用紙サイズより上下左右各 2.7 mm はみ出すようにページ設定します。
- 余白設定できるときは、余白を「0 mm」に設定します。

- 画像データを、用紙サイズいっぱいになるように作成します。



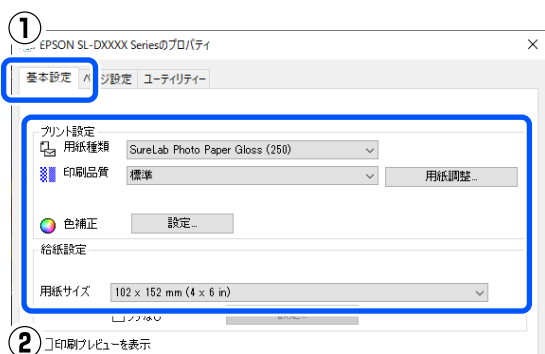
設定手順

Windows での設定

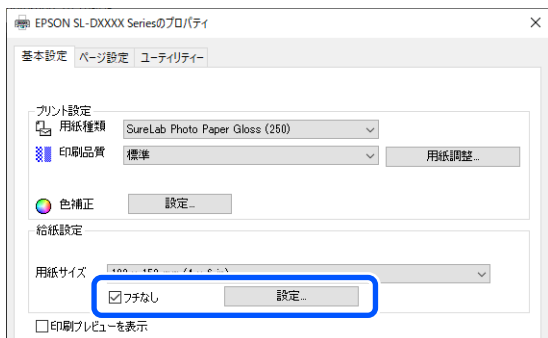
- 1 プリンタードライバーの【基本設定】画面を表示して、【用紙種類】、【印刷品質】、【用紙サイズ】など印刷に必要な設定を行います。

【基本設定】画面の表示方法は、以下をご覧ください。

[「基本的な印刷方法 \(Windows\)」 27 ページ](#)

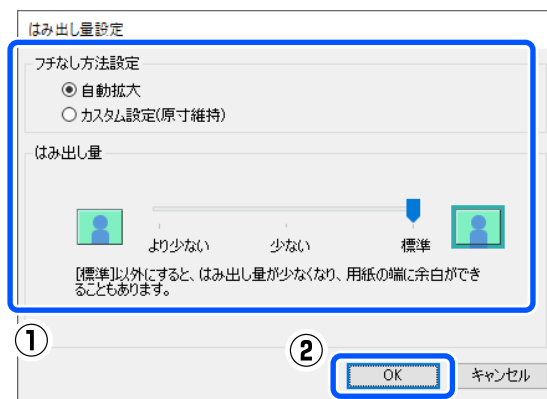


- 2 【フチなし】をチェックして、【設定】をクリックします。



- 3 【フチなし方法設定】を【自動拡大】、【カスタム設定 (原寸維持)】から選択して、【OK】をクリックします。

【自動拡大】を選択したときは、はみ出し量をスライダーで設定します。



参考

はみ出し量を【少ない】、【より少ない】にすると画像データの拡大率が下がります。このため、印刷する用紙や使用環境によっては用紙の端に余白が残ることがあります。

- 4 必要に応じてその他の項目を設定して印刷します。

Mac OS での設定

- 1 プリント画面を表示して、【用紙サイズ】で印刷する用紙サイズとフチなし印刷の方法を選択します。

プリント画面の表示方法は、以下をご覧ください。

[「基本的な印刷方法 \(Mac OS\)」 30 ページ](#)

フチなし印刷の方法、選択肢が以下のように表示されます。

xxxx (カセット (フチなし、自動拡大))

xxxx (カセット (フチなし、原寸維持))

xxxx には実際は 102 x 152 mm (4 x 6 in) など用紙サイズが表示されます。

プリンタ: EPSON SL-DXXX Series

プリセット: デフォルト設定

部数: 1

ページ: すべて
 開始: 1 終了: 1

用紙サイズ: 102 x 152 mm (4 x 6 in) (カセット (フチな…))

方向: 縦 横

2 用紙サイズで自動拡大を選択したときは、ポップアップメニューの [印刷設定] を選択して、[はみ出し量設定] を選択します。

プリンタ: EPSON SL-DXXX Series

プリセット: デフォルト設定

部数: 1

ページ: すべて
 開始: 1 終了: 1

用紙サイズ: 102 x 152 mm (4 x 6 in) (カセット (フチな…))

方向: 縦 横

1 印刷設定

ページ設定: カセット (フチなし、自動拡大)

用紙種類: SureLab Photo Paper Gloss (250)

印刷品質: 標準

2 はみ出し量設定: 標準

インク濃度: 0 (%)

参考

はみ出し量を [少ない]、[より少ない] にすると画像データの拡大率が下がります。このため、印刷する用紙や使用環境によっては用紙の端に余白が残ることがあります。

3 必要に応じてその他の項目を設定して印刷します。

定形サイズ以外の用紙に印刷

プリンタードライバーに用意されていない用紙サイズを設定して印刷できます。

設定できる用紙サイズは以下の通りです。

幅	フチあり印刷: 89.0~101.6 mm フチなし印刷: 89.0、100.0、101.6 mm
長さ	片面印刷: 127.0~152.4 mm 両面印刷: 148.0~152.4 mm

!重要

印刷に使用するアプリケーションソフトによって、出力可能サイズに制限があります。

Windows での設定

1 プリンタードライバーの [基本設定] 画面を表示して、[用紙種類] を選択します。

[基本設定] 画面の表示方法は、以下をご覧ください。

[「基本的な印刷方法 \(Windows\)」 27 ページ](#)

EPSON SL-DXXXX Seriesのプロ/タイプ

基本設定 | ページ設定 | ユーティリティ

1 用紙種類: SureLab Photo Paper Gloss (250)

2 色補正: 設定...

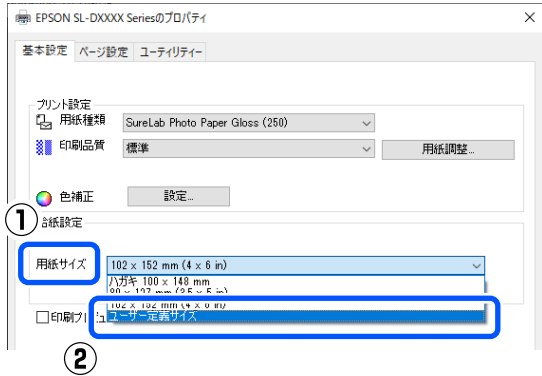
給紙設定

用紙サイズ: 102 x 152 mm (4 x 6 in)

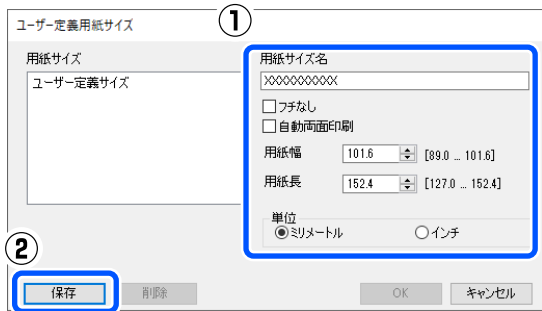
フチなし 設定...

印刷プレビューを表示

2 [用紙サイズ] で [ユーザー定義サイズ] を選択します。



3 [ユーザー定義用紙サイズ] 画面で、[用紙サイズ名] を入力し、使用するサイズを設定して [保存] をクリックします。



参考

- 保存した内容を変更するときは、画面左のリストから用紙サイズ名をクリックしてください。
- 保存した用紙サイズを削除するときは、画面左のリストから用紙サイズ名を選択して [削除] をクリックしてください。
- 保存できる用紙サイズは 30 個です。

4 [OK] をクリックします。

これで [基本設定] 画面の [用紙サイズ] から、保存した用紙サイズを選択できるようになりました。

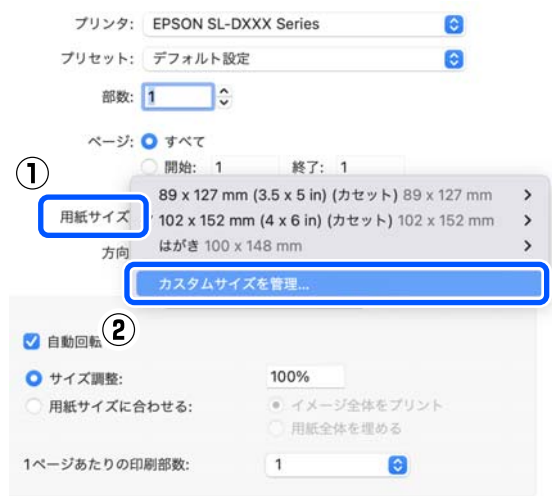
この後は、通常通り印刷を行います。

Mac OS での設定

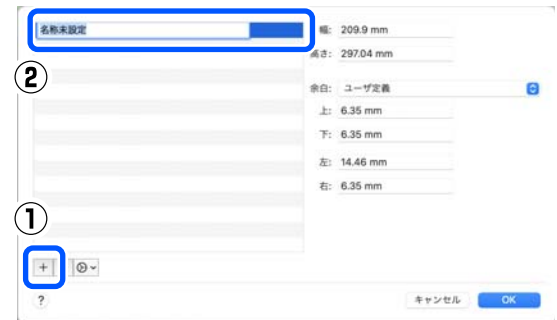
1 プリント画面を表示して、[用紙サイズ] で [カスタムサイズを管理] を選択します。

プリント画面の表示方法は、以下をご覧ください。

📄 「基本的な印刷方法 (Mac OS)」 30 ページ



2 [+] をクリックして、用紙サイズ名を入力します。



3 [用紙サイズ] の [幅] と [高さ]、余白を入力します。

指定できるページサイズの範囲と余白の大きさは、印刷方法に応じて設定してください。



参考

- 保存した内容を変更するときは、カスタム用紙サイズ画面左のリストから用紙サイズ名をクリックしてください。
- 保存した用紙サイズを複製するときは、画面左のリストから用紙サイズ名を選択して「複製」をクリックしてください。
- 保存した用紙サイズを削除するときは、画面左のリストから用紙サイズ名を選択して「-」をクリックしてください。
- OS のバージョンにより、カスタム用紙の設定方法が異なります。OS 付属のマニュアルやヘルプなどでご確認ください。

4 **[OK]** をクリックします。

これで「用紙サイズ」のポップアップメニューから、保存した用紙サイズを選択できるようになりました。

この後は、通常通り印刷を行います。

両面印刷

自動両面印刷対応用紙で両面印刷ができます。自動両面印刷のため、おもて面が印刷されると自動で裏面も印刷されます。

自動両面印刷対応用紙の詳細は、以下をご覧ください。

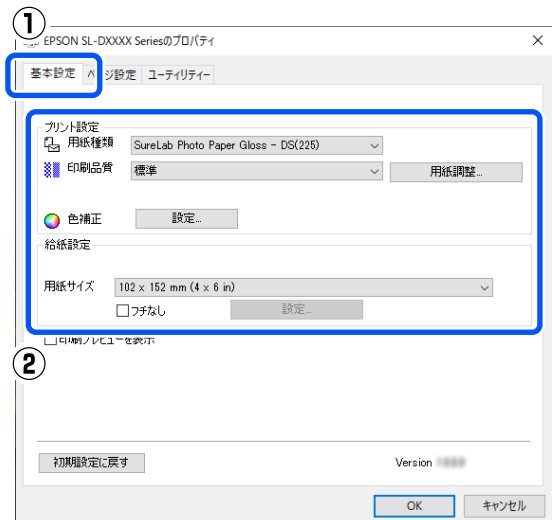
 [「使用可能な用紙」134 ページ](#)

Windows での設定

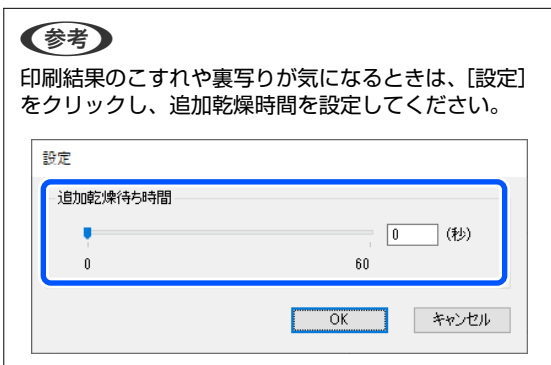
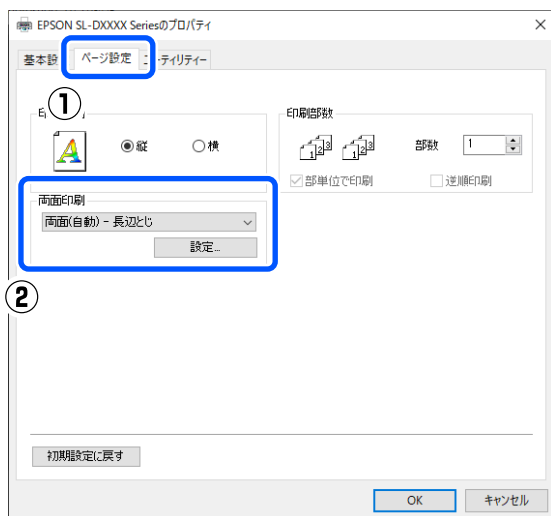
1 プリンタードライバーの「基本設定」画面を表示して、「用紙種類」、「印刷品質」、「用紙サイズ」など印刷に必要な設定を行います。

「基本設定」画面の表示方法は、以下をご覧ください。

 [「基本的な印刷方法 \(Windows\)」27 ページ](#)



- 2 [ページ設定] を選択して、[両面印刷] でのじ方を選択します。



- 3 必要に応じてその他の項目を設定して印刷します。

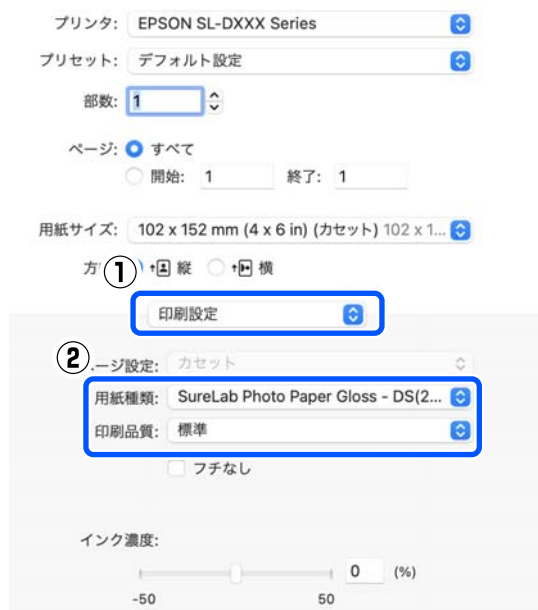
Mac OS での設定

- 1 プリント画面を表示して、[用紙サイズ] を設定します。

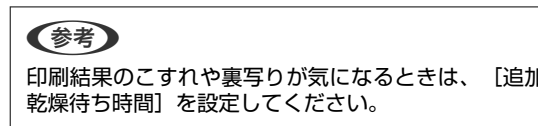
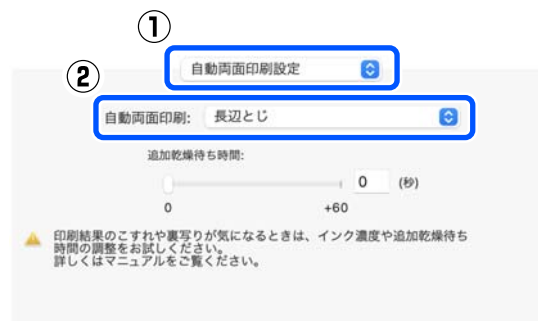
プリント画面の表示方法は、以下をご覧ください。
🔗 [「基本的な印刷方法 \(Mac OS\)」 30 ページ](#)



- 2 ポップアップメニューの [印刷設定] を選択して、[用紙種類] や [印刷品質] など印刷に必要な設定を行います。



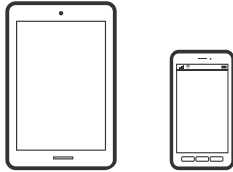
- 3 ポップアップメニューの [自動両面印刷設定] を選択して、[自動両面印刷] でのじ方を選択します。



- 4 必要に応じてその他の項目を設定して印刷します。

スマートデバイスからの印刷

スマートフォンやタブレット端末などのスマートデバイスから写真や文書を印刷できます。



Epson Smart Panel で写真印刷する

参考

デバイスによって操作が異なります。

- 1 本機に用紙をセットします。
[「基本の操作」 24 ページ](#)
- 2 本機を無線 LAN に接続します。
- 3 Epson Smart Panel をインストールしていない場合はインストールします。
[「ソフトウェアの紹介」 18 ページ](#)
- 4 スマートデバイスを本機と同じ無線 LAN に接続します。
- 5 Epson Smart Panel を起動します。
- 6 ホーム画面で写真印刷メニューを選択します。
- 7 印刷する写真を選択します。
- 8 印刷を開始します。

Epson Smart Panel で文書を印刷する

参考

デバイスによって操作が異なります。

- 1 本機に用紙をセットします。
[「基本の操作」 24 ページ](#)
- 2 本機を無線 LAN に接続します。
- 3 Epson Smart Panel をインストールしていない場合はインストールします。
[「ソフトウェアの紹介」 18 ページ](#)
- 4 お使いの機器を本機と同じ無線 LAN に接続します。
- 5 Epson Smart Panel を起動します。
- 6 ホーム画面で文書印刷メニューを選択します。
- 7 印刷する文書を選択します。
- 8 印刷を開始します。

AirPrint を使う

AirPrint を使うと、ドライバーのインストールやソフトウェアのダウンロードをしなくても iPhone、iPad、iPod touch や Mac から簡単に無線で印刷できます。



参考

操作パネルでプリンター設定メニューの給紙装置設定の情報表示を無効にしていると、AirPrint は使えません。給紙装置設定の情報表示を有効にするには以下の関連リンクをご覧ください。

- 1 本機に印刷用紙をセットします。
- 2 本機を無線 LAN に接続します。
- 3 お使いの機器を本機と同じ無線 LAN に接続します。
- 4 機器から本機に印刷します。

参考

詳しくはアップル社ウェブサイトの AirPrint のページをご覧ください。

関連情報

- 🔗 「スマートデバイスと接続されているのに印刷できない (iOS) 」 133 ページ
- 🔗 「基本の操作」 24 ページ

Mopria Print Service で印刷する

Mopria Print Service を使うと、Android スマートフォンやタブレットから簡単に無線で印刷できます。



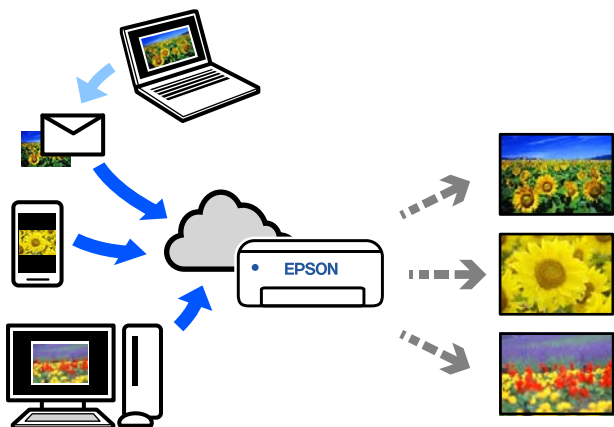
- 1 Google Play から Mopria Print Service をインストールします。
- 2 本機に用紙をセットします。
🔗 「基本の操作」 24 ページ
- 3 本機を無線 LAN に接続します。
- 4 お使いの機器を本機と同じ無線 LAN に接続します。
- 5 機器から本機に印刷します。

参考

詳しくは <https://mopria.org> の使い方のページをご覧ください。

クラウドサービスからの印刷

インターネットを利用した Epson Connect (エプソン コネクト) サービスを使うと、コンピューターやスマートデバイスからいつでもどこからでも印刷できます。このサービスの利用には、Epson Connect のセットアップ (ユーザー登録、プリンター登録) が必要です。



インターネットを利用したサービスは以下の通りです。

- メールプリント
プリンターに割り当てられたメールアドレスに、印刷したい画像ファイルを添付してメールを送ると、メールの本文や添付ファイルの印刷ができます。離れた場所からプリンターに印刷できます。
- リモートプリントドライバー
リモートプリントドライバー対応の共有ドライバーです。いつものアプリケーションの印刷画面からプリンターを切り替えるだけで、離れたプリンターに印刷できます。

Epson Connect のセットアップ方法や印刷方法など、詳しくは Epson Connect のポータルサイトをご覧ください。

<https://www.epsonconnect.com/>

操作パネルから Epson Connect サービスを登録する

以下の手順で本機を登録してください。

- 1 用紙カセットに用紙をセットします。
☞ 「用紙のセット方法」24 ページ
- 2 ホーム画面で【設定】を選択します。
項目を選択するには、【▲】/【▼】ボタンで動かして、【OK】ボタンを押してください。
- 3 【Epson Connect 設定】 - 【プリンターの登録/削除】の順に選択します。
項目を選択するには、【▲】/【▼】/【◀】/【▶】ボタンで動かして、【OK】ボタンを押してください。
- 4 画面の指示に従って操作し、登録シートを印刷します。
操作パネルの画面に用紙サイズエラーが表示されたときは、印刷を中止せずにそのまま印刷してください。
- 5 登録シートの説明に従って、本機を登録します。

メンテナンス

メンテナンス項目一覧

以下の表を参考にしてメンテナンスを実施してください。

作業内容	実施時期	参照
インクの補充	操作パネルの画面に残量の警告が表示されたとき	☞ 「インクの補充」 50 ページ
メンテナンスボックスの交換	操作パネルの画面に交換を促すメッセージが表示されたとき	☞ 「メンテナンスボックスの交換」 52 ページ
プラテンの清掃	印刷した用紙の裏側が汚れるとき	☞ 「プラテンの清掃」 54 ページ
給紙ローラーキットの清掃	繰り返し給紙不良が発生するとき	☞ 「給紙ローラーキットの清掃と交換」 56 ページ
給紙ローラーキットの交換	給紙ローラーキットの清掃を適切に実施しても繰り返し給紙不良が発生するとき	☞ 「給紙ローラーキットの清掃と交換」 56 ページ
プリントヘッドのノズルチェック	<ul style="list-style-type: none"> ノズルが目詰まりしているか確認したいとき 目詰まりしている色を確認したいとき 水平方向のスジ/濃淡ムラ（バンディング）が見られるとき 	☞ 「プリントヘッドのノズルチェック」 61 ページ
プリントヘッドのヘッドクリーニング	ノズルの目詰まりが確認されたとき	☞ 「プリントヘッドのクリーニング」 63 ページ

本機には上記の他にメンテナンスツールから実行するメンテナンス機能があります。詳細は以下をご覧ください。

[☞ 「メンテナンスツールの使い方（Windows）」 65 ページ](#)

[☞ 「メンテナンスツールの使い方（Mac OS）」 79 ページ](#)

使用済み消耗品の処分

以下のいずれかの方法で処分してください。

- 回収

使用済みのメンテナンスボックスは、資源の有効活用と地球環境保全のため回収にご協力ください。

- 廃棄

産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。委託時に製品安全性データシート（MSDS）を産業廃棄物処理業者に提出してください。

製品安全データシート（MSDS）は、エプソンのウェブサイト（<https://www.epson.jp>）からダウンロードできます。

メンテナンスボックスの回収

使用済みメンテナンスボックスは、「引取回収サービス」をご利用ください。

詳しくはエプソンのウェブサイトをご覧ください。

<https://www.epson.jp/inkrecycle/>

インクの補充

作業時のご注意

作業を行う前にインクボトルの取り扱いに関する注意事項を必ずお読みください。

📄 「インクボトル取り扱い上のご注意」 17 ページ

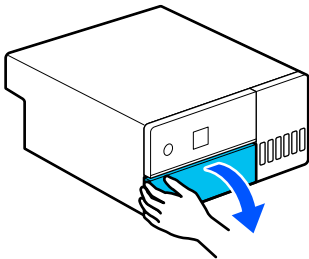
！重要

- プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクボトルを使用することをお勧めします。
- 少量のインク補充を繰り返さないでください。プリンターが故障するおそれがあります。
- キャップを外したボトルの先端をぶつけないでください。インクが漏れることがあります。
- ボトルを強く握らないでください。インクが漏れる可能性があります。
- ボトルをインクタンクに挿したままにしないでください。ボトルの破損やインク漏れの原因になることがあります。

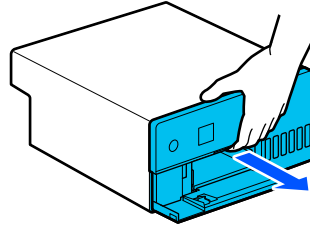
インクの補充方法

- 1 電源ランプが点灯していることを確認します。
電源ランプ点滅中は、本機が動作中です。動作が止まるまでお待ちください。

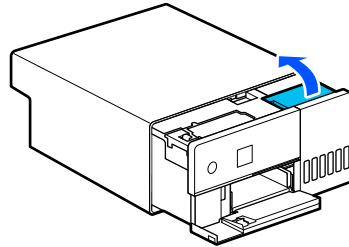
- 2 前面カバーを開けます。



- 3 図の位置に手を掛けて、止まる位置までプリンターの内部を引き出します。



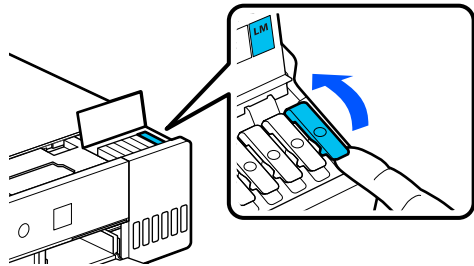
- 4 インクタンクカバーを開けます。
画面に表示されるインク注入時のご注意を読んで、次の画面に進みます。



- 5 補充する色のインクタンクキャップを開けます。

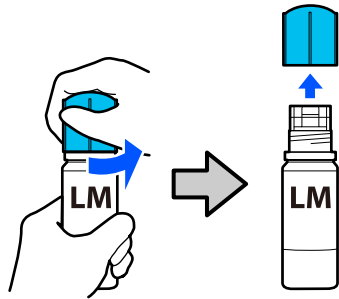
！重要

インクタンクの色と補充したいインクの色が合っていることを確認してください。



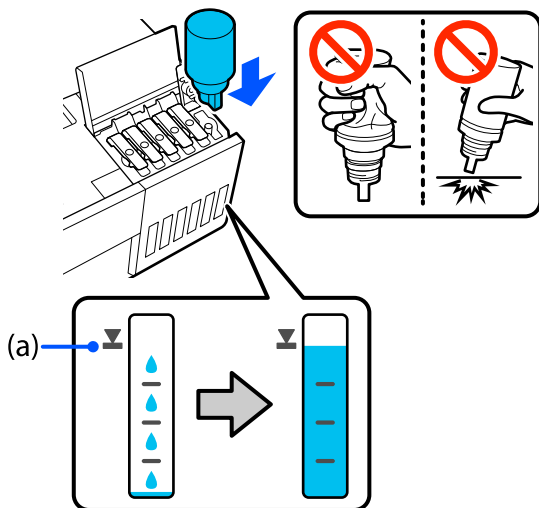
- 6** インクボトルをまっすぐに立てた状態で、キャップをゆっくり回して取り外します。

インクをこぼさないように注意してください。



- 7** インクの注入口に合わせてボトルを挿し、インクが上限線 (a) で自動で止まるまで待ちます。

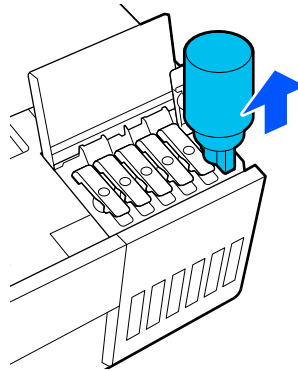
正しい色の注入口にボトルを挿すと、インクは自動で注入を開始して上限線の位置で止まります。注入が始まらないときは、ボトルを挿し直してください。



!重要

上限線までインクが入った状態で、ボトルを抜き挿ししないでください。インクが漏れるおそれがあります。
ボトルを強く握らないでください。インクが漏れるおそれがあります。

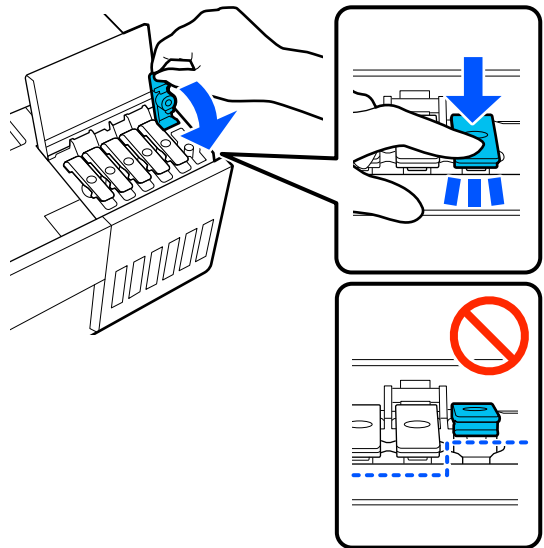
- 8** インクの注入が完了したらボトルを抜いて、インクボトルのキャップを確実に締めます。



参考

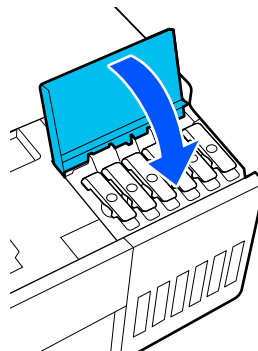
インクが残った場合は、ボトルのキャップを締めてまっすぐ立てて保管してください。

- 9** インクタンクキャップを確実に閉めます。

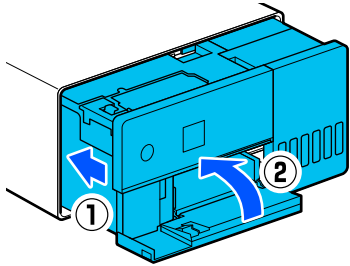


別の色のインクも補充するときは、手順 5~9 を行います。

- 10** インクタンクカバーをしっかりと閉めます。



- 11** プリンターの内部を元の位置に戻して、前面カバーを閉めます。



- 12** 画面の指示に従って、インクを注入した色のインク残量を更新します。

！重要

インク補充後は、必ずインク残量を更新してください。
 2色以上のインクを補充したときは、補充した色を全て選択してインク残量情報を更新してください。
 インク残量情報を更新しないと、インクを補充してもインク残量表示は変わりません。

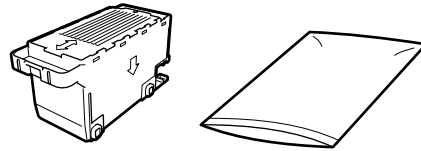
メンテナンスボックスの交換

メンテナンスボックスは、プリントヘッドのクリーニング実行時に消費されるインクを吸収するためのものです。
 メンテナンスボックス交換のメッセージが表示されたら、以下の手順に従って交換してください。

！重要

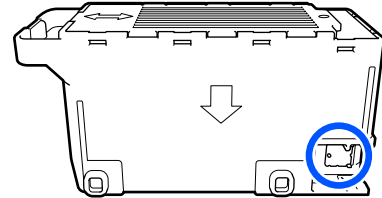
メンテナンスボックスを外した後は、メンテナンスボックスカバーを開けたまま放置せず、速やかに交換してください。

- 1** 新しいメンテナンスボックスと付属の袋を準備します。



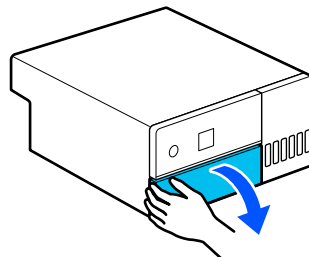
！重要

メンテナンスボックスの基板部分には触らないでください。正常な動作・印刷ができなくなるおそれがあります。

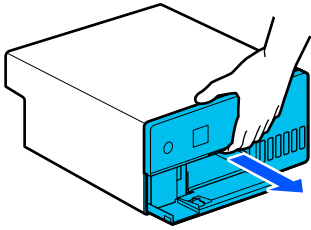


- 2** 電源ランプが点灯していることを確認します。
 電源ランプが点滅中は、本機が動作中です。動作が止まるまでお待ちください。

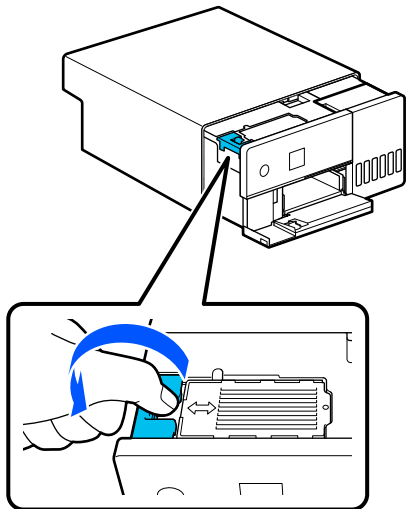
- 3** 前面カバーを開けます。



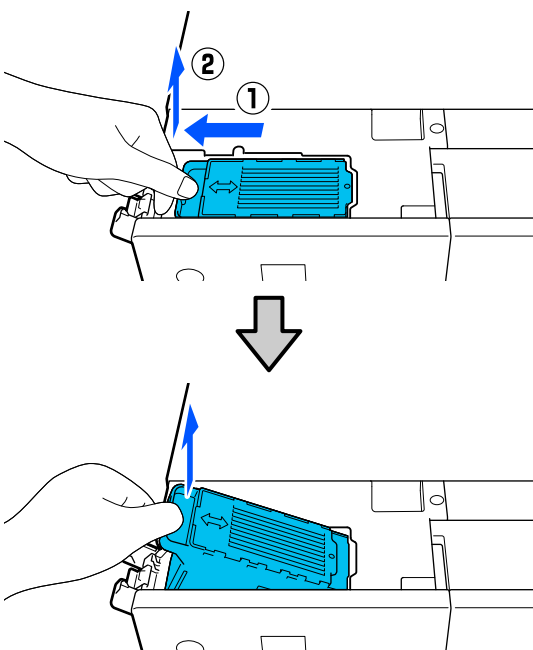
- 4 図の位置に手を掛けて、止まる位置までプリンターの内部を引き出します。



- 5 メンテナンスボックスカバーを開けます。



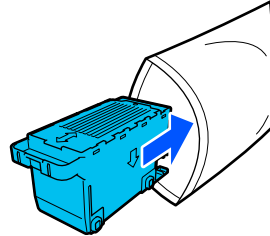
- 6 メンテナンスボックスを取り外します。
図のように、外側に引き出してから持ち上げます。
図の向きに引き出すとブザーが鳴ります。



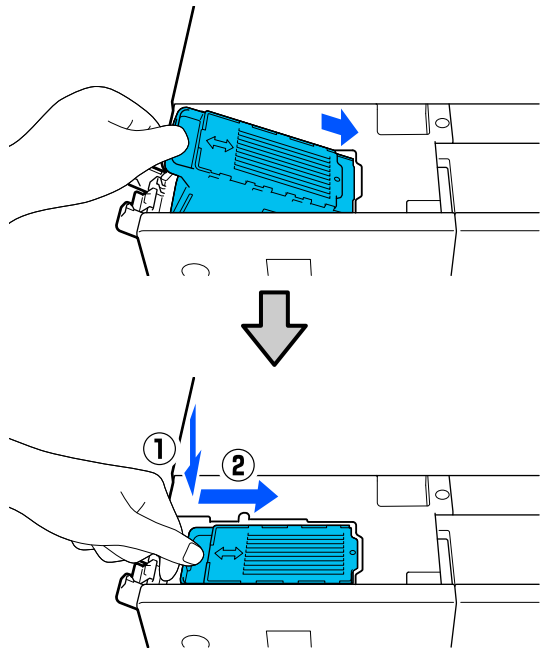
使用済みメンテナンスボックスの処分方法については、以下を参照してください。

 「使用済み消耗品の処分」49 ページ

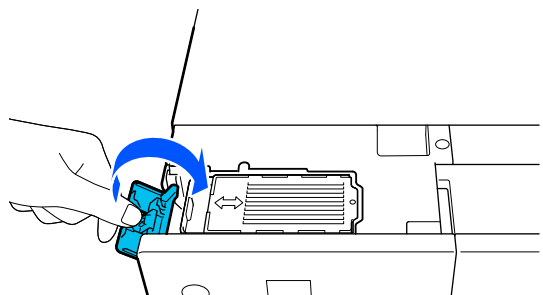
- 7 付属の袋に、使用済みメンテナンスボックスを入れます。



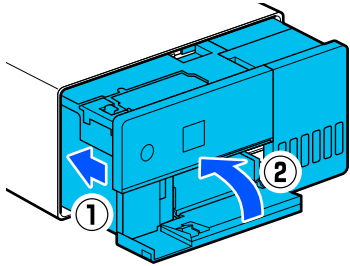
- 8 新しいメンテナンスボックスを取り付けます。
取り付けたメンテナンスボックスは、止まる位置まで内側に押し込んでください。



- 9 メンテナンスボックスカバーを閉めます。



- 10 プリンターの内部を元の位置に戻して、前面カバーを閉めます。



- 11 画面の指示に従って【OK】ボタンを押します。
状態表示ランプが消灯したことを確認します。

プラテンの清掃

印刷した用紙の裏側が汚れるときは、プラテンに紙粉（白い粉のようなもの）などが溜まって汚れています。以下の手順に従ってプラテンを清掃してください。

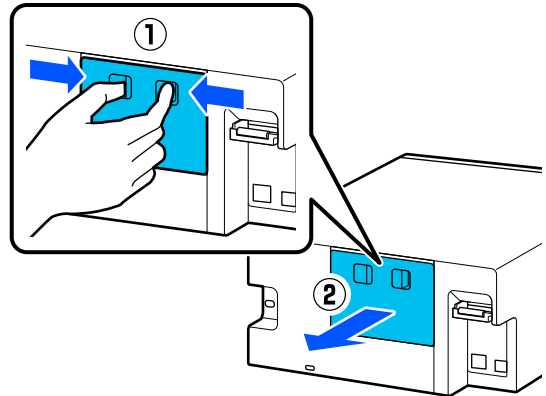
清掃は本機の電源を切った状態で実施してください。

！重要

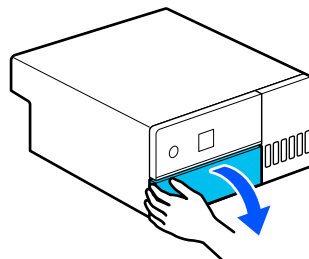
清掃が指示された箇所以外には触らないでください。
故障や印刷品質低下の原因となります。

- 1 本機の電源を切ります。

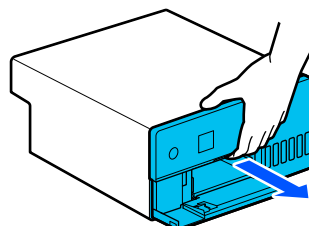
- 2 背面ユニットを取り外します。



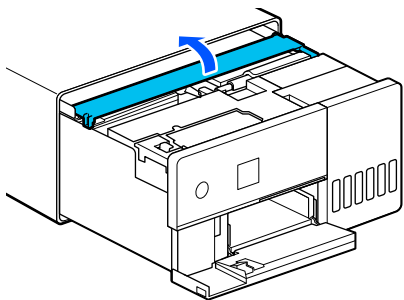
- 3 前面カバーを開けます。



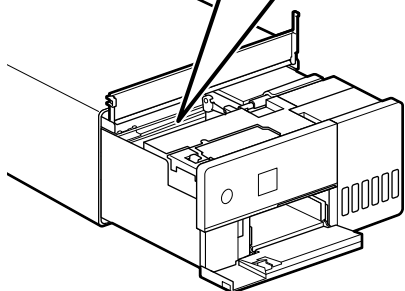
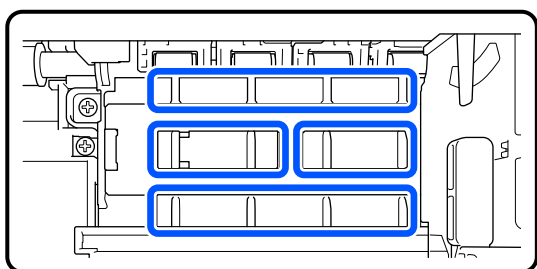
- 4 図の位置に手を掛けて、止まる位置までプリンターの内部を引き出します。



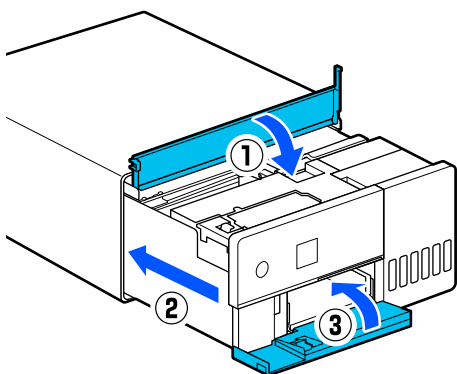
5 内部カバーを開けます。



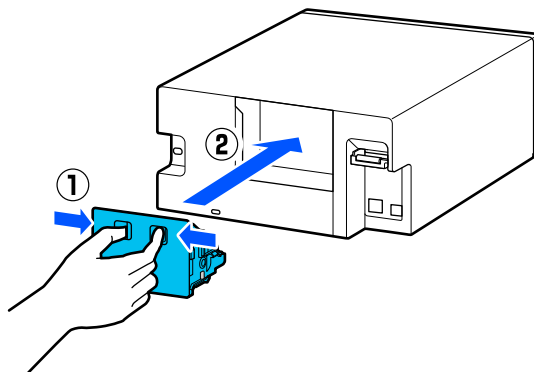
6 プラテン上 (図の青線で囲まれた部分) の紙粉などの汚れを市販の綿棒で拭き取ります。



7 内部カバーを閉め、プリンターの内部を元の位置に戻して前面カバーを閉めます。



8 背面ユニットを取り付けます。



給紙ローラーキットの清掃と交換

用紙カセットから用紙が正しく給紙されないときは、本機の底面に装着されている給紙ローラーキットを清掃してください。

給紙ローラーキットの清掃を適切に実施しても繰り返しの給紙不良が発生するときは、給紙ローラーキットを新品と交換してください。

給紙ローラーキットの清掃

準備するもの

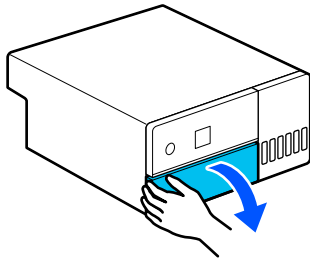
ローラーの清掃には市販の柔らかい布を使います。事前にご用意ください。布は、毛羽ゴミが出にくく、静電気が発生しにくいものをお勧めします。

給紙ローラーキットの取り外し

- 1 ホーム画面で [設定] - [プリンターのお手入れ] を選択します。
項目を選択するには、【▲】 / 【▼】 / 【◀】 / 【▶】 ボタンで動かして、【OK】 ボタンを押してください。

- 2 [給紙ローラーキット交換] を選択します。

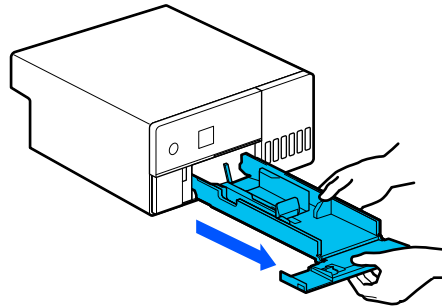
- 3 前面カバーを開けます。



- 4 用紙カセットを引き抜きます。

!重要

用紙カセットは両手で引き抜いてください。片手で作業をすると、用紙カセットを引き抜いたときに重さで用紙カセットが落下し破損するおそれがあります。



- 5 画面の指示に従って【OK】 ボタンを押します。

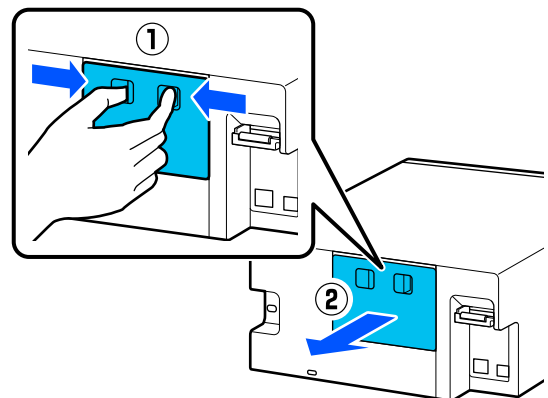
交換の準備ができたことを知らせるメッセージが表示されます。

- 6 本機の電源を切り、電源コードなど全ての配線を本機から取り外します。

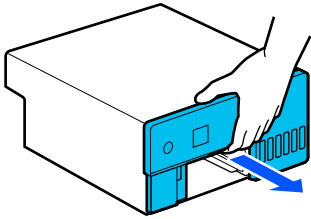
!重要

電源ランプが消灯してから電源プラグをコンセントから抜いてください。プリントヘッドがキャッピングされない(プリントヘッドが右端に位置しない)ことがあります。キャッピングせずに長時間放置すると、印刷不良の原因となります。

- 7 背面ユニットを取り外します。

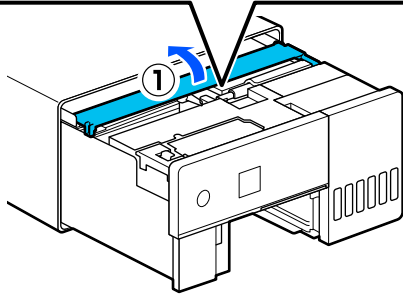
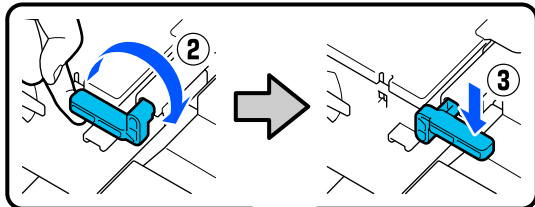


- 8 図の位置に手を掛けて、止まる位置までプリンターの内部を引き出します。

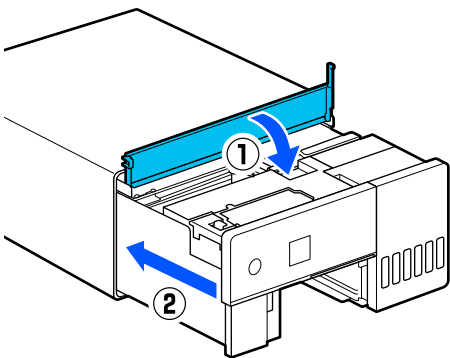


- 9 内部カバーを開けて、図のように輸送用ロックを輸送位置にセットします。

輸送用ロックを輸送位置にセットすると、手順 11 で本機を立てたときにインク漏れを防げます。



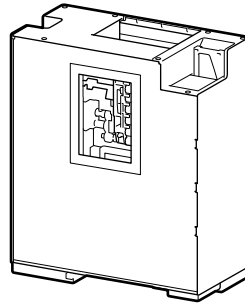
- 10 内部カバーを閉め、プリンターの内部を元の位置に戻します。



- 11 底面が見えるように、前面を下にして本機を立てます。

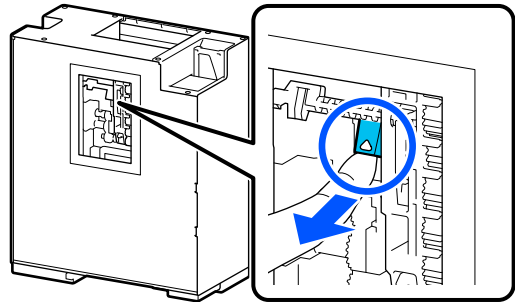
！重要

本機を立てるときは、手や指を挟まないように注意してください。けがをする恐れがあります。



- 12 図のように、給紙ローラーキットの左側のローラーロックレバーを手前に起こします。

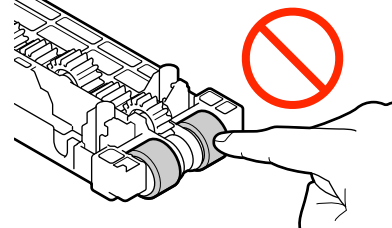
ローラーロックレバーを起こすと、給紙ローラーキットが手前に倒れます。

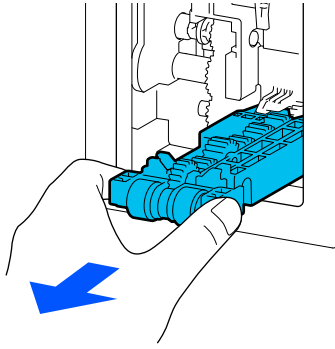


- 13 給紙ローラーキットを取り外します。

！重要

給紙ローラーキットのローラー表面には触らないでください。皮脂が付着し、印刷物が汚れるおそれがあります。





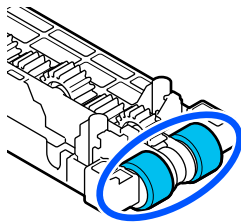
給紙ローラーキットの清掃方法

水に浸してよく絞った柔らかい布で、ローラーに付着している紙粉などの汚れを拭き取ります。

！重要

乾いた布でローラーを拭かないでください。ローラーの表面を傷つけることがあります。

図のローラーを回転させてローラー表面に付着している汚れを拭き取ってください。



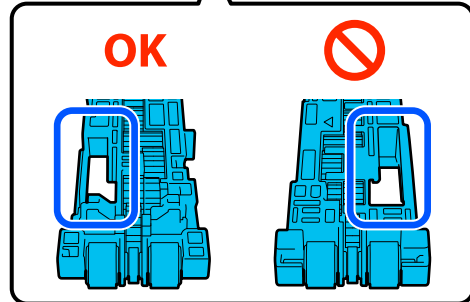
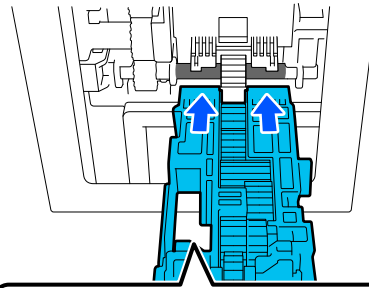
次項の手順に従って給紙ローラーキットを本機に取り付けます。

給紙ローラーキットの取り付け

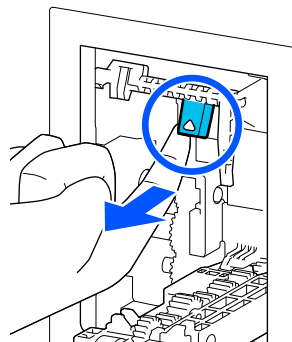
1 給紙ローラーキットを取り付けます。

以下の手順に従って給紙ローラーキットを本機に取り付けてください。

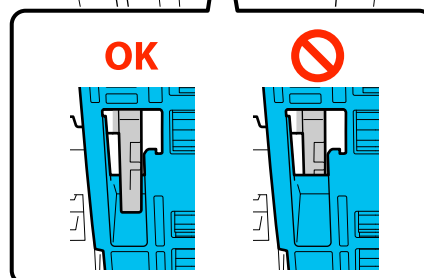
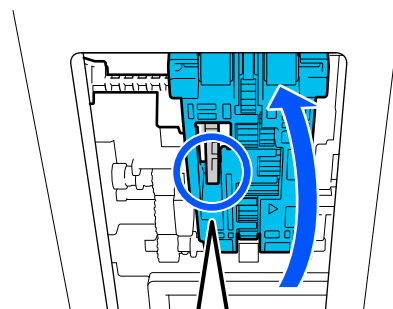
- ① 給紙ローラーキットを図の向きにして軸に差し込みます。



- ② 図のローラーロックレバーを手前に起こします。



- ③ ②のレバーを起こしたまま、給紙ローラーキットを起し、図のように突起部の先端が給紙ローラーキットの穴の外に出ている状態でローラーロックレバーから指を離します。



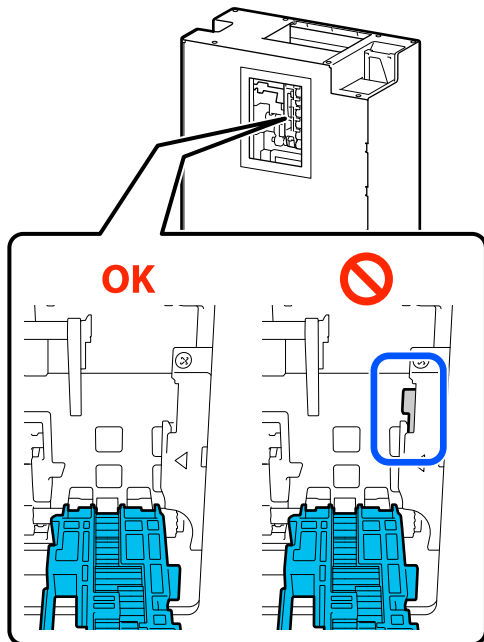
給紙ローラーキットから手を離しても倒れないことを確認します。

！重要

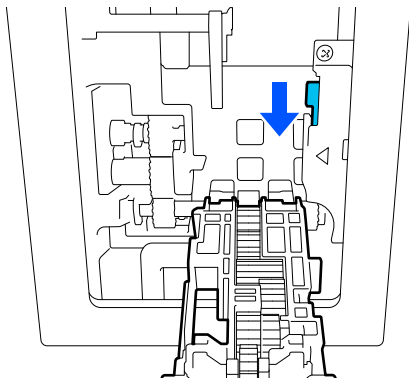
給紙ローラーキットを起こすときに、引っ掛かりがあって垂直に起こせないときは無理に起こさないでください。

給紙ローラーキットの取り外し時や取り付け時に以下に触れると、図の禁止マークの状態になることがあります。

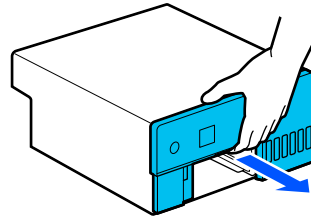
- 本機の歯車
- 給紙ローラーキットの歯車
- 給紙ローラーキットのローラー



突起部を指で押し込んでから給紙ローラーキットを取り付けてください。



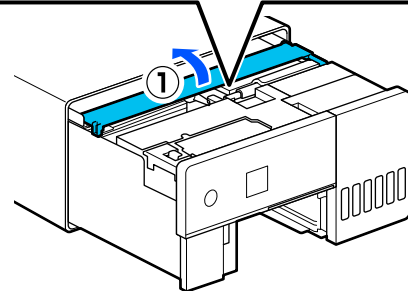
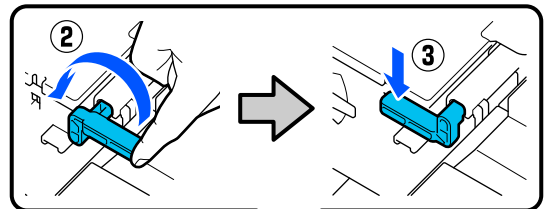
2 立てていた本機を元に戻し、止まる位置までプリンターの内部を引き出します。



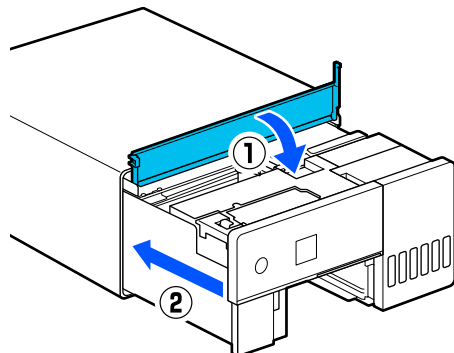
3 内部カバーを開けて、図のように輸送用ロックを印刷位置にセットします。

！重要

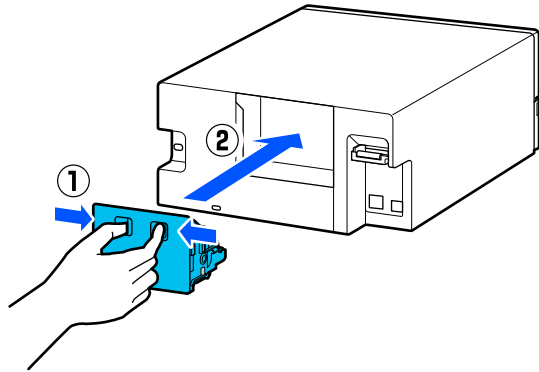
清掃後は必ず輸送用ロックを印刷位置にセットしてください。輸送位置にセットされていると印刷できません。



4 内部カバーを閉め、プリンターの内部を元の位置に戻します。



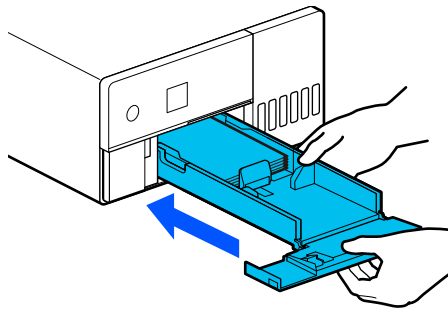
5 背面ユニットを取り付けます。



6 用紙カセットを差し込みます。

！重要

用紙カセットは両手で差し込んでください。片手で作業をすると、セットした用紙の重さで用紙カセットが落下し破損するおそれがあります。



7 電源コードを接続して、本機の電源を入れます。

参考

LAN/USB ケーブルを本機に接続するときの接続手順は、『セットアップガイド』をご覧ください。お手元に『セットアップガイド』がないときは、<https://epson.sn> からお使いの機種を選択してご覧いただけます。

接続手順は動画でもご覧いただけます。
[動画マニュアル](#)

給紙ローラーキットの交換

給紙ローラーキットの清掃を適切に実施しても繰り返し給紙不良が発生するときは、給紙ローラーキットを新品と交換してください。

給紙ローラーキットの取り外し

給紙ローラーキットの取り外し方法は、以下をご覧ください。

[「給紙ローラーキットの取り外し」 56 ページ](#)

給紙ローラーキットの取り付け

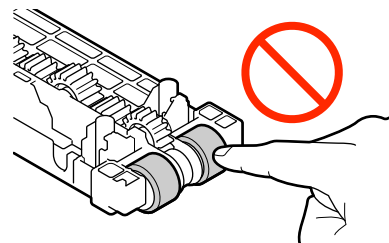
以下をご覧になり、新品の給紙ローラーキットを取り付けてください。

[「給紙ローラーキットの取り付け」 58 ページ](#)

取り付け時のご注意

！重要

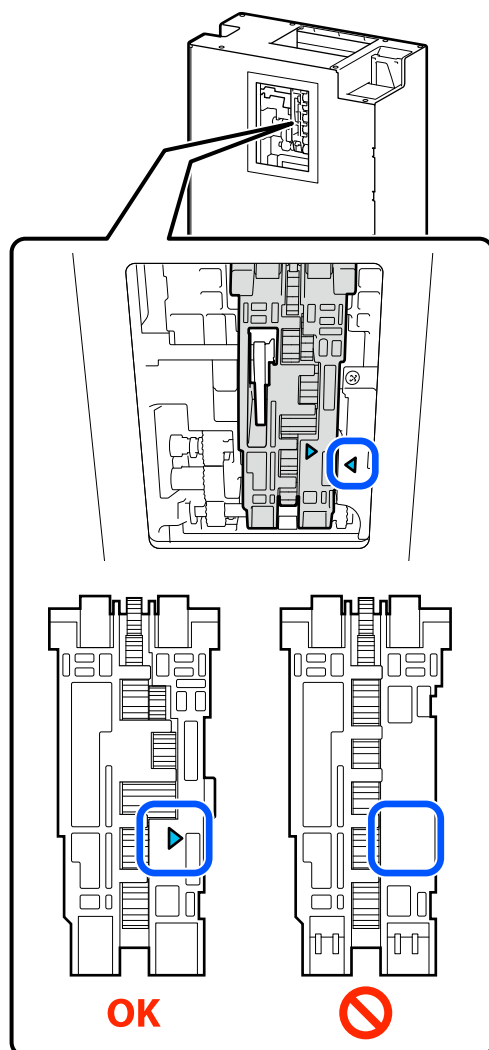
給紙ローラーキットのローラー表面には触らないでください。皮脂が付着し、印刷物が汚れるおそれがあります。



取り付け可能な給紙ローラーキットと本機の組み合わせ

底面の給紙ローラーキットの右側に ◀ 印があるか確認してください。

- ◀ 印があるとき
 - ▶ 印がある給紙ローラーキットのみ取り付けられます。
 - ▶ 印がない給紙ローラーキットは取り付けられません。
 - ▶ 印がない給紙ローラーキットは、◀ 印がないプリンターで使用できます。
- ◀ 印がないとき
 - ▶ 印の有無に関係なく、どちらの給紙ローラーキットも取り付けられます。



プリントヘッドのノズルチェック

印刷結果にスジが入ったりかすれたり、通常の色味と異なる色味で印刷されたりするときは、プリントヘッドのノズルが目詰まりしている可能性があります。ここでは、プリントヘッドのノズルチェックの方法を説明します。

ノズルチェックの種類

プリントヘッドのノズルの状態を確認するには、以下の3通りの方法があります。

自動でノズルの状態を確認する

本機には、設定したタイミングでノズルの状態を確認して、ノズルが目詰まりしているときに自動でノズルのクリーニングを行ったり、目詰まりしているノズルを正常なノズルで補完して印刷したりする自動ノズルチェック機能があります。そのため、通常は手動でノズルチェックを実行する必要はありません。

自動ノズルチェックの設定（タイミングの変更や機能を無効にするなど）はメンテナンスツールから行います。メンテナンスツールの詳細は以下をご覧ください。

☞ [「メンテナンスツールの使い方（Windows）」 65 ページ](#)

☞ [「メンテナンスツールの使い方（Mac OS）」 79 ページ](#)

！重要

ノズルの状態を確認するときに、セットした用紙にチェックパターンを印刷してノズルの状態を自動で確認するため、チェック時に用紙を1枚使用します。また、チェックパターンを印刷した用紙が、印刷結果に混ざる可能性があります。

手動でノズルの状態を確認する

自動ノズルチェック機能を無効にしているときや本機をしばらく使わなかったとき、または大切な印刷物を印刷する前などに、メンテナンスツールでノズルチェックを実行してノズルの状態を確認します。ノズルチェックを実行すると、本機が自動でノズルの目詰まりを検出します。チェック結果に応じて、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。

メンテナンスツールの詳細は以下をご覧ください。

☞ [「メンテナンスツールの使い方（Windows）」 65 ページ](#)

☞ [「メンテナンスツールの使い方（Mac OS）」 79 ページ](#)

任意にチェックパターンを印刷する

印刷したノズルチェックパターンを目で見てノズルの状態を確認したいときや、プリントヘッドのクリーニング後にノズルの目詰まりが解消されたかを確認したいときにノズルチェックパターンを印刷します。

本機からチェックパターンを印刷する方法は、次項をご覧ください。

参考

ノズルチェックパターンの印刷はメンテナンスツールからも実行できます。

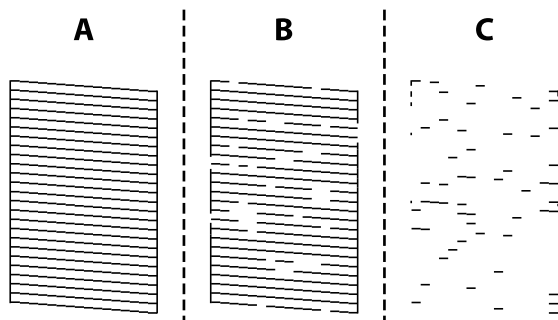
メンテナンスツールの詳細は以下をご覧ください。

[☞ 「メンテナンスツールの使い方 \(Windows\)」 65 ページ](#)

[☞ 「メンテナンスツールの使い方 \(Mac OS\)」 79 ページ](#)

ノズルチェックパターンの印刷方法

- 1 用紙カセットに用紙をセットします。
[☞ 「用紙のセット方法」 24 ページ](#)
- 2 ホーム画面で [設定] - [プリンターのお手入れ] を選択します。
項目を選択するには、【▲】 / 【▼】 / 【◀】 / 【▶】 ボタンで動かして、【OK】 ボタンを押してください。
- 3 [プリントヘッドのノズルチェック] を選択します。
- 4 画面の指示に従ってノズルチェックパターンを印刷します。
- 5 印刷したパターンを見て、ノズルに目詰まりがあるかないかを確認します。



- Aと同じ：
全ての線が印刷されているので、目詰まりしていません。[いいえ] を選択してください。プリントヘッドのクリーニングは不要です。
- Bに近い：
いくつかのノズルが目詰まりしています。[はい] を選択して、プリントヘッドのクリーニングを実行してください。
クリーニングが終了すると、確認のメッセージが表示されます。手順 6 に進みます。
- Cに近い：
ほとんどの線が欠ける、または大部分が印刷されていない場合は、ほとんどのノズルが目詰まりしています。強力ヘッドクリーニングの実行が必要です。[いいえ] を選択して以下をご覧ください。
[☞ 「強力ヘッドクリーニング」 63 ページ](#)

- 6 ノズルチェックパターンを印刷して目詰まりの状態を確認するときは、[ノズルチェック実行] を選択します。ノズルチェックパターンの全ての線が印刷されるまで、ノズルチェックとクリーニングを繰り返します。

ノズルチェックパターンを印刷しないときは、[終了] を選択します。

プリントヘッドのクリーニングを 3 回程度繰り返しても目詰まりが解消されないときは、強力ヘッドクリーニングを実行してください。

[☞ 「強力ヘッドクリーニング」 63 ページ](#)

プリントヘッドのクリーニング

クリーニングの種類

プリントヘッドのクリーニングには、以下の2通りの方法があります。

自動でクリーニングを実施する

自動ノズルチェック機能が有効なときは、設定したタイミングでノズルの状態を確認して、ノズルが目詰まりしているときに自動でプリントヘッドのクリーニングを行います。そのため、通常はプリントヘッドのクリーニングを手動で実行する必要はありません。

自動ノズルチェックの設定（タイミングの変更や機能を無効にするなど）はメンテナンスツールから行います。メンテナンスツールの詳細は以下をご覧ください。

☞ 「メンテナンスツールの使い方（Windows）」 65 ページ

☞ 「メンテナンスツールの使い方（Mac OS）」 79 ページ

任意にクリーニングを実施する

ノズルチェックパターンが欠けているときや、印刷結果にスジが入ったりかすれたり、通常の色味と異なる色味で印刷されたりするときは、プリントヘッドのクリーニングを行います。プリントヘッドのクリーニングは、本機とメンテナンスツールのどちらからも行えますが、実行できる項目が下表の通り異なります。

本機のメニュー	メンテナンスツール
プリントヘッドのクリーニング	強制クリーニング-通常
強力ヘッドクリーニング	強制クリーニング-強力
-	診断クリーニング-通常
インクチューブリフレッシュ	-

以降では、本機から実施するクリーニングについて説明します。

メンテナンスツールから実施するクリーニングの詳細は、以下をご覧ください。

☞ 「メンテナンスツールの使い方（Windows）」 65 ページ

☞ 「メンテナンスツールの使い方（Mac OS）」 79 ページ

プリントヘッドのクリーニング (通常クリーニング)

参考

インク残量が少ないとクリーニングできないことがありますので、事前にインクを補充してください。

☞ 「インクの補充」 50 ページ

- 1 用紙カセットに用紙をセットします。
☞ 「用紙のセット方法」 24 ページ
- 2 ホーム画面で【設定】 - 【プリンターのお手入れ】を選択します。
項目を選択するには、【▲】 / 【▼】 / 【◀】 / 【▶】 ボタンで動かして、【OK】 ボタンを押してください。
- 3 【プリントヘッドのクリーニング】を選択します。
- 4 画面の指示に従ってプリントヘッドのクリーニングを実行します。
クリーニングが終了すると、確認のメッセージが表示されます。
- 5 ノズルチェックパターンを印刷して目詰まりの状態を確認するときは、【ノズルチェック実行】を選択します。ノズルチェックパターンの全ての線が印刷されるまで、ノズルチェックとクリーニングを繰り返します。
ノズルチェックパターンを印刷しないときは、【終了】を選択します。
プリントヘッドのクリーニングを3回程度繰り返しても目詰まりが解消されないときは、強力ヘッドクリーニングを実行してください。
強力ヘッドクリーニングの詳細は、次項をご覧ください。

強力ヘッドクリーニング

強力ヘッドクリーニングを実行すると、以下の場合の印刷品質が改善することがあります。

- ほとんどのノズルが目詰まりしている

- プリントヘッドのクリーニングを 3 回実施しても目詰まりが解消されない

参考

強力ヘッドクリーニングは、プリントヘッドのクリーニングより多くのインクを消費します。

- 1 用紙カセットに用紙をセットします。
🔗 [「用紙のセット方法」24 ページ](#)
- 2 ホーム画面で [設定] - [プリンターのお手入れ] を選択します。
- 3 [強力ヘッドクリーニング] を選択します。
- 4 画面の指示に従って強力ヘッドクリーニングを実行します。
クリーニングが終了すると、確認のメッセージが表示されます。
- 5 ノズルチェックパターンを印刷して目詰まりの状態を確認するときは、[ノズルチェック実行] を選択します。ノズルチェックパターンの全ての線が印刷されたか確認してください。
ノズルチェックパターンを印刷しないときは、[終了] を選択します。
強力ヘッドクリーニングを実行しても目詰まりが解消されないときは、印刷しない状態で本機を 12 時間以上放置してください。時間を置くことによって、目詰まりしているインクが溶解することがあります。
それでも改善されないときは、インクチューブリフレッシュを実行してください。
インクチューブリフレッシュの詳細は、次項をご覧ください。

インクチューブリフレッシュ

強力ヘッドクリーニングを実行後、印刷しない状態で本機を 12 時間以上放置しても目詰まりが解消されないときに、インクチューブリフレッシュを実行することで印刷品質が改善することがあります。
インクチューブリフレッシュを実行すると、インクチューブ内のインクを全て入れ替えます。

!重要

- 作業の前に、インクタンクに 50%以上のインク残量があることを目視で確認してください。
インクチューブ内のインクを全て入れ替えるため、インクが少ない状態で実行すると、インクに気泡が入ってきれいに印刷できなくなることがあります。
- メンテナンスボックスの交換が必要になることがあります。
チューブ内のインクは、メンテナンスボックスに排出されます。メンテナンスボックスがいっぱいになると、交換するまで印刷できません。事前に新しいメンテナンスボックスを用意することをお勧めします。

- 1 ホーム画面で [設定] - [プリンターのお手入れ] を選択します。
- 2 [インクチューブリフレッシュ] を選択します。
- 3 画面の指示に従ってインクチューブリフレッシュを実行します。
終了するとメッセージが表示されます。
- 4 ノズルチェックをして、ノズルの目詰まりが解消されたか確認します。
🔗 [「ノズルチェックパターンの印刷方法」62 ページ](#)
インクチューブリフレッシュを実行しても目詰まりが解消されないときは、印刷しない状態で本機を 12 時間以上放置してから、再度ノズルチェックをしてください。
それでも目詰まりが解消されないときは、お買い求めの販売店またはエプソンソリューションコールセンターに連絡してください。

メンテナンスツールの使い方 (Windows)

本機に接続したコンピューターから起動するメンテナンスツールの使用方法を説明します。

メンテナンスツールの概要

コンピューターから、プリンターの状態の確認、設定、ヘッドクリーニングなどの調整/保守作業を行うことができます。1台のコンピューターに複数のプリンターを接続しているときは、複数のプリンターに対して一度に操作できます。

起動と終了

起動する

コンピューターで、[スタート] - アプリケーション一覧 - [EPSON] - [EPSON SL-D500 Series Maintenance Tool] の順にクリックします。



参考

プリンタードライバー画面の [ユーティリティ] タブの [メンテナンスツール] をクリックしても起動します。





終了する

画面右下の [閉じる] をクリックします。

メイン画面の説明

メンテナンスツールを起動すると、以下のメイン画面が表示されます。
メイン画面の構成と機能は以下の通りです。



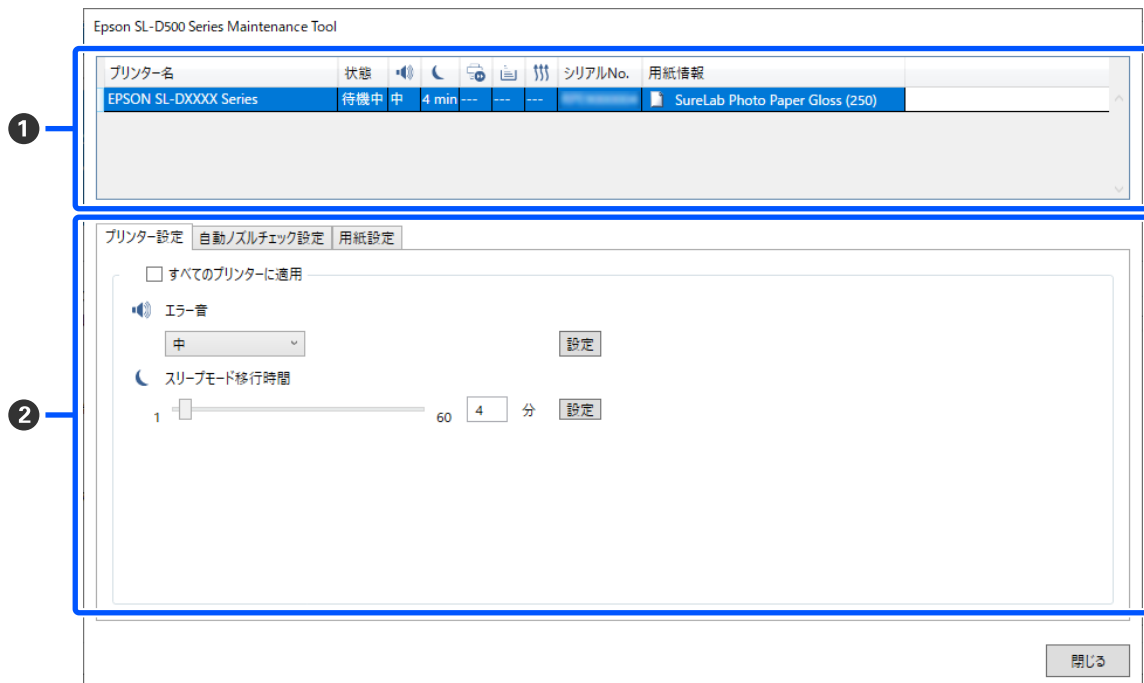
	項目	機能
①	プリンター一覧エリア	コンピューターに接続しているプリンターを一覧表示します。
	状態	プリンターの状態を表示します。
		各色のインク残量を表示します。インクの色ごとに以下の通り表示します。  : インク残量は問題ありません。  : インクが残り少ないため、インクタンクにインクを補充することをお勧めします。  : インク残量が限界値以下のため、インクタンクにインクを補充してください。
	プリンター名	プリンター名称を表示します。
	用紙種類	現在セットされている用紙種類を表示します。
②	プリンターメンテナンス	プリンター一覧エリア (①) で選択したプリンターに対して、以下のメンテナンス機能を実行します。
	診断クリーニング	ノズルの目詰まりを検出し、自動でクリーニングを実行します。 🔗 「診断クリーニング」 75 ページ
	強制クリーニング	手動でクリーニングを実行します。 🔗 「強制クリーニング」 76 ページ
	ノズルチェック	ノズルの目詰まりを確認します。 ノズルチェックパターンを印刷することもできます。 🔗 「ノズルチェックの方法」 73 ページ 🔗 「ノズルチェックパターンの印刷方法」 74 ページ
③	プリンター設定ボタン	プリンターの動作設定、自動ノズルチェック設定、プリンターの調整を行う画面が表示されます。 🔗 「プリンター設定画面の説明」 68 ページ

メンテナンスツールの使い方 (Windows)

	項目	機能
④	システム環境設定ボタン	ログファイルとステータスシートを保存できる画面が表示されます。 🔗 「システム環境設定画面の説明」 72 ページ
⑤	プリンター履歴	コンピューターに接続しているプリンターで発生したエラー情報や、メンテナンスツールから実行したメンテナンスや設定の履歴を表示します。 メンテナンスツールを終了すると自動で削除され、次回の起動時にはプリンター履歴は引き継がれません。 エラー情報の詳細は、以下をご覧ください。 🔗 「メンテナンスツールに表示されるメッセージコード (Windows のみ) 」 124 ページ

プリンター設定画面の説明

メイン画面で [プリンター設定] をクリックすると、以下のプリンター設定画面が表示されます。プリンター設定画面の構成と機能は以下の通りです。



	項目	機能
①	プリンター一覧エリア	コンピュータに接続しているプリンターを一覧表示します。 以下のアイコンで表示する項目は、[プリンター設定] タブで設定を変更できます。 🔊、🌙 🖨️ 「プリンター設定タブ」69 ページ
	プリンター名	プリンター名称を表示します。
	状態	プリンターの状態を表示します。
	🔊	警告ブザーの設定状態を表示します。
	🌙	スリープモードへの移行時間を表示します。
	🖨️	[---] が表示されます。本機では使用しない項目です。
	📄	
	🔧	
	シリアル No.	プリンターのシリアル番号を表示します。
用紙情報	現在セットされている用紙種類を表示します。	

	項目	機能
②	タブ・情報表示エリア	以下の3種類のタブを表示します。
	プリンター設定タブ	プリンターの各種動作設定を行うことができます。 🔗 「プリンター設定タブ」69ページ
	自動ノズルチェック設定タブ	自動ノズルチェックに関連する各種設定を行うことができます。 🔗 「自動ノズルチェック設定タブ」69ページ
	用紙設定タブ	[ギャップ調整] や [紙送り調整] といったプリンターの調整を行うことができます。 🔗 「用紙設定タブ」71ページ

プリンター設定タブ

プリンター設定画面の [プリンター設定] タブの構成と機能は以下の通りです。



②～③は、設定変更後に各項目の [設定] をクリックすると変更が反映されます。

	項目	機能
①	すべてのプリンターに適用	チェックを付けたら、画面上部のプリンター一覧エリアに表示している全てのプリンターに対して、②～③の設定変更結果を一括して適用します。 チェックを付けてから②～③の設定を変更して、各項目の [設定] をクリックします。
②	エラー音	警告ブザーを鳴らすかどうかと、ブザーを鳴らすときは音量を設定します。
③	スリープモード移行時間	スリープモードに移行するまでの時間を設定します。 プリンターにエラーが発生していない状態で、印刷ジョブが受信されない状態が続いたとき、自動的にスリープモードに移行します。

自動ノズルチェック設定タブ

設定したタイミングでノズルの状態を確認して、ノズルが目詰まりしているときに自動でノズルのクリーニングを行う自動ノズルチェックの詳細を設定します。

メンテナンスツールの使い方 (Windows)

プリンター設定画面の [自動ノズルチェック設定] タブの構成と機能は以下の通りです。



②～⑦は、設定変更後に [設定] をクリックすると変更が反映されます。

	項目	機能
①	すべてのプリンターに適用	チェックを付けると、画面上部のプリンター一覧エリアに表示している全てのプリンターに対して、②～⑦の設定変更結果を一括して適用します。 チェックを付けてから②～⑦の設定を変更して、[設定] をクリックします。
②	自動ノズルチェック設定	どのような条件で自動ノズルチェックを実行するかを設定します。以下のいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • 高品質 印刷前に自動ノズルチェックを実行したり、印刷中にノズルの目詰まりを検出したときに印刷を停止したりできるため、高い印刷品質での印刷を継続できます。 ③～⑦の全ての項目を設定できます。 • 通常 [高品質] に設定したときより少ない頻度で自動ノズルチェックを実行します。 [印刷前チェック] (③) と [印刷トラブル発生時の動作] (⑦) が無効になります。また、[定期チェック] (④) の実行枚数は [高品質] 設定時より多い枚数を設定できます。 • Off 自動ノズルチェックを実行しません。印刷したチェックパターンを目で見てノズルの状態を確認したいときなどに選択します。 • 出荷時設定 [自動ノズルチェック設定] タブの全設定 (②～⑦) をメーカー設定値に戻します。
③	印刷前チェック	[自動ノズルチェック設定] (②) で [高品質] を選択したときに設定できます。 印刷前に自動ノズルチェックを実行するかどうかを設定します。 [自動] に設定すると、自動ノズルチェックの設定変更後やノズルのクリーニング実行後などプリンターの状態に応じて自動ノズルチェックを実行します。 [毎回] に設定すると、印刷ジョブごとに自動ノズルチェックを実行します。
④	定期チェック	自動ノズルチェックを実行するタイミングを印刷枚数で設定します。 1つの印刷ジョブの印刷枚数が本項目で設定した印刷枚数を超えるときに、設定した枚数を印刷後に自動ノズルチェックを実行します。
⑤	ノズル抜け補完	ノズルが目詰まりして吐出されなかったインクの不足を正常なノズルで補いながら印刷するときの印刷品質を設定します。
⑥	自動クリーニング	ノズルの目詰まりを検出したときの自動クリーニングの回数を設定します。
⑦	印刷トラブル発生時の動作	[自動ノズルチェック設定] (②) で [高品質] を選択したときに設定できます。 ノズルの目詰まりを検出したときに、印刷を停止するかどうかを設定します。 [停止] に設定すると、ノズルの目詰まりを検出したときに印刷を停止します。 [印刷継続] に設定すると、ノズルの目詰まりを検出しても印刷を続けます。
⑧	設定ボタン	クリックすると、②～⑦の各項目の変更が反映されます。

用紙設定タブ

プリンター設定画面の [用紙設定] タブの構成と機能は以下の通りです。



	項目	機能
①	給紙方法	常に [カセット] が表示されます。
②	用紙種類	画面上部のプリンター一覧エリアで選択したプリンターにセットされている用紙種類を表示します。
③	ギャップ調整	印刷時のプリントヘッドのズレを補正します。 ギャップ調整の詳細は、以下をご覧ください。 🔗 「ギャップ調整の方法」 76 ページ
④	紙送り調整	用紙送り量を補正します。 紙送り調整の詳細は、以下をご覧ください。 🔗 「紙送り調整の方法」 77 ページ

システム環境設定画面の説明

メイン画面で [システム環境設定] をクリックすると、以下のシステム環境設定画面が表示されます。システム環境設定画面の構成と機能は以下の通りです。



	項目	機能
①	ログ収集	[保存] をクリックすると、プリンターに保存されているログファイルをコンピューターのデスクトップに保存します。ファイル名は以下の通りです。 Epson SL-D500 Series_<保存日時>.zip
②	ステータスシート保存	[プリンター名] でプリンターを選択して [保存] をクリックすると、選択したプリンターのステータスシートを PDF ファイルで保存します。 ファイル名と保存先は保存時に変更できます。

プリンターのメンテナンス

印刷結果にスジが入ったりかすれたり、通常の色味と異なる色味で印刷されたりなど、印刷結果に問題があるときは、プリントヘッドのメンテナンスが必要です。

メンテナンスの種類

メンテナンスツールには、プリントヘッドを良好な状態に保ち最良の印刷結果を得るために、以下のようなメンテナンス機能があります。

印刷結果や状況に応じて、該当するメンテナンスを実行してください。

自動ノズルチェック

設定を有効にすることで、設定したタイミングでノズルの状態を確認して、ノズルが目詰まりしているときに自動でノズルのクリーニングを行ったり、目詰まりしているノズルを正常なノズルで補完して印刷したりする機能です。

ただし、プリンターの操作パネルの用紙種類にハガキを設定したときは、自動ノズルチェックの設定が有効になっていても、自動ノズルチェックは行われません。

自動ノズルチェックは、ノズルチェックの実行条件やノズルチェックのタイミングなどを変更できます。また、自動ノズルチェックを行わないときは、設定を無効にします。

[「自動ノズルチェック設定タブ」 69 ページ](#)

！重要

ノズルの状態を確認するときに、セットした用紙にチェックパターンを印刷してノズルの状態を自動で確認するため、チェック時に用紙を 1 枚使用します。また、チェックパターンを印刷した用紙が、印刷結果に混ざる可能性があります。

手動ノズルチェック

自動ノズルチェックを無効にしているときや本機をしばらく使わなかったとき、または大切な印刷物を印刷する前などに、ノズルチェックを実行してノズルの状態を確認します。プリンターが自動でノズルの目詰まりを検出します。チェック結果に応じて、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。

[「ノズルチェックの方法」 73 ページ](#)

ノズルチェックパターンの印刷

印刷したノズルチェックパターンを目で見てノズルの状態を確認したいときや、プリントヘッドのクリーニング後にノズルの目詰まりが解消されたかを確認したいときにノズルチェックパターンを印刷します。

[「ノズルチェックパターンの印刷方法」 74 ページ](#)

プリントヘッドのクリーニング

ノズルチェックパターンが欠けているときや、印刷結果にスジが入ったりかすれたり、通常の色味と異なる色味で印刷されたりするときに行います。ノズルの目詰まりを解消する機能です。

ノズルの目詰まりを検出し、自動的にヘッドクリーニングを行う [診断クリーニング] と、手動でヘッドクリーニングを行う [強制クリーニング] の 2 種類があります。

[「プリントヘッドのクリーニングの方法」 75 ページ](#)

ギャップ調整

印刷結果に粒状感が出るときや、ピントがずれたようになるときは、ギャップ調整を行います。ギャップ調整は、印刷時のプリントヘッドのズレを補正する機能です。

[「ギャップ調整の方法」 76 ページ](#)

紙送り調整

印刷結果にスジやムラが発生したときに、プリントヘッドのクリーニングを実行しても改善しないときに実行します。

[「紙送り調整の方法」 77 ページ](#)

ノズルチェックの方法

用紙にチェックパターンを印刷してノズルの状態を自動で確認します。プリンターに用紙をセットしておく必要があります。

1 用紙カセットに用紙をセットします。

[「用紙のセット方法」 24 ページ](#)

2 メイン画面のプリンター一覧エリアでノズルチェックを実行するプリンターを選択します。

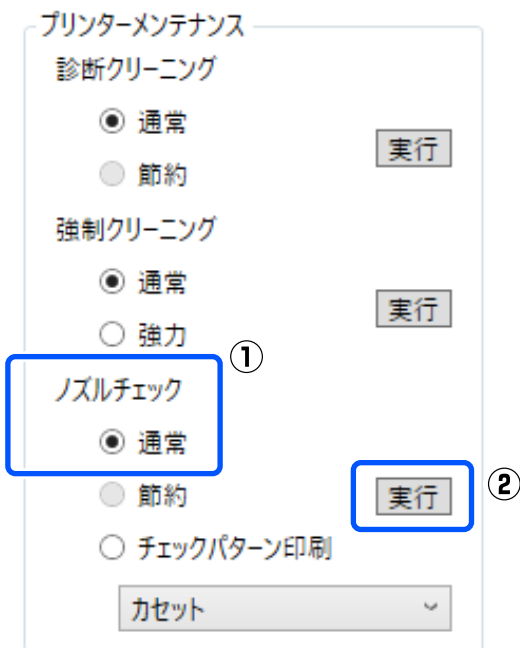
複数のプリンターを選択するときは、【Ctrl】キーを押したまま対象の全てのプリンターを選択します。

メイン画面の詳細は、以下をご覧ください。

[「メイン画面の説明」 66 ページ](#)

- 3** [プリンターメンテナンス] - [ノズルチェック] で [通常] を選択して、[実行] をクリックします。

本機では [節約] は選択できません。



ノズルチェックが実行されます。

- 4** [プリンター履歴] に表示されるメッセージで、ノズルチェックの結果を確認します。

「<プリンター名>のノズルチェックが完了しました」と表示されたときは作業終了です。

「ノズルに目詰まりがあります。[強制クリーニング]を行ってください。」と表示されたときは、[強制クリーニング]を実行します。

[「強制クリーニング」76 ページ](#)

ノズルの状態を印刷して確認したいときは、[チェックパターン印刷]を実行します。

[「ノズルチェックパターンの印刷方法」74 ページ](#)

ノズルチェックパターンの印刷方法

- 1** 用紙カセットに用紙をセットします。

[「用紙のセット方法」24 ページ](#)

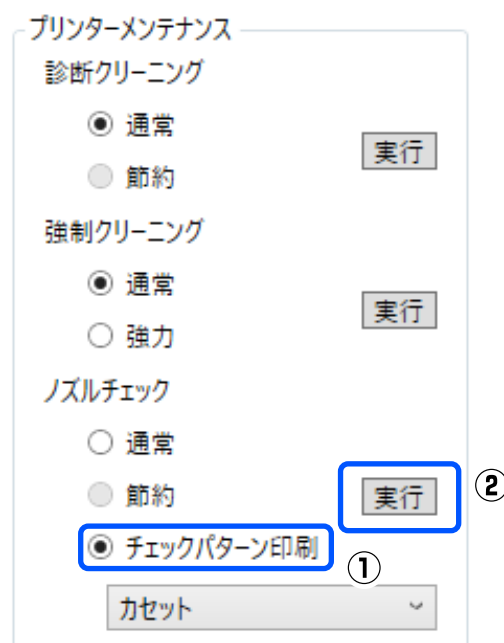
- 2** メイン画面のプリンター一覧エリアでノズルチェックパターンを印刷するプリンターを選択します。

複数のプリンターを選択するときは、【Ctrl】キーを押したまま対象の全てのプリンターを選択します。

メイン画面の詳細は、以下をご覧ください。

[「メイン画面の説明」66 ページ](#)

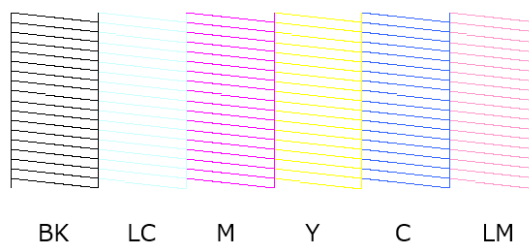
- 3** [プリンターメンテナンス] - [ノズルチェック] で [チェックパターン印刷] を選択して、[実行] をクリックします。



チェックパターンが印刷されます。

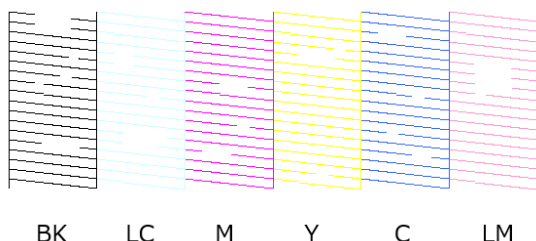
- 4** 以下を参考に、印刷されたチェックパターンを確認します。

目詰まりしていないときの例



チェックパターンが欠けていないときは目詰まりしていません。

目詰まりしているときの例



チェックパターンが欠けているときは目詰まりしています。ヘッドクリーニングが必要です。

[「プリントヘッドのクリーニングの方法」75ページ](#)

プリントヘッドのクリーニングの方法

クリーニングの種類と実施順

クリーニングには、ノズルの目詰まりを検出し、自動的にヘッドクリーニングを行う [診断クリーニング] と、手動でヘッドクリーニングを行う [強制クリーニング] の2種類があります。

最初は、[診断クリーニング] を実施してください。実施後、メイン画面の [プリンター履歴] に「ノズルに目詰まりがあります。[強制クリーニング]を行ってください。」と表示されたときは、再度、[診断クリーニング] を実施します。

[診断クリーニング] を3回繰り返してもノズルの目詰まりが解消されないときは、[強制クリーニング] を [強力] で実施してください。

診断クリーニング

用紙にチェックパターンを印刷してノズルの状態を自動で確認します。プリンターに用紙をセットしておく必要があります。

- 1 用紙カセットに用紙を2枚以上セットします。

[「用紙のセット方法」24ページ](#)

参考

診断クリーニングでは、以下のときに用紙を1枚ずつ使用します。

- 手順3で [実行] をクリックした直後のノズルチェック時
- クリーニングが実行されたときの、クリーニング後のノズルチェック時

- 2 メイン画面のプリンター一覧エリアでクリーニングを実行するプリンターを選択します。

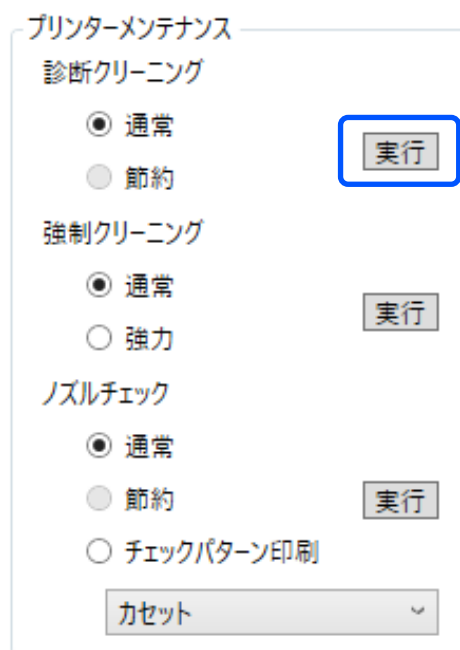
複数のプリンターを選択するときは、[Ctrl] キーを押したまま対象の全てのプリンターを選択します。

メイン画面の詳細は、以下をご覧ください。

[「メイン画面の説明」66ページ](#)

選択するプリンターにエラーが表示されているときは、エラーを解除してからプリンターを選択してください。

- 3 [プリンターメンテナンス] - [診断クリーニング] の [実行] をクリックします。



ノズルのチェックが開始され、必要に応じてクリーニングが実行されます。

ノズルの状態によってクリーニングにかかる時間が変わります。

- 4 [プリンター履歴] に表示されるメッセージで、診断クリーニングの結果を確認します。

「ノズルに目詰まりがあります。[強制クリーニング]を行ってください。」と表示されたときは、再度、[診断クリーニング] を実行します。

「自動ノズルチェックに失敗しました。」と表示されたときは修理窓口へご連絡ください。

[診断クリーニング] を3回繰り返してもノズルの目詰まりが解消されないときは、[強制クリーニング] を [強力] で実行します。

[「強制クリーニング」76ページ](#)

強制クリーニング

- 1 メイン画面のプリンター一覧エリアでクリーニングを実行するプリンターを選択します。

複数のプリンターを選択するときは、【Ctrl】キーを押したまま対象の全てのプリンターを選択します。

メイン画面の詳細は、以下をご覧ください。

[☞ 「メイン画面の説明」 66 ページ](#)

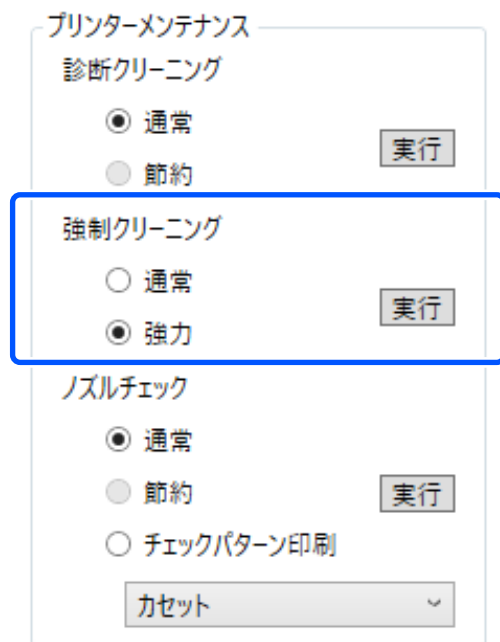
選択するプリンターにエラーが表示されているときは、エラーを解除してからプリンターを選択してください。

- 2 【プリンターメンテナンス】 - 【強制クリーニング】で【通常】か【強力】を選択して、【実行】をクリックします。

【通常】は、プリントヘッドの表面を清掃し、ノズルの目詰まりを解消します。

【強力】は、【通常】よりも強力でクリーニングします。【通常】でクリーニングを数回繰り返してもノズルが目詰まりしているときに使用します。【強力】は【通常】よりもインクを多く消費します。インク残量が少ないことを知らせるメッセージが表示されているときは、インクタンクにインクを補充してから実行してください。

[☞ 「インクの補充」 50 ページ](#)



クリーニングが実行されます。

選択したクリーニングのレベルによってクリーニングにかかる時間が変わります。

クリーニングが終了すると、【プリンター履歴】に実行結果が表示されます。

- 3 強制クリーニングの結果を確認します。

クリーニング結果の確認方法には、以下の2種類があります。

- ノズルチェックを実行して目詰まりを確認する
[☞ 「ノズルチェックの方法」 73 ページ](#)
- ノズルチェックパターンを印刷して目詰まりを確認する
[☞ 「ノズルチェックパターンの印刷方法」 74 ページ](#)

【通常】でクリーニングを実行してもノズルの目詰まりが解消されないときは、再度、【通常】でクリーニングを実行します。数回繰り返してもノズルの目詰まりが解消されないときは、【強力】でクリーニングを実行します。

【強力】でクリーニングを実行してもノズルの目詰まりが解消されないときは、印刷しない状態でプリンターを12時間以上放置してください。時間を置くことによって、目詰まりしているインクが溶解することがあります。

それでも改善されないときは、プリンターの操作パネルからインクチューブリフレッシュを実行してください。

[☞ 「インクチューブリフレッシュ」 64 ページ](#)

ギャップ調整の方法

印刷結果に粒状感が出る時や、ピントがずれたようになるときは、ギャップ調整を行います。ギャップ調整は、印刷時のプリントヘッドのズレを補正する機能です。

- 1 用紙カセットに用紙を2枚セットします。

[☞ 「用紙のセット方法」 24 ページ](#)

- 2 メイン画面で【プリンター設定】をクリックします。

メイン画面の詳細は、以下をご覧ください。

[☞ 「メイン画面の説明」 66 ページ](#)

- 3** プリンター設定画面上部のプリンター一覧エリアでギャップ調整を実行するプリンターを選択して、**【用紙設定】** を選択します。

プリンターの複数選択はできません。
プリンター設定画面の詳細は、以下をご覧ください。

[「プリンター設定画面の説明」 68 ページ](#)

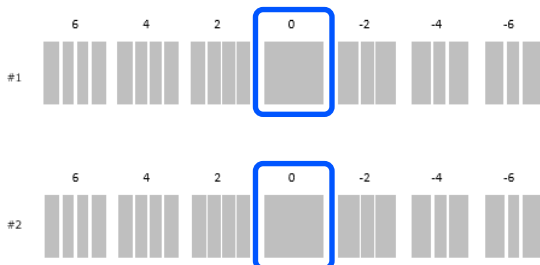
- 4** **【ギャップ調整】** の **【印刷】** をクリックします。



調整パターンが 2 枚印刷されます。#1 と #2 の 2 グループの調整パターンが別の用紙に印刷されます。

- 5** 印刷された調整パターンを確認します。

各グループ内で最もノズル間の隙間がない印字パターンの番号を確認します。



- 6** 確認した印字パターンの番号を選択して、**【設定】** をクリックします。

【#1】、【#2】それぞれに確認した印字パターンの番号を選択します。



調整値が適用されます。

紙送り調整の方法

印刷結果にスジやムラが発生したときに、プリントヘッドのクリーニングを実行しても改善しないときに実行します。

- 1** 用紙カセットに用紙をセットします。

[「用紙のセット方法」 24 ページ](#)

- 2** メイン画面で **【プリンター設定】** をクリックします。

メイン画面の詳細は、以下をご覧ください。

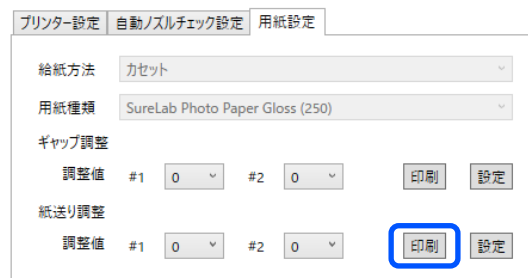
[「メイン画面の説明」 66 ページ](#)

- 3** プリンター設定画面上部のプリンター一覧エリアで紙送り調整を実行するプリンターを選択して、**【用紙設定】** を選択します。

プリンターの複数選択はできません。
プリンター設定画面の詳細は、以下をご覧ください。

[「プリンター設定画面の説明」 68 ページ](#)

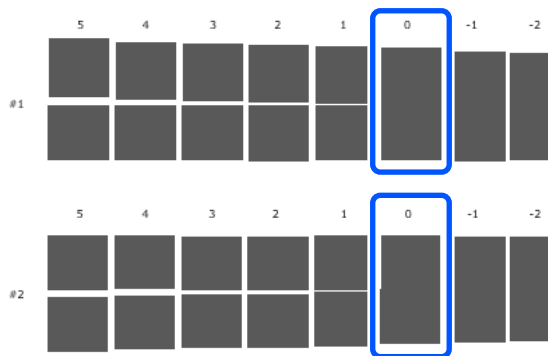
- 4** **【紙送り調整】** の **【印刷】** をクリックします。



調整パターンが印刷されます。

5 印刷された調整パターンを確認します。

#1 と #2 の 2 グループの調整パターンが印刷されます。各グループ内で最も重なりやずれがない印字パターンの番号を確認します。



全ての調整パターンに重なりやずれがあり 1 つに絞り込めないときは、できるだけ重なりやずれがないパターンを選びます。

6 確認した印字パターンの番号を選択して、【設定】をクリックします。

【#1】、【#2】それぞれに確認した印字パターンの番号を選択します。



調整値が適用されます。

メンテナンスツールの使い方 (Mac OS)

本機に接続したコンピューターから起動するメンテナンスツールの使用方法を説明します。

メンテナンスツールの概要

コンピューターから、プリンターの状態の確認、設定、ヘッドクリーニングなどの調整/保守作業を行うことができます。

起動と終了

起動する


- 1 アップルメニュー - [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ] の順にクリックします。
- 2 プリンターを選択して、[オプションとサプライ] - [ユーティリティ] - [プリンタユーティリティを開く] の順にクリックします。



参考

1 台のコンピューターに複数のプリンターを接続しているときは、メンテナンスツール起動後に操作対象のプリンターを変更できません。

終了する

画面左上の  をクリックします。

メイン画面の説明

メンテナンスツールを起動すると、以下のメイン画面が表示されます。
メイン画面の構成と機能は以下の通りです。

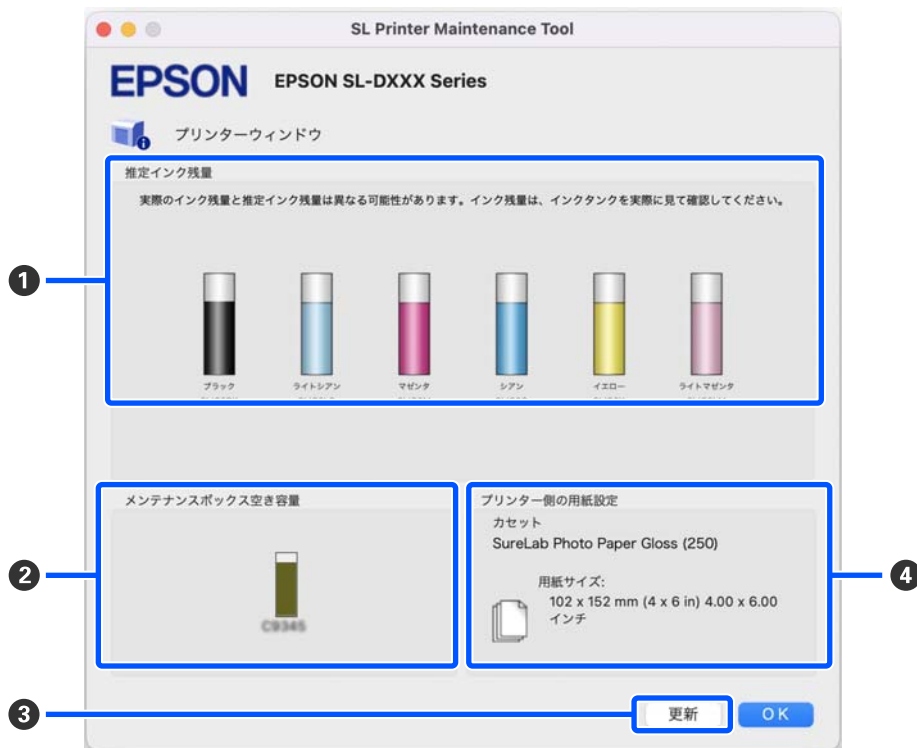


	項目	機能
①	プリンター名	プリンター名称を表示します。
②	状態表示エリア	プリンターの状態を表示します。[更新] をクリックすると、状態の情報を更新します。

	項目	機能
③	メニュー一覧	アイコンをクリックすると、プリンター名 (①) に表示したプリンターに対して、以下の機能を実行します。
	プリンターウィンドウ	インク残量やメンテナンスボックスの空き容量、プリンターにセットされている用紙情報を表示します。 🔗 「プリンターウィンドウ画面の説明」 82 ページ
	ノズルチェック	ノズルの目詰まりを確認します。 ノズルチェックパターンを印刷することもできます。 🔗 「ノズルチェックの方法」 86 ページ 🔗 「ノズルチェックパターンの印刷方法」 87 ページ
	診断クリーニング	ノズルの目詰まりを検出し、自動でクリーニングを実行します。 🔗 「診断クリーニング」 88 ページ
	強制クリーニング	手動でクリーニングを実行します。 🔗 「強制クリーニング」 88 ページ
	ギャップ調整	印刷時のプリントヘッドのズレを補正したり、用紙送り量を補正したりします。 🔗 「ギャップ調整の方法」 89 ページ 🔗 「紙送り調整の方法」 90 ページ
	動作状態設定	プリンターの各種動作を設定します。 🔗 「動作状態設定画面の説明」 83 ページ
	自動ノズルチェック設定	自動ノズルチェックの詳細を設定します。 🔗 「自動ノズルチェック設定画面の説明」 84 ページ
	ステータスシート保存	プリンターのステータスシートを PDF ファイルで保存します。 ファイル名と保存先は保存時に変更できます。
④	SL Paper Type Additional Tool	プリンターやプリンタードライバーに用紙種類を追加するツールを起動します。 🔗 「ペーパー定義ファイルを使った用紙情報の追加」 92 ページ
④	プリンターリストボタン	コンピューターに複数のプリンターを登録しているときに限り有効になります。クリックすると、作業可能なプリンターの一覧がメイン画面の横に表示されます。一覧からプリンターを選択すると操作対象のプリンターを変更できます。ボタンを再度クリックすると、プリンターの一覧が閉じます。

プリンターウィンドウ画面の説明

メイン画面で [プリンターウィンドウ] をクリックすると、以下のプリンターウィンドウ画面が表示されます。プリンターウィンドウ画面の構成と機能は以下の通りです。



	項目	機能
①	インク残量	各色のインク残量を表示します。インクの色ごとに以下の通り表示します。 アイコン表示なし: インク残量は問題ありません。 ⚠️: インクが残り少ないため、インクタンクにインクを補充することをお勧めします。 ❗️: インク残量が限界値以下のため、インクタンクにインクを補充してください。
②	メンテナンスボックス空き容量	メンテナンスボックスの空き容量を以下の通り表示します。 アイコン表示なし: メンテナンスボックスの空き容量は問題ありません。 ⚠️: メンテナンスボックスの空き容量が残り少ないため、新しいメンテナンスボックスの準備が必要です。 ❗️: メンテナンスボックスの空き容量が限界値以下のため、新しいメンテナンスボックスと交換してください。
③	更新ボタン	クリックすると、プリンターの状態を取得して、①、②、④の情報を更新します。
④	プリンター側の用紙設定	プリンターに現在セットされている用紙の情報を表示します。

動作状態設定画面の説明

メイン画面で [動作状態設定] をクリックすると、以下の動作状態設定画面が表示されます。
動作状態設定画面の構成と機能は以下の通りです。

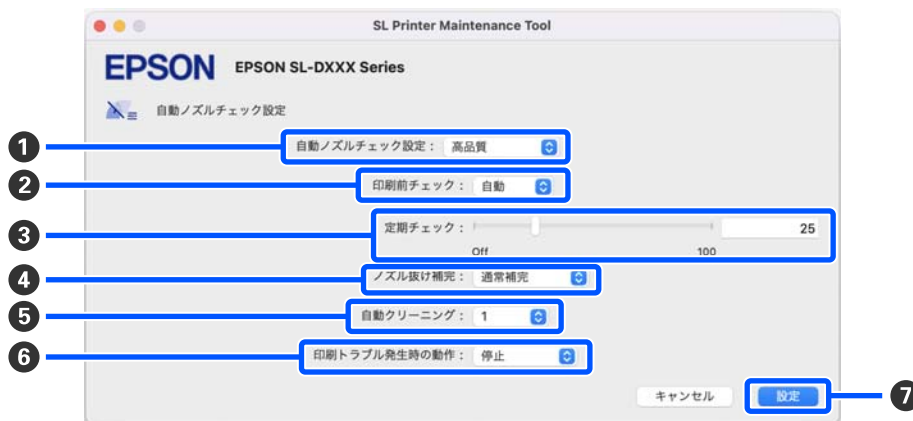


	項目	機能
①	エラー音	警告ブザーを鳴らすかどうかと、ブザーを鳴らすときは音量を設定します。
②	スリープモード移行時間	スリープモードに移行するまでの時間を設定します。 プリンターにエラーが発生していない状態で、印刷ジョブが受信されない状態が続いたとき、自動的にスリープモードに移行します。
③	設定ボタン	クリックすると、①～②の各項目の変更が反映されます。

自動ノズルチェック設定画面の説明

メイン画面で [自動ノズルチェック設定] をクリックすると、以下の自動ノズルチェック設定画面が表示されます。設定したタイミングでノズルの状態を確認して、ノズルが目詰まりしているときに自動でノズルのクリーニングを行う自動ノズルチェックの詳細を設定します。

自動ノズルチェック設定画面の構成と機能は以下の通りです。



	項目	機能
①	自動ノズルチェック設定	<p>どのような条件で自動ノズルチェックを実行するかを設定します。以下のいずれかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 高品質 印刷前に自動ノズルチェックを実行したり、印刷中にノズルの目詰まりを検出したときに印刷を停止したりできるため、高い印刷品質での印刷を継続できます。 ②～⑥の全ての項目を設定できます。 • 通常 [高品質] に設定したときより少ない頻度で自動ノズルチェックを実行します。 [印刷前チェック] (②) と [印刷トラブル発生時の動作] (⑥) が無効になります。また、[定期チェック] (③) の実行枚数は [高品質] 設定時より多い枚数を設定できます。 • Off 自動ノズルチェックを実行しません。印刷したチェックパターンを目で見てノズルの状態を確認したいときなどに選択します。 • 出荷時設定 自動ノズルチェック設定画面の全設定 (①～⑥) をメーカー設定値に戻します。
②	印刷前チェック	<p>[自動ノズルチェック設定] (①) で [高品質] を選択したときに設定できます。印刷前に自動ノズルチェックを実行するかどうかを設定します。 [自動] に設定すると、自動ノズルチェックの設定変更後やノズルのクリーニング実行後などプリンターの状態に応じて自動ノズルチェックを実行します。 [毎回] に設定すると、印刷ジョブごとに自動ノズルチェックを実行します。</p>
③	定期チェック	<p>自動ノズルチェックを実行するタイミングを印刷枚数で設定します。 1つの印刷ジョブの印刷枚数が本項目で設定した印刷枚数を超えるときに、設定した枚数を印刷後に自動ノズルチェックを実行します。</p>
④	ノズル抜け補完	<p>ノズルが目詰まりして吐出されなかったインクの不足を正常なノズルで補いながら印刷するときの印刷品質を設定します。</p>
⑤	自動クリーニング	<p>ノズルの目詰まりを検出したときの自動クリーニングの回数を設定します。</p>
⑥	印刷トラブル発生時の動作	<p>[自動ノズルチェック設定] (①) で [高品質] を選択したときに設定できます。ノズルの目詰まりを検出したときに、印刷を停止するかどうかを設定します。 [停止] に設定すると、ノズルの目詰まりを検出したときに印刷を停止します。 [印刷継続] に設定すると、ノズルの目詰まりを検出しても印刷を続けます。</p>

メンテナンスツールの使い方 (Mac OS)

	項目	機能
⑦	設定ボタン	クリックすると、①～⑥の各項目の変更が反映されます。

プリンターのメンテナンス

印刷結果にスジが入ったりかすれたり、通常の色味と異なる色味で印刷されたりなど、印刷結果に問題があるときは、プリントヘッドのメンテナンスが必要です。

メンテナンスの種類

メンテナンスツールには、プリントヘッドを良好な状態に保ち最良の印刷結果を得るために、以下のようなメンテナンス機能があります。

印刷結果や状況に応じて、該当するメンテナンスを実行してください。

自動ノズルチェック

設定を有効にすることで、設定したタイミングでノズルの状態を確認して、ノズルが目詰まりしているときに自動でノズルのクリーニングを行ったり、目詰まりしているノズルを正常なノズルで補完して印刷したりする機能です。

ただし、プリンターの操作パネルの用紙種類にハガキを設定したときは、自動ノズルチェックの設定が有効になっていても、自動ノズルチェックは行われません。

自動ノズルチェックは、ノズルチェックの実行条件やノズルチェックのタイミングなどを変更できます。また、自動ノズルチェックを行わないときは、設定を無効にします。

[「自動ノズルチェック設定画面の説明」 84 ページ](#)

！重要

ノズルの状態を確認するときに、セットした用紙にチェックパターンを印刷してノズルの状態を自動で確認するため、チェック時に用紙を 1 枚使用します。また、チェックパターンを印刷した用紙が、印刷結果に混ざる可能性があります。

手動ノズルチェック

自動ノズルチェックを無効にしているときや本機をしばらく使わなかったとき、または大切な印刷物を印刷する前などに、ノズルチェックを実行してノズルの状態を確認します。プリンターが自動でノズルの目詰まりを検出します。チェック結果に応じて、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。

[「ノズルチェックの方法」 86 ページ](#)

ノズルチェックパターンの印刷

印刷したノズルチェックパターンを目で見てノズルの状態を確認したいときや、プリントヘッドのクリーニング後にノズルの目詰まりが解消されたかを確認したいときにノズルチェックパターンを印刷します。

[「ノズルチェックパターンの印刷方法」 87 ページ](#)

プリントヘッドのクリーニング

ノズルチェックパターンが欠けているときや、印刷結果にスジが入ったりかすれたり、通常の色味と異なる色味で印刷されたりするときに行います。ノズルの目詰まりを解消する機能です。

ノズルの目詰まりを検出し、自動的にヘッドクリーニングを行う [診断クリーニング] と、手動でヘッドクリーニングを行う [強制クリーニング] の 2 種類があります。

[「プリントヘッドのクリーニングの方法」 88 ページ](#)

ギャップ調整

印刷結果に粒状感が出るときや、ピントがずれたようになるときは、ギャップ調整を行います。ギャップ調整は、印刷時のプリントヘッドのズレを補正する機能です。

[「ギャップ調整の方法」 89 ページ](#)

紙送り調整

印刷結果にスジやムラが発生したときに、プリントヘッドのクリーニングを実行しても改善しないときに実行します。

[「紙送り調整の方法」 90 ページ](#)

ノズルチェックの方法

用紙にチェックパターンを印刷してノズルの状態を自動で確認します。プリンターに用紙をセットしておく必要があります。

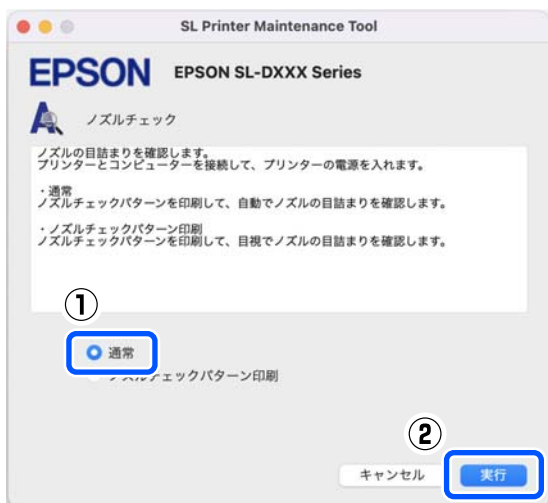
1 用紙カセットに用紙をセットします。

[「用紙のセット方法」 24 ページ](#)

2 メイン画面で [ノズルチェック] をクリックします。

[ノズルチェック] 画面が表示されます。

- 3 [通常] を選択して、[実行] をクリックします。



ノズルチェックが実行されます。

- 4 画面に表示されるメッセージで、ノズルチェックの結果を確認します。

「ノズルの目詰まりは検出されませんでした。」と表示されたときは、作業終了です。

「ノズルの目詰まりが検出されました。」と表示されたときは、[診断クリーニング] を実行します。

[☞ 「診断クリーニング」 88 ページ](#)

ノズルの状態を印刷して確認したいときは、[チェックパターン印刷] を実行します。

[☞ 「ノズルチェックパターンの印刷方法」 87 ページ](#)

ノズルチェックパターンの印刷方法

- 1 用紙カセットに用紙をセットします。

[☞ 「用紙のセット方法」 24 ページ](#)

- 2 メイン画面で [ノズルチェック] をクリックします。

[ノズルチェック] 画面が表示されます。

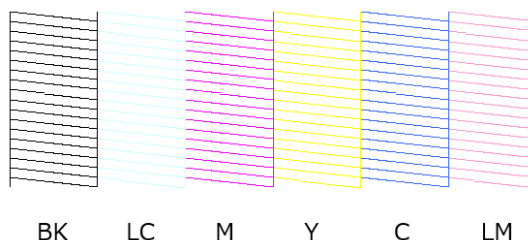
- 3 [ノズルチェックパターン印刷] を選択して、[実行] をクリックします。



チェックパターンが印刷されます。

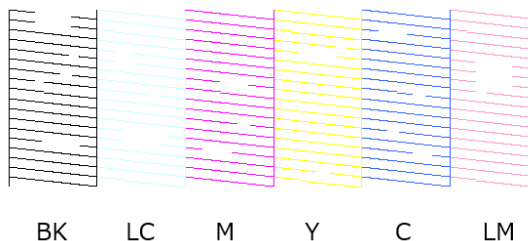
- 4 以下を参考に、印刷されたチェックパターンを確認します。

目詰まりしていないときの例



チェックパターンが欠けていないときは目詰まりしていません。

目詰まりしているときの例



チェックパターンが欠けているときは目詰まりしています。ヘッドクリーニングが必要です。

[☞ 「プリントヘッドのクリーニングの方法」 88 ページ](#)

プリントヘッドのクリーニングの方法

クリーニングの種類と実施順

クリーニングには、ノズルの目詰まりを検出し、自動的にヘッドクリーニングを行う【診断クリーニング】と、手でヘッドクリーニングを行う【強制クリーニング】の2種類があります。

最初は、【診断クリーニング】を実施してください。実施後、画面に「診断クリーニングが終了しました。ノズルに目詰まりがあります。再度診断クリーニングを実行してください。」と表示されたときは、再度、【診断クリーニング】を実施します。

【診断クリーニング】を3回繰り返してもノズルの目詰まりが解消されないときは、【強制クリーニング】を【強力】で実施してください。

診断クリーニング

用紙にチェックパターンを印刷してノズルの状態を自動で確認します。プリンターに用紙をセットしておく必要があります。

1 用紙カセットに用紙を2枚以上セットします。

 [「用紙のセット方法」24ページ](#)

参考

診断クリーニングでは、以下のときに用紙を1枚ずつ使用します。

- 手順3で【実行】をクリックした直後のノズルチェック時
- クリーニングが実行されたときの、クリーニング後のノズルチェック時

2 メイン画面で【診断クリーニング】をクリックします。

【診断クリーニング】画面が表示されます。

3 【実行】をクリックします。



ノズルのチェックが開始され、必要に応じてクリーニングが実行されます。

ノズルの状態によってクリーニングにかかる時間が変わります。

4 画面に表示されるメッセージで、診断クリーニングの結果を確認します。

「診断クリーニングが正常に終了しました。」と表示されたときは作業終了です。

「診断クリーニングが終了しました。ノズルに目詰まりがあります。再度診断クリーニングを実行してください。」と表示されたときは、再度、【診断クリーニング】を実行します。

【診断クリーニング】を3回繰り返してもノズルの目詰まりが解消されないときは、【強制クリーニング】を【強力】で実行します。

 [「強制クリーニング」88ページ](#)

強制クリーニング

1 メイン画面で【強制クリーニング】をクリックします。

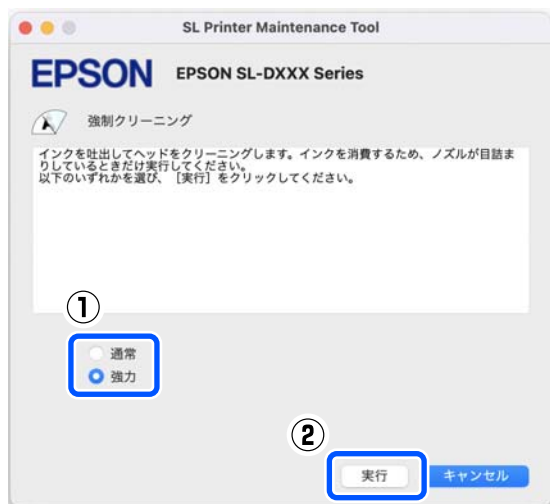
【強制クリーニング】画面が表示されます。

2 【通常】か【強力】を選択して、【実行】をクリックします。

【通常】は、プリントヘッドの表面を清掃し、ノズルの目詰まりを解消します。

〔強力〕は、〔通常〕よりも強力でクリーニングします。〔通常〕でクリーニングを数回繰り返してもノズルが目詰まりしているときに使用します。〔強力〕は〔通常〕よりもインクを多く消費します。インク残量が少ないことを知らせるメッセージが表示されているときは、インクタンクにインクを補充してから実行してください。

[「インクの補充」 50 ページ](#)



クリーニングが実行されます。
 選択したクリーニングのレベルによってクリーニングにかかる時間が変わります。
 キーリングが終了すると、画面にメッセージが表示されます。

3 強制クリーニングの結果を確認します。

クリーニング結果の確認方法には、以下の2種類があります。

- ノズルチェックを実行して目詰まりを確認する
[「ノズルチェックの方法」 86 ページ](#)
- ノズルチェックパターンを印刷して目詰まりを確認する
[「ノズルチェックパターンの印刷方法」 87 ページ](#)

〔通常〕でクリーニングを実行してもノズルの目詰まりが解消されないときは、再度、〔通常〕でクリーニングを実行します。数回繰り返してもノズルの目詰まりが解消されないときは、〔強力〕でクリーニングを実行します。

〔強力〕でクリーニングを実行してもノズルの目詰まりが解消されないときは、印刷しない状態でプリンターを12時間以上放置してください。時間を置くことによって、目詰まりしているインクが溶解することがあります。

それでも改善されないときは、プリンターの操作パネルからインクチューブリフレッシュを実行してください。

[「インクチューブリフレッシュ」 64 ページ](#)

ギャップ調整の方法

印刷結果に粒状感が出るときや、ピントがずれたようになるときは、ギャップ調整を行います。ギャップ調整は、印刷時のプリントヘッドのズレを補正する機能です。ギャップ調整実行後に、続けて紙送り調整を実行できます。

1 用紙カセットに用紙を2枚セットします。

[「用紙のセット方法」 24 ページ](#)

2 メイン画面で〔ギャップ調整〕をクリックします。

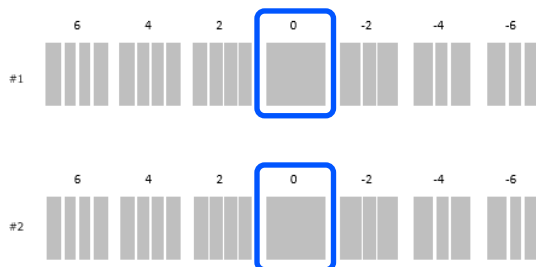
〔ギャップ調整〕画面が表示されます。

3 〔印刷〕をクリックします。

調整パターンが2枚印刷されます。#1と#2の2グループの調整パターンが別の用紙に印刷されます。

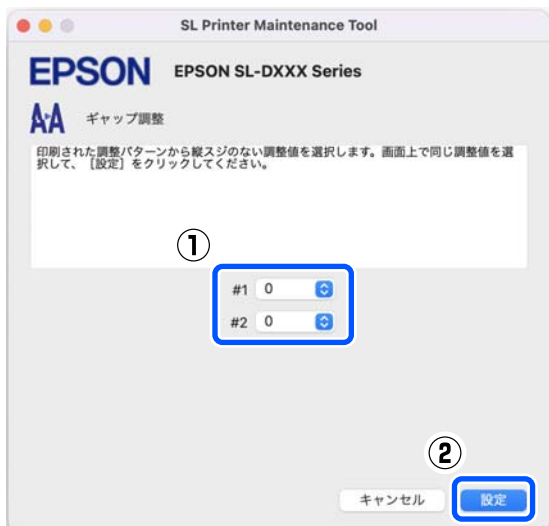
4 印刷された調整パターンを確認します。

各グループ内で最もノズル間の隙間がない印字パターンの番号を確認します。



5 確認した印字パターンの番号を選択して、**【設定】** をクリックします。

[#1]、[#2] それぞれに確認した印字パターンの番号を選択します。



調整値が適用されます。

続けて紙送り調整を行うときは、「紙送り調整の方法」の手順 4 に進みます。

[「紙送り調整の方法」 90 ページ](#)

紙送り調整の方法

印刷結果にスジやムラが発生したときに、プリントヘッドのクリーニングを実行しても改善しないときに実行します。

1 用紙カセットに用紙をセットします。

[「用紙のセット方法」 24 ページ](#)

2 メイン画面で **【ギャップ調整】** をクリックします。

【ギャップ調整】 画面が表示されます。

3 **【スキップ】** をクリックします。

【スキップ】 をクリックせずにギャップ調整から行うときは、以下をご覧ください。

[「ギャップ調整の方法」 89 ページ](#)

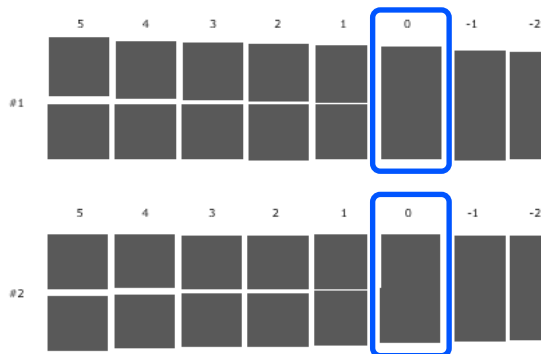


4 **【印刷】** をクリックします。

調整パターンが印刷されます。

5 印刷された調整パターンを確認します。

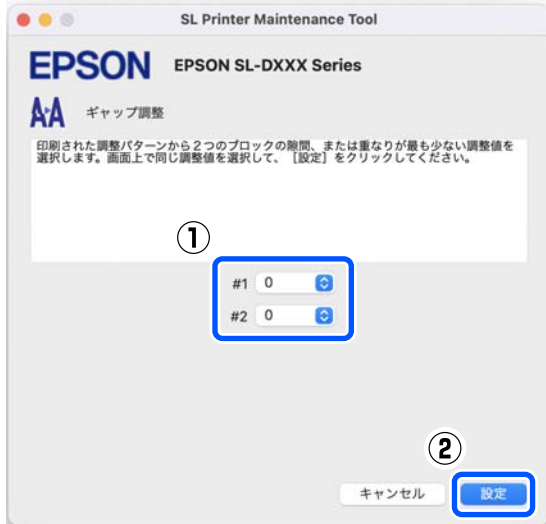
#1 と #2 の 2 グループの調整パターンが印刷されます。各グループ内で最も重なりやずれがない印字パターンの番号を確認します。



全ての調整パターンに重なりやずれがあり 1 つに絞り込めないときは、できるだけ重なりやずれがないパターンを選びます。

6 確認した印字パターンの番号を選択して、【設定】をクリックします。

【#1】、【#2】それぞれに確認した印字パターンの番号を選択します。



調整値が適用されます。

用紙情報の追加

使いたい用紙の用紙情報が操作パネルの画面やプリンタードライバーに表示されないときに、用紙情報を追加できます。追加方法は以下の方法があります。

- 使いたい用紙のペーパー定義ファイルを手に入るとき
[「ペーパー定義ファイルを使った用紙情報の追加」](#)
 92 ページ
- 使いたい用紙のペーパー定義ファイルを手に入れないとき、または、用紙に合わせて調整したインク濃度を登録したいとき (Windows のみ)
[「カスタムメディア設定からの用紙情報の追加 \(Windows のみ\)」](#) 94 ページ

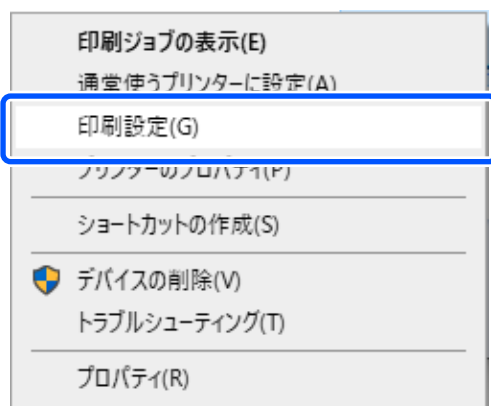
参考

ペーパー定義ファイルの入手方法は、お買い求めの販売店にご確認ください。

ペーパー定義ファイルを使った用紙情報の追加

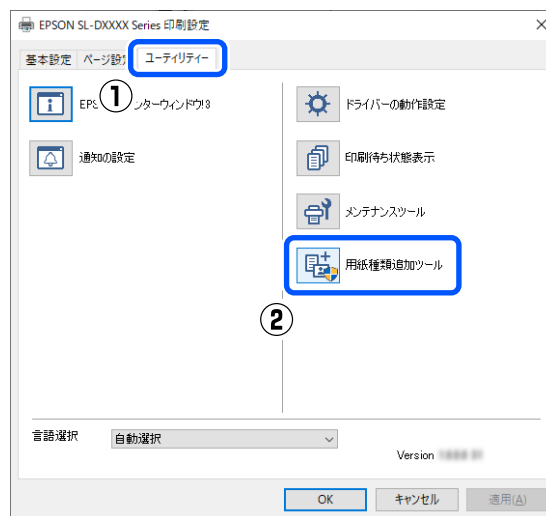
Windows での設定

- 1 コントロールパネルを表示して、[ハードウェアとサウンド] - [デバイスとプリンター] の順にクリックします。
- 2 本機のプリンターアイコンを右クリックして、[印刷設定] を選択します。

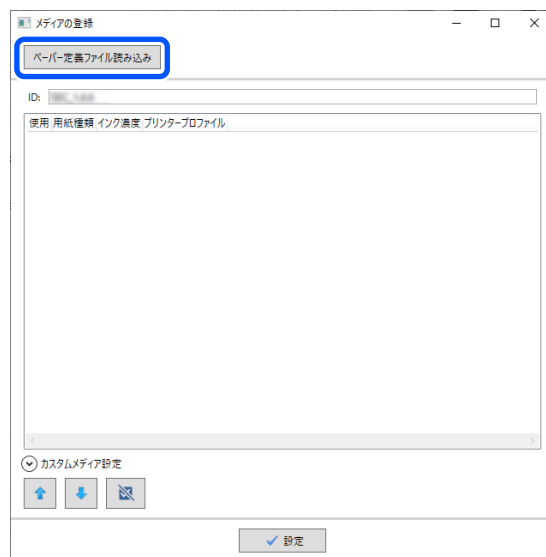


- 3 [ユーティリティ] を選択して、[用紙種類追加ツール] をクリックします。

用紙種類追加ツールが起動します。

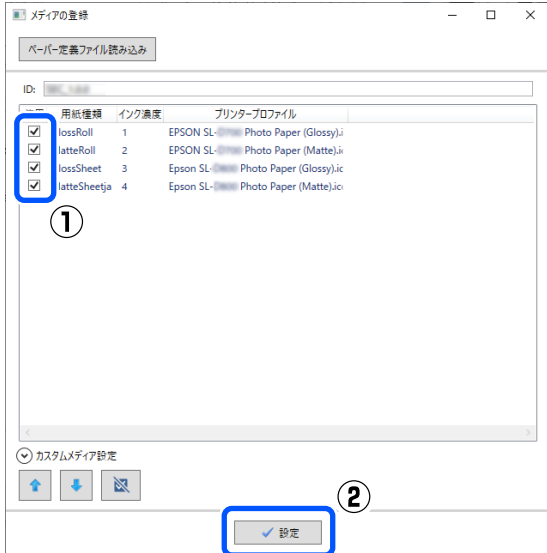


- 4 [ペーパー定義ファイル読み込み] をクリックし、ペーパー定義ファイルを選択して、[開く] をクリックします。



- 5** 使用する用紙にチェックを付けて、[設定] をクリックします。

選択できる用紙の上限は 10 個です。



以降は画面の指示に従ってください。

設定が完了すると、操作パネルの画面やプリンタードライバーの [用紙種類] に用紙情報が表示されます。

Mac OS での設定

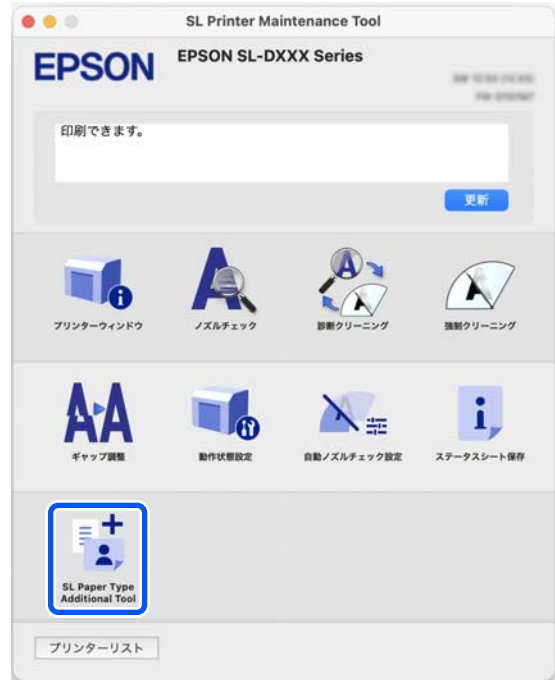
- 1** アップルメニュー - [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ] の順にクリックします。

- 2** プリンターを選択して、[オプションとサブライ] - [ユーティリティ] - [プリンタユーティリティを開く] の順にクリックします。

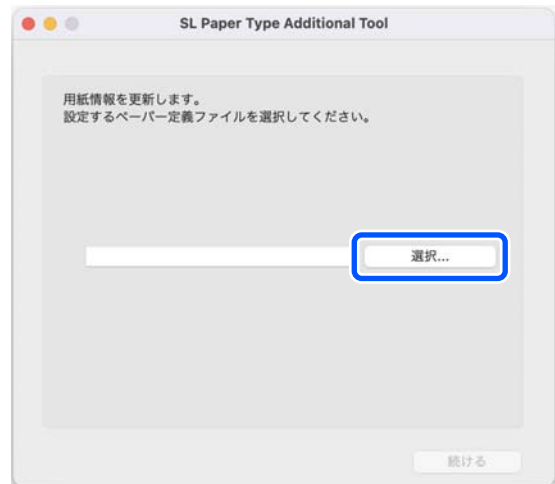
メンテナンスツールが起動します。

- 3** [SL Paper Type Additional Tool] をクリックします。

用紙種類追加ツールが起動します。



- 4** [選択] をクリックし、ペーパー定義ファイルを選択して、[開く] をクリックします。

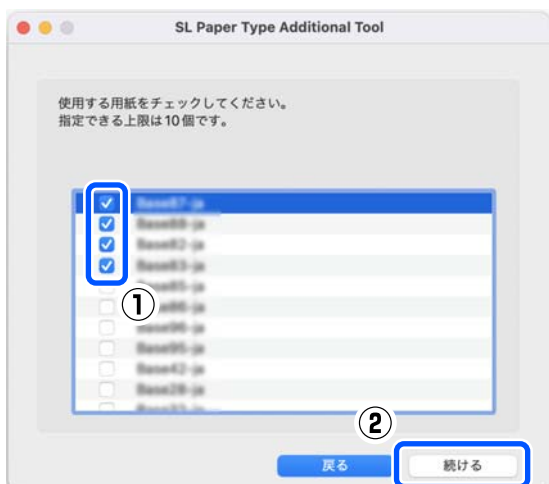


- 5 [続ける] をクリックします。



- 6 使用する用紙にチェックを付けて、[続ける] をクリックします。

選択できる用紙の上限は 10 個です。



以降は画面の指示に従ってください。

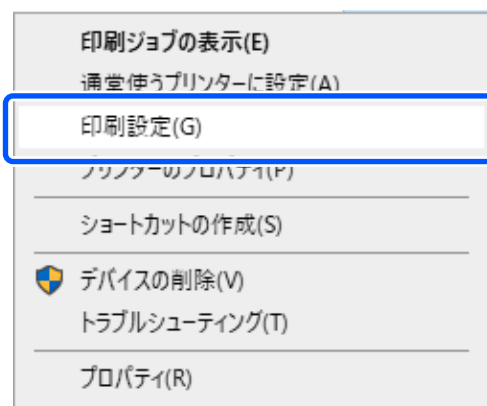
設定が完了すると、操作パネルの画面やプリンタードライバーの [用紙種類] に用紙情報が表示されます。

カスタムメディア設定からの用紙情報の追加 (Windows のみ)

使いたい用紙のペーパー定義ファイルを手に入れないときや、市販用紙を使うときは、設定済みの用紙情報を基準にインク濃度を調整して用紙情報を追加します。

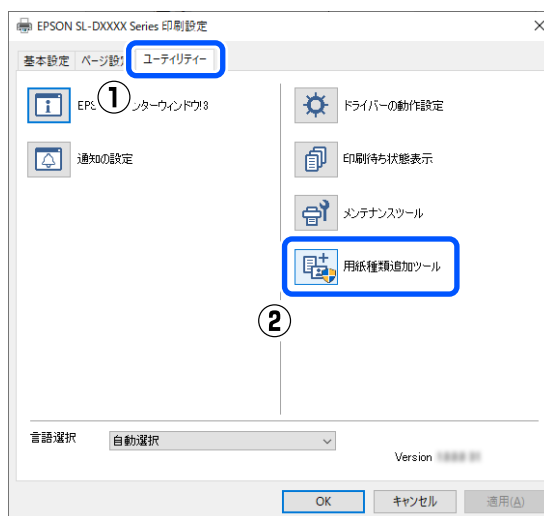
- 1 コントロールパネルを表示して、[ハードウェアとサウンド] - [デバイスとプリンター] の順にクリックします。

- 2 本機のプリンターアイコンを右クリックして、[印刷設定] を選択します。



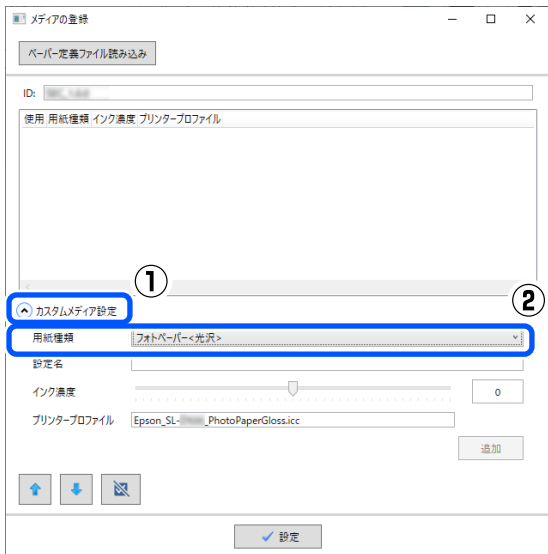
- 3 [ユーティリティ] を選択して、[用紙種類追加ツール] をクリックします。

用紙種類追加ツールが起動します。



4 [カスタムメディア設定] をクリックして、[用紙種類] を選択します。

使用する用紙に最も近い用紙種類を選択します。



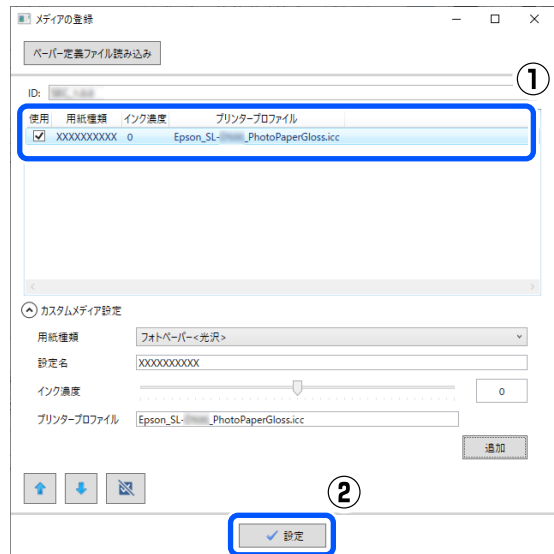
5 [設定名] に名称を入力し、用紙に合わせて [インク濃度] を設定して、[追加] をクリックします。



参考

追加した用紙情報は、[設定名] に入力した名称で操作パネルの画面やプリンタードライバーの [用紙種類] に表示されます。

6 手順 5 で追加した用紙情報にチェックが付いていることを確認して、[設定] をクリックします。



以降は画面の指示に従ってください。

設定が完了すると、操作パネルの画面やプリンタードライバーの [用紙種類] に用紙情報が表示されます。

操作パネルのメニュー

設定メニュー一覧

設定メニューで設定・実行できる項目と各設定値は以下の通りです。各項目の詳細は参照ページをご覧ください。

設定

各項目の詳細 [🔗 「設定メニューの説明」 100 ページ](#)

設定項目	設定値
プリンター状態	
消耗品情報	-
メッセージ一覧	-
ファームウェアバージョン	-
用紙設定	
用紙種類	対応する用紙種類を表示
用紙サイズ	対応する用紙サイズを表示
プリンターのお手入れ	
プリントヘッドのノズルチェック	-
プリントヘッドのクリーニング	-
強力ヘッドクリーニング	-
インクチューブリフレッシュ	-
インク補充	-
インク残量の設定	-
メンテナンスボックス交換	-
給紙ローラーキット交換	-
プリンターの基本設定	

操作パネルのメニュー

設定項目	設定値
給紙装置設定	
エラー通知	
用紙サイズエラー	オン、オフ
用紙種類エラー	オン、オフ
設定画面自動表示	オン、オフ
音の設定	
ミュート	オフ、オン
操作音	オフ、小、中、大
エラー音	オフ、小、中、大
こすれ軽減	しない、する
日付/時刻設定	
日付/時刻	
日付表示形式	年.月.日、月.日.年、日.月.年
時刻表示形式	12h、24h
時差	-12:45～+13:45
言語選択/Language	Arabic、Czech、Danish、Dutch、English、Farsi、Finnish、French、German、Greek、Hindi、Hungarian、Indonesian、Italian、日本語、Korean、Malay、Norwegian、Polish、Portuguese、Romanian、Russian、Simplified Chinese、Spanish、Swedish、Thai、Traditional Chinese、Turkish、Vietnamese
キーボード	QWERTY、ABC
スリープ移行時間設定	数値を設定
コンピューターのUSB接続	有効、無効
長さ単位	m、ft / in

設定項目	設定値
ネットワーク設定	
ステータスシート印刷	-
無線 LAN 設定	
無線 LAN ルーターとつなぐ(推奨)	
無線 LAN ルーターを検索	
その他の SSID...	-
プッシュボタンで設定(AOSS/WPS)	-
その他	
PIN コード自動設定(WPS)	-
カンタン自動設定	-
無線 LAN を無効にする	-
スマートデバイスと直接つなぐ	
別の方法でつなぐ	
iOS デバイスとつなぐ	-
その他スマートデバイスとつなぐ	-
設定変更	
接続名を変更する	-
パスワードを変更する	-
無効設定	-
周波数帯を変更する	2.4GHz、5GHz
購入時の設定に戻す	-
接続診断	-
ネットワーク詳細設定	
デバイス名	-
TCP/IP	自動、手動
DNS サーバー	自動、手動
プロキシサーバー	使用しない、使用する
IPv6 アドレス	有効、無効
Link Speed & Duplex	自動、10BASE-T Half Duplex、10BASE-T Full Duplex、100BASE-TX Half Duplex、100BASE-TX Full Duplex
HTTP を HTTPS にリダイレクト	有効、無効
IPsec/IP フィルタリングの無効化	-
IEEE802.1X の無効化	-

設定項目	設定値
Epson Connect 設定	
プリンターの登録/削除	-
サービス利用の一時停止/再開	-
プリンターの E メールアドレス	-
Epson Connect 情報確認	-
ネットワークステータスシートの印刷	-
印刷ページ数の確認	-
診断レポート	
ネットワーク	-
セキュリティ設定	
管理者設定	
管理者パスワード	
変更	-
購入時の設定に戻す	-
管理者ロック	オフ、オン
パスワード暗号化	オフ、オン
初期設定に戻す	
ネットワーク設定	-
全て初期化	-

無線 LAN 設定

[設定] - [ネットワーク設定] - [無線 LAN 設定] と同じ内容が表示されます。

設定メニューの説明

*はメーカー設定値です。

設定項目	設定値	説明
プリンター状態		
消耗品情報	-	インク残量の見方と、メンテナンスボックスの空き容量と型番が確認できません。 ! マークはメンテナンスボックスの空き容量が少ないことを示します。 × マークはメンテナンスボックスの空き容量がないことを示していますので、メンテナンスボックスの交換が必要です。
メッセージ一覧	-	本機の現在の状態や、未対処のエラーの内容を一覧で表示します。
ファームウェアバージョン	-	本機のファームウェアのバージョンを表示します。
用紙設定		
用紙サイズ	ハガキ	用紙カセットにセットしている用紙のサイズを選択します。目的のサイズが選択肢にないときは、[ユーザー定義サイズ]を選択して用紙の縦方向の長さを入力します。
	89 x 127 mm	
	102 x 152 mm*	
	ユーザー定義サイズ	
用紙種類	Photo Gloss (250)*	用紙カセットにセットしている用紙の種類を選択します。
	Photo Luster (250)	
	Photo Gloss DS (225)	
	Photo Gloss DS (190)	
	Photo Luster DS (225)	
	Photo Luster DS (190)	
	フォトペーパー<光沢>	
	フォトペーパー<マット>	
	ハガキ インクジェット写真	
	ハガキ インクジェット紙	
	ハガキ宛名面	
	ハガキ	
	ペーパー定義ファイルで追加した用紙種類	

操作パネルのメニュー

設定項目	設定値	説明
プリンターのお手入れ		
プリントヘッドのノズルチェック	-	プリントヘッドのノズル（インク吐出孔）が詰まっているかどうかを確認するために、ノズルチェックパターンを印刷します。
プリントヘッドのクリーニング	-	プリントヘッドのノズルをクリーニングして、目詰まりを解消させます。
強力ヘッドクリーニング	-	プリントヘッドのクリーニングでノズルの目詰まりが解消されないときに実行する強力なクリーニングです。
インクチューブリフレッシュ	-	【強力ヘッドクリーニング】実行後に印刷しない状態で本機を 12 時間以上放置してもノズルの目詰まりが解消されないときに実行すると印刷品質が改善することがあります。
インク補充	-	インクを補充する際の注意事項と補充手順を確認できます。
インク残量の設定	-	インクの補充量を各色ごとに設定します。正しい量を設定しないと、インク残量の警告メッセージが適切なタイミングで表示されなくなります。 【インク補充】から引き続き実行することもできます。
メンテナンスボックス交換	-	メンテナンスボックスを交換するときに実行すると、画面に表示される説明を見ながら交換できます。
給紙ローラーキット交換	-	清掃や交換で本機の底面に装着されている給紙ローラーキットを取り外すときに実行します。取り外し方法の詳細は、以下をご覧ください。  「給紙ローラーキットの取り外し」56 ページ
プリンターの基本設定		
給紙装置設定		
エラー通知		【オン】にすると、プリンタードライバーの印刷設定で指定したサイズや用紙種類と給紙した用紙設定が合致しないときにエラーメッセージを表示します。
用紙サイズエラー	オン*	
	オフ	
用紙種類エラー	オン*	
	オフ	
設定画面自動表示	オン*	【オン】にすると、用紙カセットを差し込んだときに【用紙設定】を表示します。この設定を無効にすると、iPhone、iPad、iPod touch から AirPrint を使った印刷ができません。
	オフ	

操作パネルのメニュー

設定項目	設定値	説明
音の設定		本機から鳴る音の大きさを設定します。 [ミュート] を [オン] にすると、全ての音を消音します。
ミュート	オフ*	
	オン	
操作音	オフ	
	小	
	中*	
	大	
エラー音	オフ	
	小	
	中*	
	大	
こすれ軽減	しない*	
	する	
日付/時刻設定		
日付/時刻		日付と時刻表示形式を設定します。 日付を決定すると時刻表示形式を設定できます。
日付表示形式	年.月.日*	
	月.日.年	
	日.月.年	
時刻表示形式	12h	
	24h*	
時差	-12:45~+13:45	協定世界時 (UTC) との時差を設定します。

操作パネルのメニュー

設定項目	設定値	説明
言語選択/Language	Arabic	画面の表記言語を選択します。
	Czech	
	Danish	
	Dutch	
	English	
	Farsi	
	Finnish	
	French	
	German	
	Greek	
	Hindi	
	Hungarian	
	Indonesian	
	Italian	
	日本語*	
	Korean	
	Malay	
	Norwegian	
	Polish	
	Portuguese	
	Romanian	
	Russian	
	Simplified Chinese	
Spanish		
Swedish		
Thai		
Traditional Chinese		
Turkish		
Vietnamese		

操作パネルのメニュー

設定項目	設定値	説明
キーボード	QWERTY*	操作パネルの画面で表示するキーボードの配置を変更します。
	ABC	
スリープ移行時間設定	1~60	本機が動作しない状態が続いたときに、自動でスリープ（省電力）モードに移行する時間を設定します。設定した時間が過ぎると画面が暗くなります。
コンピューターの USB 接続	有効*	[有効] にすると、USB 接続されたコンピューターからのアクセスを許可します。[無効] にすると、ネットワークを経由しない印刷を禁止できます。
	無効	
長さ単位	m*	操作パネルの表示や入力時の長さの単位を設定します。
	ft / in	
ネットワーク設定		
ステータスシート印刷	-	ネットワークステータスシートを印刷します。
無線 LAN 設定		
無線 LAN ルーターとつなぐ(推奨)		無線 LAN ルーター経由で本機をネットワークに接続します。接続方法を選択し、画面の指示に従って設定してください。
無線 LAN ルーターを検索		
その他の SSID...	-	
プッシュボタンで設定(AOSS/WPS)	-	
その他		
PIN コード自動設定(WPS)	-	
カンタン自動設定	-	
無線 LAN を無効にする	-	無線 LAN を無効にするときに選択します。

操作パネルのメニュー

設定項目	設定値	説明			
スマートデバイスと直接つなぐ		無線 LAN で本機とスマートデバイスを直接接続します。 🔗 「スマートデバイスとの接続」109 ページ			
別の方法でつなぐ					
<table border="1"> <tr> <td>iOS デバイスとつなぐ</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>その他スマートデバイスとつなぐ</td> <td>-</td> </tr> </table>	iOS デバイスとつなぐ		-	その他スマートデバイスとつなぐ	-
iOS デバイスとつなぐ	-				
その他スマートデバイスとつなぐ	-				
設定変更		<p>接続名を変更する： プリンターに接続する Wi-Fi Direct (シンプル AP) の接続名 (SSID) を任意の値に変更します。接続名 (SSID) に設定できるのは、操作パネルの画面に表示されたキーボードの文字です。22 文字以内で入力してください。 接続名 (SSID) を変更すると接続しているデバイスは全て切断されます。接続名を変更した場合は、接続する機器から新しい接続名 (SSID) で接続し直してください。</p> <p>パスワードを変更する： プリンターに接続する Wi-Fi Direct (シンプル AP) のパスワードを変更します。パスワードに設定できるのは、操作パネルのソフトキーボードに表示された ASCII 文字です。8~22 文字以内で入力してください。 パスワードを変更すると接続しているデバイスは全て切断されます。パスワードを変更した場合は、接続する機器から新しいパスワードで接続し直してください。</p> <p>無効設定： Wi-Fi Direct (シンプル AP) を無効にします。無効にすると接続しているデバイスは全て切断されます。</p> <p>周波数帯を変更する： プリンターに接続する Wi-Fi Direct (シンプル AP) の周波数帯を変更します。2.4GHz または 5GHz に設定できます。 周波数帯を変更すると接続しているデバイスは全て切断されます。再度接続してください。 周波数帯を 5GHz に設定した場合、5GHz 非対応のデバイスからは再接続できなくなります。</p> <p>購入時の設定に戻す： Wi-Fi Direct (シンプル AP) 設定の全てを購入時の設定に戻します。 また、本機が保持しているスマートデバイスの Wi-Fi Direct 機能を使った接続情報の登録を削除します。</p>			
接続名を変更する	-				
パスワードを変更する	-				
無効設定	-				
周波数帯を変更する	2.4GHz* 5GHz				
購入時の設定に戻す	-				
接続診断	-	本機のネットワーク接続状況を確認して、ネットワーク接続診断レポートを印刷します。接続に問題があるときは診断結果に従って対処してください。			

操作パネルのメニュー

設定項目	設定値	説明
ネットワーク詳細設定		ネットワークに関する各項目の設定をします。
デバイス名	-	
TCP/IP	自動	
	手動	
DNS サーバー	自動	
	手動	
プロキシサーバー	使用しない	
	使用する	
IPv6 アドレス	有効*	
	無効	
Link Speed & Duplex	自動*	
	10BASE-T Half Duplex	
	10BASE-T Full Duplex	
	100BASE-TX Half Duplex	
	100BASE-TX Full Duplex	
HTTP を HTTPS にリダイレクト	有効*	
	無効	
IPsec/IP フィルタリングの無効化	-	有効化の設定は、内蔵ソフトウェアの Web Config で行います。ここでは無効化に切り替えることだけができます。Web Config の起動方法は以下をご覧ください。 🔗 「Web Config の使い方」 21 ページ
IEEE802.1X の無効化	-	
Epson Connect 設定		
プリンターの登録/削除	-	Epson Connect に本機を登録、または登録済みの本機を削除します。Epson Connect サービス利用の詳細は、以下のポータルサイトをご覧ください。 https://www.epsonconnect.com/
サービス利用の一時停止/再開	-	Epson Connect サービスの利用を一時停止するか、または停止していたサービスを再開するかを設定します。
プリンターの E メールアドレス	-	Epson Connect に登録された本機のメールアドレスを確認します。
Epson Connect 情報確認	-	Epson Connect に本機が登録や接続されているかを確認します。
ネットワークステータスシートの印刷	-	ネットワークステータスシートを印刷します。
印刷ページ数の確認	-	本機を使い始めてから現在までの総印刷ページ数を表示します。
診断レポート		本機のネットワーク接続状況を確認して、ネットワーク接続診断レポートを印刷します。接続に問題があるときは診断結果に従って対処してください。
ネットワーク	-	

操作パネルのメニュー

設定項目	設定値	説明
セキュリティ設定		
管理者設定		
管理者パスワード		管理者パスワードの設定や変更、初期化をします。 本機は工場出荷時に機体ごとに異なる初期パスワードが設定されています。使用開始後は初期パスワードのまま使用し続けず、任意のパスワードに変更することをお勧めします。 パスワードは忘れないように管理してください。 設定したパスワードを忘れたときは、エプソンソリューションコールセンターにご相談ください。☎ 「お問い合わせ先」148 ページ
変更	-	
購入時の設定に戻す	-	
管理者ロック	オフ*	操作パネルの設定を変更できないように「管理者パスワード」でロックします。ロックされる設定内容は『システム管理者ガイド』をご覧ください。
	オン	
パスワード暗号化	オフ*	パスワードを暗号化するには「オン」を選択して、本機を再起動します。再起動中に電源を切るとパスワードのデータが破損して本機の設定が初期化されるおそれがあります。その場合はパスワード情報を再設定してください。
	オン	
初期設定に戻す		
ネットワーク設定	-	ネットワークに関する設定を購入時の状態に戻します。
全て初期化	-	全ての設定を購入時の状態に戻します。

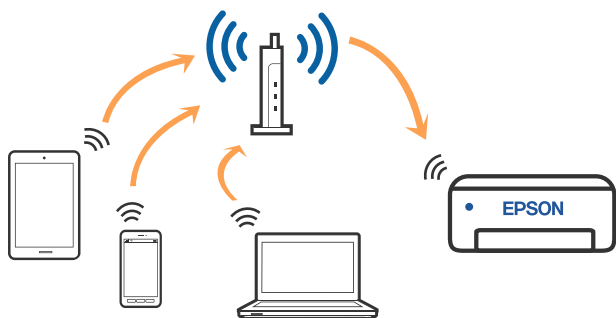
無線 LAN の接続

無線 LAN 接続の種類

本製品は以下の接続方法に対応しています。

無線 LAN (Wi-Fi) 接続

プリンターをコンピューターまたはスマートデバイスに無線 LAN ルーター (アクセスポイント) 経由で接続します。スマートデバイスやコンピューターを無線 LAN (Wi-Fi) で利用している、無線 LAN ルーター (アクセスポイント) がある場合の接続方法です。

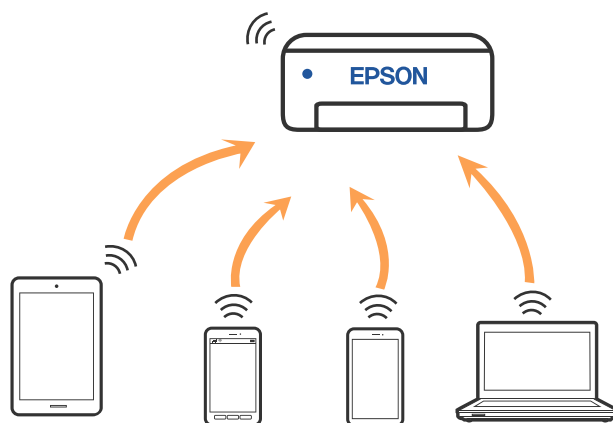


関連情報

- 🔗 「コンピューターとの接続」 108 ページ
- 🔗 「無線 LAN ルーター経由でスマートデバイスに接続」 109 ページ
- 🔗 「プリンターのネットワーク設定」 111 ページ

Wi-Fi Direct (シンプル AP) 接続

無線 LAN (Wi-Fi) を利用していない、無線 LAN ルーター (アクセスポイント) がない場合や、プリンターとコンピューターやスマートデバイスを直接接続したい場合の接続方法です。この接続方法はプリンターが無線 LAN ルーター (アクセスポイント) として動作し、複数台の機器と接続できます。ただし、プリンターに直接接続された機器の間では、プリンター経由での通信はできません。



プリンターは無線 LAN (Wi-Fi) と Wi-Fi Direct (シンプル AP) の同時接続ができます。ただし、無線 LAN (Wi-Fi) で接続中に Wi-Fi Direct (シンプル AP) 設定を開始すると、無線 LAN (Wi-Fi) 接続は一時切断されます。

関連情報

- 🔗 「iPhone、iPad、iPod touch で Wi-Fi Direct 接続する」 109 ページ
- 🔗 「iOS 以外のデバイスと Wi-Fi Direct 接続する」 110 ページ

コンピューターとの接続

プリンターとコンピューターを接続設定するにはインストーラーを使うと便利です。インストーラーは以下のいずれかの方法で起動できます。

- ウェブサイトから
以下のウェブサイトアクセスして、製品名を入力します。[セットアップ] に進んで作業を開始します。
<https://epson.sn>
- ソフトウェアディスクから (製品にソフトウェアディスクが同梱されていて、それを使用できる場合)
ソフトウェアディスクをコンピューターにセットして、画面の指示に従って操作します。

接続方法を選択する

インストーラーの画面の指示に従って操作して、以下の画面が表示されたらコンピューターとプリンターの接続方法を選択します。

接続方法を選択して、[次へ] をクリックします。



この後は、画面の指示に従って操作します。

スマートデバイスとの接続

無線 LAN ルーター経由でスマートデバイスに接続

iOS、Android をお使いの方は Epson Smart Panel から設定すると便利です。最新版の Epson Smart Panel をインストールし、起動してください。Wi-Fi のセットアップが始まります。

iPhone、iPad、iPod touch で Wi-Fi Direct 接続する

無線 LAN ルーター（アクセスポイント）を介さず、直接プリンターと iPhone、iPad、iPod touch を接続する方法です。この接続をする場合は、以下の条件が必要です。条件に合致しない場合は、[その他スマートデバイスとつなぐ] から接続してください。詳しくは「関連情報」をご覧ください。

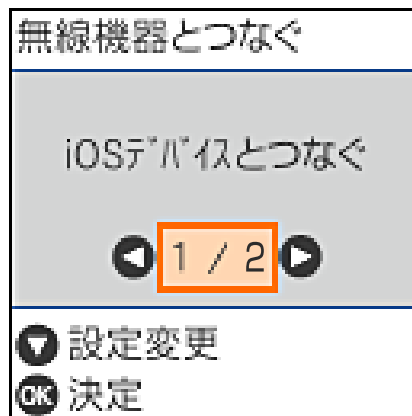
- iOS11 以降
- QR コード読み取り時に標準カメラアプリを使用

スマートデバイスからは Epson Smart Panel などを使って印刷します。あらかじめ、スマートデバイスに Epson Smart Panel などエプソンの印刷用アプリをインストールしてください。

参考

- iOS をお使いの方は Epson Smart Panel から設定すると便利です。
- 以下の作業はプリンターと接続したいデバイスで、1 回だけ設定してください。Wi-Fi Direct を無効にしたり、ネットワーク設定を初期の状態に戻したりしない限り、設定を直す必要はありません。

- 1 本機のホーム画面から【▲】 / 【▼】 / 【◀】 / 【▶】 ボタンで【無線 LAN 設定】 - 【スマートデバイスと直接つなぐ】を選択します。
- 2 メッセージを確認し、【OK】 ボタンを押して次の画面に進みます。
- 3 メッセージを確認し、【OK】 ボタンを押して次の画面に進みます。
- 4 【◀】 / 【▶】 ボタンで【iOS デバイスとつなぐ】を選択して、【OK】 ボタンを押します。

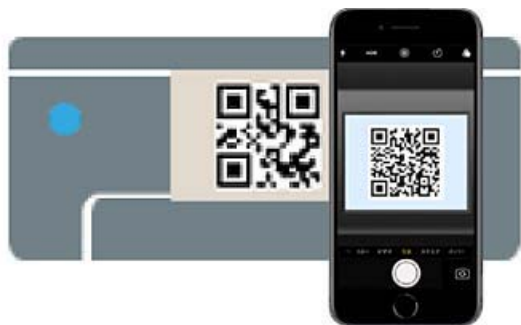


- 5 メッセージを確認し、【OK】ボタンを押して次の画面に進みます。

本機の画面に QR コードが表示されます。



- 6 iPhone、iPad、iPod touch の標準カメラアプリを開き、本機の画面の QR コードを写真モードで読み取ります。



iOS11 以降の標準カメラアプリを使ってください。iOS10 以前の標準カメラアプリでは、本機の接続はできません。コード読み取り用のアプリを使っても、本機の接続はできません。接続できない場合は、【◀】ボタンを押してください。詳しくは「関連情報」をご覧ください。

- 7 iPhone、iPad、iPod touch の画面に表示される“DIRECT- XXXXX Series”のネットワーク接続の通知をタップします。

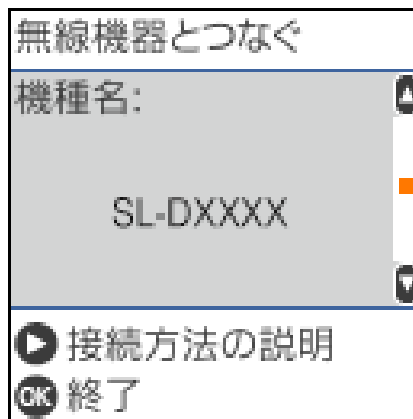
XXXXX には型番が表示されます。

- 8 メッセージを確認し、【接続】をタップします。

- 9 本機の【OK】ボタンを押します。

- 10 お使いの印刷用アプリを開いて本機を選択します。

本機の画面に表示されている情報を参考に本機を選択してください。



- 11 本機の【OK】ボタンを押します。

一度接続設定をしたスマートデバイスから再度プリンターに接続する場合は、スマートデバイスの Wi-Fi 接続画面から、プリンターの接続名を選択して接続してください。

関連情報

[🔗 「iOS 以外のデバイスと Wi-Fi Direct 接続する」 110 ページ](#)

[🔗 「スマートデバイスからの印刷」 46 ページ](#)

iOS 以外のデバイスと Wi-Fi Direct 接続する

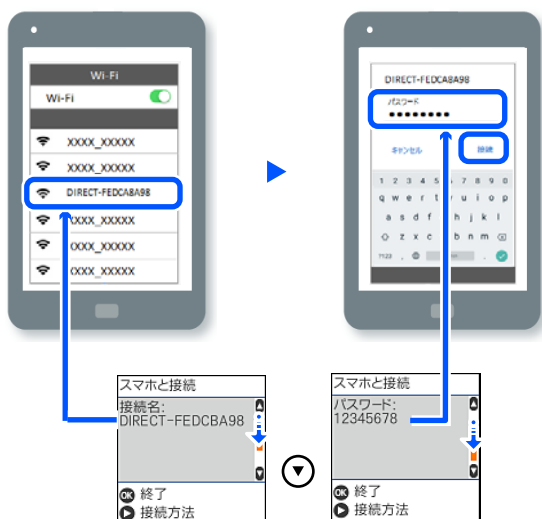
無線 LAN ルーター（アクセスポイント）を介さず、直接プリンターと機器を接続する方法です。

参考

- Android をお使いの方は Epson Smart Panel から設定すると便利です。
- 以下の作業はプリンターと接続したいデバイスで、1 回だけ設定してください。Wi-Fi Direct を無効にしたり、ネットワーク設定を初期の状態に戻したりしない限り、設定をし直す必要はありません。

- 1 ホーム画面から【▲】 / 【▼】 / 【◀】 / 【▶】 ボタンで【無線 LAN 設定】 - 【スマートデバイスと直接つなぐ】を選択します。

- 2 メッセージを確認して、【OK】ボタンを押します。
- 3 メッセージを確認して、【OK】ボタンを押します。
- 4 【◀】ボタンを押します。
- 5 【◀】 / 【▶】ボタンで【**【その他スマートデバイスとつなぐ】**】を選択して、【OK】ボタンを押します。
- 6 【▼】を押して画面をスクロールして **Wi-Fi Direct** の接続情報を確認します。
- 7 スマートデバイスの **Wi-Fi** 接続画面を表示し、本機の操作パネルに表示された接続名を選択して、パスワードを入力します。



- 8 本機の【OK】ボタンを押します。
- 9 お使いの印刷用アプリを開いて本機を選択します。

一度接続設定をしたスマートデバイスから再度本機に接続する場合は、スマートデバイスの Wi-Fi 接続画面から、本機の接続名を選択して接続してください。

プリンターのネットワーク設定

プリンターの操作パネルからネットワーク設定する方法はいくつかあります。お使いの環境や条件に合わせて接続方法を選択してください。

無線 LAN ルーター（アクセスポイント）の情報（SSID、パスワード）がわかれば、手動で設定するのが確実です。AOSS や WPS 対応の無線 LAN ルーター（アクセスポイント）をお使いの場合は、プッシュボタンで自動設定ができます。

プリンターがネットワークに接続できたら、使用する機器（コンピューターやスマートデバイスなど）をプリンターに接続してください。

関連情報

🔗 [「プリンターに SSID とパスワードを入力して設定する」111 ページ](#)

🔗 [「プッシュボタンで自動設定する \(AOSS/WPS\)」112 ページ](#)

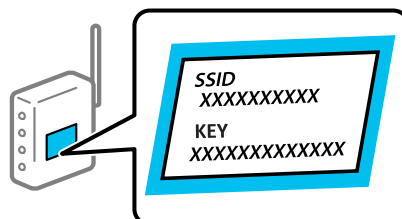
🔗 [「PIN コードで設定する \(WPS\)」113 ページ](#)

プリンターに SSID とパスワードを入力して設定する

無線 LAN ルーター（アクセスポイント）に接続するための情報をプリンターの操作パネルから入力して設定する方法です。手動で設定するには、無線 LAN ルーター（アクセスポイント）の SSID とパスワードの情報が必要です。

参考

無線 LAN ルーター（アクセスポイント）をメーカー設定値のまま利用している場合は、ラベルなどに書かれている SSID とパスワードが設定されています。SSID とパスワードがわからない場合は、無線 LAN ルーターを設定した人に確認するか、無線 LAN ルーターのマニュアルをご覧ください。



- 1 ホーム画面で【無線 LAN 設定】を選択します。項目を選択するには、【▲】 / 【▼】 / 【◀】 / 【▶】ボタンで動かして、【OK】ボタンを押してください。

- 2 【無線 LAN ルーターとつなぐ (推奨)】 を選択します。
- 3 【OK】 ボタンを押して、次の画面に進みます。
- 4 【無線 LAN ルーターを検索】 を選択します。
- 5 接続する無線 LAN ルーター (アクセスポイント) の SSID を本機の操作パネルから選択し、【OK】 ボタンを押します。

参考

- 本機の操作パネルに接続したい SSID が表示されない場合は、【再検索する】 を選択して一覧を更新してください。それでも表示されないときは、【その他の SSID】 を選択して SSID を直接入力してください。
- SSID がわからない場合は無線 LAN ルーターのラベルに書かれていないかを確認してください。無線 LAN ルーター (アクセスポイント) をメーカー設定値のまま利用している場合は、ラベルに書かれている SSID を使用します。

- 6 パスワードを入力します。
設定が終了したら、ネットワーク接続診断レポートを印刷するかどうかを選択します。

参考

- パスワードは大文字と小文字を区別して入力してください。
- パスワードがわからない場合は無線 LAN ルーター (アクセスポイント) 本体のラベルなどに情報がなければ確認してください。無線 LAN ルーター (アクセスポイント) をメーカー設定値のまま利用している場合は、ラベルに書かれているパスワードを使用します。情報が見つからない場合は、無線 LAN ルーター (アクセスポイント) のマニュアルをご覧ください。

- 7 接続が完了したら、必要に応じてネットワーク接続診断レポートを印刷して終了します。

関連情報

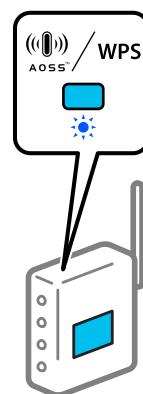
- 🔗 [「文字入力画面」 14 ページ](#)
- 🔗 [「ネットワーク接続診断レポートを印刷する」 114 ページ](#)

プッシュボタンで自動設定する (AOSS/WPS)

無線 LAN ルーター (アクセスポイント) のプッシュボタンで無線 LAN (Wi-Fi) を自動設定する方法です。以下の条件に当てはまる場合は、この方法で設定できます。

- 無線 LAN ルーター (アクセスポイント) が AOSS や WPS (Wi-Fi Protected Setup) に対応している
- 既存の無線 LAN (Wi-Fi) をプッシュボタンで設定している

- 1 ホーム画面で【無線 LAN 設定】 を選択します。
項目を選択するには、【▲】 / 【▼】 / 【◀】 / 【▶】 ボタンで動かして、【OK】 ボタンを押してください。
- 2 【無線 LAN ルーターとつなぐ (推奨)】 を選択します。
- 3 【OK】 ボタンを押して、次の画面に進みます。
- 4 【プッシュボタンで設定 (AOSS/WPS)】 を選択します。
- 5 無線 LAN ルーター (アクセスポイント) のプッシュボタンをランプが点滅するまで押します。



プッシュボタンの位置がわからない、またはボタンが見当たらない場合は、無線 LAN ルーター (アクセスポイント) のマニュアルをご覧ください。

- 6** 本機の操作パネルの【OK】ボタンを押します。この後は、画面の指示に従って操作します。

参考

接続に失敗した場合は無線 LAN ルーター（アクセスポイント）を再起動し、無線 LAN ルーター（アクセスポイント）と本機を近づけてから再度設定してください。それでも解決しないときは、ネットワーク接続診断レポートを印刷して対処方法を確認してください。

関連情報

[🔗 「ネットワーク接続診断レポートを印刷する」 114 ページ](#)

カンタン自動設定で設定する

コンピューターにプリンターのソフトウェアをインストールするときに接続設定をする方法です。アクセスポイントに接続されたコンピューターを使用して、プリンターを無線 LAN 接続します。コンピューター画面の表示に従って操作するだけで、面倒な SSID やセキュリティキーの入力が不要です。

ソフトウェアディスクまたはウェブサイトからインストーラーを起動し、画面の指示に従ってプリンターの設定メニューからカンタン自動設定を実行してください。ウェブサイトからインストールする場合は、以下のウェブサイトにアクセスして、製品型番を入力します。セットアップページの「インストールと接続設定」からソフトウェアをダウンロードしてください。

<https://epson.sn>

PIN コードで設定する (WPS)

PIN コードを使って無線 LAN ルーター（アクセスポイント）に接続する方法です。無線 LAN ルーター（アクセスポイント）が WPS (Wi-Fi Protected Setup) に対応している場合は、この方法で設定できます。PIN コードを無線 LAN ルーター（アクセスポイント）に入力するときに、コンピューターを使います。

- 1** ホーム画面で【無線 LAN 設定】を選択します。項目を選択するには、【▲】 / 【▼】 / 【◀】 / 【▶】 ボタンで動かして、【OK】ボタンを押してください。
- 2** 【無線 LAN ルーターとつなぐ (推奨)】を選択します。

- 3** 【OK】ボタンを押して、次の画面に進みます。

- 4** 【その他】を選択します。

- 5** 【PIN コード自動設定 (WPS)】を選択します。

- 6** 本機に表示されている PIN コード（8 桁の数字）を、2 分以内にコンピューターから無線 LAN ルーター（アクセスポイント）に入力します。

参考

PIN コードの入力方法は、無線 LAN ルーター（アクセスポイント）のマニュアルをご覧ください。

- 7** 本機の操作パネルで【OK】ボタンを押します。設定完了のメッセージが表示されたら終了です。

参考

接続に失敗した場合は無線 LAN ルーター（アクセスポイント）を再起動し、無線 LAN ルーター（アクセスポイント）と本機を近づけてから再度設定してください。それでも解決しないときは、ネットワーク接続診断レポートを印刷して対処方法を確認してください。

関連情報

[🔗 「ネットワーク接続診断レポートを印刷する」 114 ページ](#)

ネットワーク接続診断レポートを印刷する

プリンターと無線 LAN ルーター（アクセスポイント）の接続状態を確認するために、ネットワーク接続診断レポートを印刷します。

1 用紙カセットに用紙をセットします。

 「用紙のセット方法」24 ページ

2 ホーム画面で「設定」を選択して、【OK】ボタンを押します。

項目を選択するには、【▲】 / 【▼】 / 【◀】 / 【▶】ボタンで動かして、【OK】ボタンを押してください。

3 【ネットワーク設定】 - 【接続診断】の順に選択します。

診断が始まります。

4 【OK】ボタンを押して、ネットワーク接続診断レポートを印刷します。

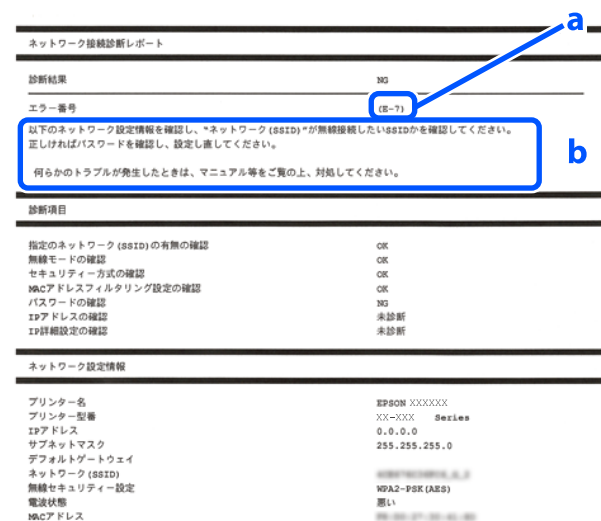
エラーがある場合はネットワーク接続診断レポートの内容を確認して対処してください。

関連情報

 「ネットワーク接続診断レポートの見方と対処方法」114 ページ

ネットワーク接続診断レポートの見方と対処方法

ネットワーク接続診断レポートのメッセージとエラー番号を確認して対処してください。



ネットワーク接続診断レポート	
診断結果	NG
エラー番号	(E-7)
以下のネットワーク設定情報を確認し、「ネットワーク (ssid)」が無線接続したいssidかを確認してください。正しければパスワードを確認し、設定し直してください。	
何らかのトラブルが発生したときは、マニュアル等をご覧の上、対処してください。	
診断項目	
指定のネットワーク (ssid) の有無の確認	OK
無線モードの確認	OK
セキュリティ方式の確認	OK
MACアドレスフィルタリング設定の確認	OK
パスワードの確認	NG
IPアドレスの確認	未診断
IP詳細設定の確認	未診断
ネットワーク設定情報	
プリンター名	EPSON XXXXXXX
プリンター型番	XX-XXX Series
IPアドレス	0.0.0.0
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	
ネットワーク (SSID)	XXXXXXXXXXXX
無線セキュリティ設定	WPA2-PSK (AES)
電波状態	悪い
MACアドレス	XX:XX:XX:XX:XX:XX


a. エラー番号

b. ネットワーク環境に関するメッセージ

関連情報

 「E-1」114 ページ

 「E-2, E-3, E-7」115 ページ

 「E-5」115 ページ

 「E-6」115 ページ

 「E-8」116 ページ

 「E-9」116 ページ

 「E-10」116 ページ

 「E-11」116 ページ

 「E-12」116 ページ

 「E-13」117 ページ

 「ネットワーク環境に関するメッセージ」118 ページ

E-1

対処方法：

- LAN ケーブルが、プリンターやハブなどのネットワーク機器にしっかり差し込まれているか確認してください。
- ハブなどのネットワーク機器の電源が入っているか確認してください。

- プリンターを無線 LAN (Wi-Fi) で使用したい場合は、プリンターの無線 LAN が有効になっていないため、無線 LAN 接続設定をやり直してください。

E-2, E-3, E-7

対処方法：

- 無線 LAN ルーターの電源が入っているか確認してください。
- コンピューターやその他の機器が無線 LAN ルーターと正常に通信できているか確認してください。
- 無線 LAN ルーターの電源を切ります。10 秒くらい待ってから、電源を入れてください。
- プリンターと無線 LAN ルーターは近くに置き、間にある障害物は取り除いてください。
- SSID を直接入力したときは、入力した SSID が正しいかを確認してください。SSID はネットワーク接続診断レポートの [ネットワーク設定情報] で確認できます。
- 1 つの無線 LAN ルーターに複数の SSID が存在する場合、表示された SSID から選択してください。SSID が非対応の周波数を使用していると、SSID は表示されません。
- プッシュボタンを使った自動設定をする場合は、お使いの無線 LAN ルーターが WPS に対応しているか確認してください。WPS に対応していないときは、プッシュボタンを使った自動設定はできません。
- SSID に ASCII 文字（半角英数字、記号）以外の文字列が使われていないか確認してください。プリンターは、ASCII 文字以外の文字列が含まれた SSID は表示できません。
- 無線 LAN ルーターに接続する場合は、SSID とパスワードを事前に確認してください。無線 LAN ルーターをメーカー設定値のまま使用している場合は、ラベルなどに書かれている SSID とパスワードが設定されています。SSID とパスワードがわからない場合は無線 LAN ルーターを設定した人に確認するか、無線 LAN ルーターのマニュアルをご覧ください。
- スマートデバイスなどのテザリング機能で生成した SSID に接続したい場合は、スマートデバイスのマニュアルなどで SSID とパスワードを確認してください。
- 無線 LAN (Wi-Fi) で突然接続できなくなった場合は、以下を確認してください。どれかに当てはまる場合は、以下のウェブサイトでインストーラーをダウンロードして、ネットワーク設定をやり直してください。
<https://epson.sn/> [セットアップ]

- お使いのネットワーク環境に、新たに別のスマートデバイスからプッシュボタン自動設定 (AOSS/WPS) で設定したか
- この無線 LAN (Wi-Fi) ネットワークは、プッシュボタン自動設定以外の方法で設定されたか
- 株式会社バッファロー製の無線 LAN ルーターで、プッシュボタンで設定 (AOSS) できるタイプを使っているか

関連情報

[「コンピューターとの接続」108 ページ](#)

[「プリンターのネットワーク設定」111 ページ](#)

E-5

対処方法：

無線 LAN ルーターが以下のいずれかのセキュリティ方式になっているかを確認してください。なっていない場合は、以下のセキュリティ方式を使用するよう無線 LAN ルーターの設定を変更し、プリンターのネットワーク設定をし直してください。

- WEP-64 bit (40 bit)
 - WEP-128 bit (104 bit)
 - WPA PSK (TKIP/AES) *
 - WPA2 PSK (TKIP/AES) *
 - WPA (TKIP/AES)
 - WPA2 (TKIP/AES)
 - WPA3-SAE (AES)
 - WPA2/WPA3-Enterprise
- * WPA PSK は WPA Personal、WPA2 PSK は WPA2 Personal と呼ばれます。


E-6

対処方法：

- MAC アドレスフィルタリングが無効になっていることを確認してください。有効の場合は、プリンターの MAC アドレスを登録して、フィルタリングされないようにしてください。詳しくは無線 LAN ルーターのマニュアルをご覧ください。プリンターの MAC アドレスはネットワーク接続診断レポートの [ネットワーク設定情報] で確認できます。
- 無線 LAN ルーターの WEP セキュリティ方式で Shared 認証が有効になっている場合は、認証キーおよびインデックスが正しいことを確認してください。

- 無線 LAN ルーターに設定されている同時接続可能な機器数が、接続するネットワーク機器の台数より少ない場合は、接続できる数を増やしてください。設定方法は、無線 LAN ルーターのマニュアルをご覧ください。

関連情報

 「コンピューターとの接続」 108 ページ

E-8

対処方法：

- プリンターの TCP/IP 設定を自動にしているときは、無線 LAN ルーターの DHCP を有効にしてください。
- プリンターの TCP/IP 設定を手動設定にしているときは、手動で設定した IP アドレスが有効範囲外 (0.0.0.0 など) のため、無効になっています。有効な IP アドレスをプリンターの操作パネル、または Web Config から設定してください。

E-9

対処方法：


以下を確認してください。

- プリンターを利用する機器の電源が入っているか
- プリンターを利用する機器から、インターネットへのアクセスや同じネットワーク上の、他のコンピューター、ネットワーク機器にアクセスできるか

上記を確認してもプリンターと他のネットワーク機器が接続できない場合は、無線 LAN ルーターの電源を切ります。10 秒くらい待ってから、電源を入れてください。続いて、以下のウェブサイトですべてのインストーラーをダウンロードして、ネットワーク設定をやり直してください。

<https://epson.sn-> [セットアップ]

関連情報

 「コンピューターとの接続」 108 ページ

E-10

対処方法：

以下を確認してください。

- ネットワーク上の他の機器の電源が入っているか
- プリンターの TCP/IP 設定を手動設定にしているときは、ネットワークアドレス (IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ) が正しいか

ネットワークアドレスが間違っている場合は、設定し直してください。IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイはネットワーク接続診断レポートの [ネットワーク設定情報] で確認できます。

DHCP を有効にしているときは、プリンターの TCP/IP 設定で IP アドレスを自動にしてください。IP アドレスを手動で設定したい場合は、ネットワーク接続診断レポートの [ネットワーク設定情報] でプリンターの IP アドレスを確認し、プリンターのネットワーク設定画面で手動を選択して、設定してください。サブネットマスクは「255.255.255.0」に設定してください。

それでもプリンターと他のネットワーク機器が接続できない場合は、無線 LAN ルーターの電源を切ります。10 秒くらい待ってから、電源を入れてください。

E-11

対処方法：

以下を確認してください。

- プリンターの TCP/IP 設定を手動設定にしたときは、プリンターに設定されたデフォルトゲートウェイのアドレスが正しいか
- デフォルトゲートウェイに指定した機器の電源が入っているか

デフォルトゲートウェイのアドレスを正しく設定してください。プリンターのデフォルトゲートウェイのアドレスはネットワーク接続診断レポートの [ネットワーク設定情報] で確認できます。

E-12

対処方法：

以下を確認してください。

- ネットワーク上の他の機器の電源が入っているか
- 手動で設定したプリンターのネットワークアドレス (IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ) が正しいか
- 他の機器のネットワークアドレス (サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ) が同一になっているか
- 他の機器の IP アドレスと重複していないか

上記を確認してもプリンターと他のネットワーク機器が接続できない場合は、以下の対処を試してみてください。

- 無線 LAN ルーターの電源を切ります。10 秒くらい待ってから、電源を入れます。
- インストーラーを使って、ネットワーク設定をやり直してください。インストーラーは以下のウェブサイトから起動できます。
<https://epson.sn> [セットアップ]
- セキュリティータイプ「WEP」は、無線 LAN ルーターに複数のセキュリティーキーを登録できます。複数のキーが登録されているときは、最初（1 番目）のインデックスのセキュリティーキーがプリンターに設定されているかを確認してください。

関連情報

 [「コンピューターとの接続」108 ページ](#)

E-13

対処方法：

以下を確認してください。

- ネットワーク機器（無線 LAN ルーター、ハブ、ルーターなど）の電源が入っているか
- プリンター以外のネットワーク機器が手動で TCP/IP 設定されていないか。（他のネットワーク機器の TCP/IP 設定が手動で、プリンターの TCP/IP 設定のみ自動設定になっていると、プリンターだけが異なるネットワークになってしまう可能性があります。）

問題がないときは、以下をお試しください。

- 無線 LAN ルーターの電源を切ります。10 秒くらい待ってから、電源を入れます。
- プリンターと同じネットワーク上のコンピューターで、インストーラーを使ってネットワーク設定をし直してください。インストーラーは以下のウェブサイトから起動できます。
<https://epson.sn> [セットアップ]
- セキュリティータイプ「WEP」は、無線 LAN ルーターに複数のセキュリティーキーを登録できます。複数のキーが登録されているときは、最初（1 番目）のインデックスのセキュリティーキーがプリンターに設定されているかを確認してください。

関連情報

 [「コンピューターとの接続」108 ページ](#)

ネットワーク環境に関するメッセージ

メッセージ	対処方法
*無線環境の改善が必要です。無線 LAN ルーターの電源を入れ直してください。それでも解消しないときは無線 LAN ルーターのマニュアルをご覧ください。	プリンターを無線 LAN ルーターの近くに移動し、機器間にある障害物を取り除いてから無線 LAN ルーターの電源を入れ直します。10 秒くらい待ってから、電源を入れてください。それでも接続できない場合は、無線 LAN ルーターのマニュアルをご覧ください。
*無線接続が可能な機器数の上限に達しています。機器を追加したいときは、他の機器の接続を解除してください。	Wi-Fi Direct (シンプル AP) 接続で同時接続できる無線機器が最大限接続されています。他のコンピューターやスマートデバイスを追加するには、プリンターを使用していないコンピューターやスマートデバイスの接続を解除するか他のネットワークに接続させてから追加してください。 同時接続できる無線機器の台数と接続されている台数は、プリンターの操作パネルまたはネットワークステータスシートで確認できます。
周囲に Wi-Fi Direct と重複する SSID が存在します。スマートデバイス (無線機器) をプリンターに接続できないときは、Wi-Fi Direct の SSID を変更してください。	プリンターの操作パネルから Wi-Fi Direct 設定の画面を表示し、設定を変更するメニューから接続名を変更してください。接続名は DIRECT-XX-の後に続く文字列を変更できます。半角 32 文字以内で入力します。

無線 LAN ルーター(アクセスポイント)を交換または追加したときは

無線 LAN ルーター (アクセスポイント) を交換して SSID が変わった場合や、新しく無線 LAN ルーター (アクセスポイント) を設置して無線 LAN (Wi-Fi) 環境を構築した場合などは、再度無線 LAN 設定をしてください。

関連情報

 [「コンピューターとの接続設定をする」 119 ページ](#)

コンピューターとの接続設定をする

プリンターとコンピューターを接続設定するにはインストーラーを使うと便利です。インストーラーは以下のいずれかの方法で起動できます。

- ウェブサイトから
以下のウェブサイトアクセスして、製品名を入力します。 [セットアップ] に進んで作業を開始します。
<https://epson.sn>
- ソフトウェアディスクから (製品にソフトウェアディスクが同梱されていて、それを使用できる場合)
ソフトウェアディスクをコンピューターにセットして、画面の指示に従って操作します。

スマートデバイスとの接続設定をする

スマートデバイスが接続している Wi-Fi と同じネットワーク (SSID) にプリンターを接続すると、スマートデバイスからプリンターを使えるようになります。スマートデバイスからプリンターを利用するには以下をご覧ください。

 [「スマートデバイスとの接続」 109 ページ](#)

困ったときは

メッセージが表示されたとき

本機に表示されるメッセージ

以下のメッセージが表示されたら、対処方法の記載を確認し必要な処置をしてください。

メッセージ	対処方法
プリンター内部に異物が入っている可能性があります。内部を確認し、異物を取り除いてください。	本機の内部に保護テープや保護材が残っている可能性があります。すべての保護テープや保護材を取り除いてから電源を入れ直してください。
ノズルが目詰まりしている可能性があります。ノズルチェックをお試しください。	プリントヘッドユニットが長時間所定外の位置で止まっていたため、ノズルの目詰まりが発生しているおそれがあります。ノズルチェックを実施してノズル詰まりがないか確認し、必要に応じてヘッドクリーニングを実施することをお勧めします。 ☞ 「プリントヘッドのノズルチェック」 61 ページ
ノズルが目詰まりしている可能性があります。印刷結果を確認してください。	プリントヘッドの自動ノズルチェック機能がノズル詰まりを検出しました。印刷結果を確認し、必要に応じてヘッドクリーニングを実施してから印刷を再開してください。 ☞ 「プリントヘッドのノズルチェック」 61 ページ
ノズルが目詰まりしている可能性があります。目詰まりしていると印刷品質が低下します。	
ノズルの目詰まり確認ができません。詳しくはマニュアルをご覧ください。	本機の温度が動作保証範囲外になったことにより、自動ノズルチェック機能のチェックパターンを読み取ることができませんでした。本機の電源を入れ直してからお使いください。 数回、電源を入れ直しても同じエラーが発生するときは、センサーが故障しているおそれがあります。 お買い求めの販売店またはエプソンソリューションコールセンターに連絡してください。 ☞ 「お問い合わせ先」 148 ページ
ノズルの目詰まり確認に失敗しました。詳しくはマニュアルをご覧ください。	自動ノズルチェック機能のチェックパターンを読み取ることができませんでした。必要に応じてノズルチェックを実施してください。 ☞ 「プリントヘッドのノズルチェック」 61 ページ 繰り返し同じエラーが発生するときは、センサーが故障しているおそれがあります。 お買い求めの販売店またはエプソンソリューションコールセンターに連絡してください。 ☞ 「お問い合わせ先」 148 ページ
電源を入れ直してください。それでも解決しないときは【OK】を押してください。	電源を切り、電源コードをコンセントと本機の電源コネクタから抜いて、接続し直します。本機の電源を入れます。 繰り返し同じエラーが発生するときは、操作パネルの【OK】ボタンを押して用紙詰まりを解消してから電源を入れ直してください。 ☞ 「用紙カセットでの用紙詰まり」 128 ページ それでも改善されないときは修理が必要です。 お買い求めの販売店またはエプソンソリューションコールセンターに連絡してください。 ☞ 「お問い合わせ先」 148 ページ

困ったときは

メッセージ	対処方法
インクが正常に出ていません。ノズルの状態が改善されないため終了します。詳しくはマニュアルをご覧ください。	ノズルチェックとプリントヘッドのクリーニングを交互に繰り返しても目詰まりが解消されません。 印刷しない状態で 12 時間以上放置した後、再度ノズルチェックとプリントヘッドのクリーニングを実行してください。電源を切って放置することをお勧めします。それでも改善されないときは、強力ヘッドクリーニングを実行してください。 強力ヘッドクリーニングを実行しても目詰まりが解消されないときは、印刷しない状態で 12 時間以上放置した後、再度ノズルチェックパターンを印刷します。目詰まりが解消されないときは、インクチューブリフレッシュを実行してください。 それでも改善されないときは修理が必要です。 お買い求めの販売店またはエプソンソリューションコールセンターに連絡してください。 ☎ 「お問い合わせ先」 148 ページ
インク残量情報を更新する時期が近づいています。	インクが残り少なくなりました。インクタンクにインクを補充してください。インク補充後は、必ずインク残量を更新してください。 ☎ 「インクの補充」 50 ページ
メンテナンスボックスの交換時期が近づいています。交換の案内が表示されるまで印刷できます。	メンテナンスボックスの空き容量が残り少なくなりました。新しいメンテナンスボックスを用意してください。交換の案内が表示されるまで印刷できます。 ☎ 「消耗品とオプション」 134 ページ
メンテナンスボックスが認識できません。	メンテナンスボックスを装着し直してください。装着し直しても同じエラーが発生するときは、新しいメンテナンスボックスと交換してください（不良メンテナンスボックスは装着しないでください）。 ☎ 「メンテナンスボックスの交換」 52 ページ
メンテナンスボックスの空き容量が不足しているためクリーニングできませんでした。	プリントヘッドのクリーニングで排出される廃インクをためる分の空き容量がメンテナンスボックスに無いため、クリーニングを実行できません。クリーニングを実行するには新しいメンテナンスボックスに交換してください。取り外したメンテナンスボックスは、クリーニング終了後に再度装着して使用できます。 ☎ 「メンテナンスボックスの交換」 52 ページ
プリンター内部が高温のため印刷速度が低下しています。詳しくはマニュアルをご覧ください。	印刷速度が低下した状態でも印刷は継続できます。印刷速度を回復させるには、プリンターの内部を引き出して内部カバーを開けた状態で 15～30 分放置してください。本機の電源を入れたまま放置してください。 対処方法の詳細は、以下をご覧ください。 ☎ 「連続印刷中に印刷速度が極端に遅くなった」 133 ページ
一部の機能が使えなくなります。詳しくはマニュアルをご覧ください。	〔設定画面自動表示〕を無効にすると、AirPrint が使用できません。
アドレスとサブネットマスクの組み合わせが有効ではありません。詳しくはマニュアルをご覧ください。	IP アドレス、またはデフォルトゲートウェイに正しい値を入力してください。正しい値が分からないときは、ネットワーク管理者に確認してください。
EPSON DEVICE Recovery Mode Update Firmware	ファームウェアのアップデートに失敗したため、リカバリーモードで起動しました。以下の手順でもう一度ファームウェアをアップデートしてください。 1. 本機とコンピューターを USB 接続します（リカバリーモード中のアップデートは、有線または無線 LAN 接続ではできません）。 2. エプソンのウェブサイトから最新のファームウェアをダウンロードしてアップデートを開始します。 詳しくはダウンロードページの「アップデート方法」をご覧ください。

画面に表示されるメッセージコード

本機ではエラーやお知らせがあると、画面右上にメッセージコードが表示されます。メッセージコードは下表のように分類されており、それぞれのメッセージコードは本機が以下の状態であることを表します。メッセージコードのある画面では、表示されたメッセージに従って対処してください。

分類	メッセージコード	状態
プリンターのハードウェア関連のエラー	E-01	プリンターフェータルエラー
	W-01	用紙詰まりエラー

分類	メッセージコード	状態
センサー関連のエラー	W-41	ノズル検出エラー
	W-42	
	W-43	
センサー検出結果の画質異常	W-51	解析時の異常
プリンターのハードウェア関連のワーニング	I-01	自動ノズルチェック時の温度ワーニング
	I-02	機内温度上昇による印刷速度低下のワーニング
ネットワーク関連のインフォメーション	I-22	プッシュボタンで設定 (AOSS/WPS) による無線 LAN 設定
	I-23	PIN コード自動設定 (WPS) による無線 LAN 設定
給紙装置設定関連のインフォメーション	I-41	設定画面自動表示のオフ設定
センサー関連のワーニング	I-51	センサーモジュールのワーニング

エラーメッセージについて (Windows)

印刷時にプリンターに何らかのエラーが発生したときは、本機に接続したコンピューターからエラーメッセージを確認できます。

コンピューターでエラーメッセージを確認するときは、EPSON プリンターウィンドウ³ を表示します。

Windows タスクバーのユーティリティ呼び出しアイコンをクリックして、本機名称 - [EPSON プリンターウィンドウ! 3] の順にクリックすると、EPSON プリンターウィンドウ³ が起動します。



EPSON プリンターウィンドウ³

エラーメッセージは画面の上部に表示されます。エラーメッセージが表示されたときは、画面の対処方法を確認し必要な処置をしてください。

インク残量などの本機の状態も確認できます。



エラーメッセージについて (Mac OS)

印刷時にプリンターに何らかのエラーが発生したときは、本機に接続したコンピューターからエラーメッセージを確認できます。

コンピューターでエラーメッセージを確認するときは、メンテナンスツールを起動します。

メンテナンスツールの起動手順は以下の通りです。

1 アップルメニュー - [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ] の順にクリックします。

2 プリンターを選択して、[オプションとサプライ] - [ユーティリティ] - [プリンタユーティリティを開く] の順にクリックします。

エラーメッセージは画面の上部に表示されます。エラーメッセージが表示されたときは、[プリンターウィンドウ] をクリックし、表示された画面の対処方法を確認して必要な処置をしてください。



メンテナンスツールの詳細は、以下をご覧ください。

[🔗 「メンテナンスツールの使い方 \(Mac OS\)」 79 ページ](#)

メンテナンスツールに表示されるメッセージコード（Windowsのみ）

コンピューターに接続しているプリンターに何らかのエラーが発生したときは、メンテナンスツールの【プリンター履歴】にメッセージコードとメッセージが表示されます。

エラーが発生したときは、下表を確認して必要な処置をしてください。

【プリンター履歴】のメッセージコードにマウスポインターを合わせると、メッセージが表示されます。



参考

【プリンター履歴】に表示された情報はメンテナンスツールを終了すると自動で削除され、次回起動時には表示されません。

メッセージコード	メッセージ	対処方法
I-2201	インク残量情報を更新する時期が近づいています。	インクが残り少なくなりました。インクタンクにインクを補充してください。 インク補充後は、必ずインク残量を更新してください。 「インクの補充」50 ページ
I-2202	インク残量が少ないか、限界値を下回りました。プリントヘッドのクリーニングができません。	プリントヘッドのクリーニングに必要なインク残量が不足しているため、クリーニングを実行できません。インクタンクにインクを補充してください。 インク補充後は、必ずインク残量を更新してください。 「インクの補充」50 ページ
I-2310	ノズルの目詰まり確認ができません。	プリンターの温度が動作保証範囲外になったことにより、自動ノズルチェック機能のチェックパターンを読み取ることができませんでした。プリンターの電源を入れ直してからお使いください。 数回、電源を入れ直しても同じエラーが発生するときは、センサーが故障しているおそれがあります。 お買い求めの販売店またはエプソンソリューションコールセンターに連絡してください。 「お問い合わせ先」148 ページ
I-2401	メンテナンスボックスの交換時期が近づいています。	メンテナンスボックスの空き容量が残り少なくなりました。新しいメンテナンスボックスを用意してください。交換の案内が表示されるまで印刷できます。 「消耗品とオプション」134 ページ
I-5101	Epson Firmware Updater が起動されています。	メンテナンスツールの起動時に、ファームウェア更新用ソフトウェアの Firmware Updater が実行中だったため、ファームウェアのアップデートが中断されました。 プリンターのファームウェアを更新するときは、本ソフトウェアを終了してから Firmware Updater を再起動してください。

困ったときは

メッセージコード	メッセージ	対処方法
I-5201	送信中の印刷ジョブが、プリンターの一度に受信できる最大データ容量に近づきました。	印刷ジョブのデータ容量が大きすぎます。全ての印刷ジョブを削除してから、印刷ジョブを分割して印刷してください。
W-1101	用紙が詰まりました。	プリンターの操作パネルの画面で用紙が詰まった場所を確認して、詰まった用紙を取り除いてください。 ☞ 「用紙が詰まったときは」128 ページ
W-1102	プリンター内部に保護テープなどの異物が残っている可能性があります。	プリンターの内部に保護テープや保護材が残っている可能性があります。全ての保護テープや保護材を取り除いてから電源を入れ直してください。
W-1105	用紙がないか、正しく給紙されませんでした。	プリンターの内部に用紙が残っていないことを確認して、用紙をセットし直してください。 ☞ 「用紙が詰まったときは」128 ページ ☞ 「用紙のセット」24 ページ
W-1305	背面ユニットが正しく取り付けられていません。	プリンターの操作パネルの画面に従って背面ユニットを取り付けてください。
W-1308	前面カバーが閉じています。	プリンターの操作パネルの画面に従って前面カバーを開けてください。
W-2202 W-2204	インク残量情報を更新する必要があります。	インクが残り少なくなりました。インクタンクにインクを補充してください。 インク補充後は、必ずインク残量を更新してください。 ☞ 「インクの補充」50 ページ
W-2205	強力クリーニングができません。	強力ヘッドクリーニングに必要なインク残量が不足しているため、クリーニングを実行できません。 プリンターのインクタンクを確認して、インクを補充してください。 インク補充後は、必ずインク残量を更新してください。 ☞ 「インクの補充」50 ページ
W-2208	初期充填に失敗しました。	初期充填に必要なインク残量が不足しているため、初期充填が実行できません。 全ての色のインクがインクタンクに注入されているか確認してください。 全ての色のインクが注入されているときは修理が必要です。 お買い求めの販売店またはエプソンソリューションコールセンターに連絡してください。 ☞ 「お問い合わせ先」148 ページ
W-2325 W-2326 W-2327 W-2349	ノズルの目詰まり確認に失敗しました。	自動ノズルチェック機能のチェックパターンを読み取ることができませんでした。 必要に応じて、ノズルチェックを実施してください。 ☞ 「プリントヘッドのノズルチェック」61 ページ 繰り返し同じエラーが発生するときは、センサーが故障しているおそれがあります。 お買い求めの販売店またはエプソンソリューションコールセンターに連絡してください。 ☞ 「お問い合わせ先」148 ページ
W-2360 W-2361 W-2362	ノズルが目詰まりしている可能性があります。	プリントヘッドの自動ノズルチェック機能がノズル詰まりを検出しました。 印刷結果を確認し、必要に応じてヘッドクリーニングを実施してから印刷を再開してください。 ☞ 「プリントヘッドのノズルチェック」61 ページ
W-2401	メンテナンスボックスがセットされていません。	メンテナンスボックスを装着してください。 ☞ 「メンテナンスボックスの交換」52 ページ

困ったときは

メッセージコード	メッセージ	対処方法
W-2402	メンテナンスボックスの空き容量がなくなりました。	新しいメンテナンスボックスと交換してください。 ☞ 「メンテナンスボックスの交換」 52 ページ
W-2403	メンテナンスボックスが認識できません。	メンテナンスボックスを装着し直してください。装着し直しても同じエラーが発生するときは、新しいメンテナンスボックスと交換してください(不良メンテナンスボックスは装着しないでください)。 ☞ 「メンテナンスボックスの交換」 52 ページ
W-2405	他のプリンターに一度装着されたメンテナンスボックスは、使用できません。	新しいメンテナンスボックスと交換してください。 ☞ 「メンテナンスボックスの交換」 52 ページ
W-2404	強力クリーニングができません。	強力ヘッドクリーニングで排出される廃インクをためる分の空き容量がメンテナンスボックスに無いため、クリーニングを実行できません。クリーニングを実行するには新しいメンテナンスボックスに交換してください。取り外したメンテナンスボックスは、クリーニング終了後に再度装着して使用できます。 ☞ 「メンテナンスボックスの交換」 52 ページ
W-5202	送信中の印刷ジョブが、プリンターの一度に受信できる最大データ容量に達しました。	印刷ジョブのデータ容量が大きすぎます。全ての印刷ジョブを削除してから、印刷ジョブを分割して印刷してください。
W-5204	ノズルが目詰まりしている可能性があります。	プリントヘッドユニットが長時間所定外の位置で止まっていたため、ノズルの目詰まりが発生しているおそれがあります。ノズルチェックを実施してノズル詰まりがないか確認し、必要に応じてヘッドクリーニングを実施することをお勧めします。 ☞ 「プリントヘッドのノズルチェック」 61 ページ
W-5210	用紙サイズがプリンター本体の設定と異なります。	プリンタードライバーで設定した用紙設定と、プリンターの操作パネルの画面で設定した用紙設定が異なっています。プリンターの操作パネルの画面を確認してください。
W-5211	用紙種類がプリンター本体の設定と異なっています。	
W-5212	用紙サイズと用紙種類が、プリンター本体の設定と異なっています。	
W-5213	用紙サイズの設定が正しくないか、用紙が重なって給紙されました。	
W-1401	輸送用ロックが輸送位置にあります。	輸送用ロックが輸送位置にセットされているため印刷できません。プリンターの操作パネルの画面に従って、輸送用ロックを印刷位置にセットしてください。
W-1309	プリンターの内部が引き出されています。	プリンターの内部が引き出されているため印刷できません。プリンターの操作パネルの画面に従って、プリンターの内部を元の位置に戻してください。
I-2501	プリンター内部が高温のため印刷速度が低下しています。	印刷速度が低下した状態でも印刷は継続できます。印刷速度を回復させるには、プリンターの内部を引き出して内部カバーを開けた状態で 15~30 分放置してください。プリンターの電源を入れたまま放置してください。 対処方法の詳細は、以下をご覧ください。 ☞ 「連続印刷中に印刷速度が極端に遅くなった」 133 ページ
E-5101	-	プリンターとコンピューターとの通信ケーブルや無線 LAN 接続の状態を確認して、プリンターの電源を入れ直してください。それでも改善されないときは修理が必要です。お買い求めの販売店またはエプソンソリューションコールセンターに連絡してください。 ☞ 「お問い合わせ先」 148 ページ

困ったときは

メッセージ コード	メッセージ	対処方法
E-9901	-	<p>電源を切り、電源コードをコンセントとプリンターの電源コネクターから抜いて、接続し直します。プリンターの電源を入れ直します。</p> <p>繰り返し同じエラーが発生するときは、操作パネルの【OK】ボタンを押して用紙詰まりを解消してから電源を入れ直してください。</p> <p>🔗 「用紙カセットでの用紙詰まり」128 ページ</p> <p>それでも改善されないときは修理が必要です。</p> <p>お買い求めの販売店またはエプソンソリューションセンターに連絡してください。</p> <p>🔗 「お問い合わせ先」148 ページ</p>
E-9902		

トラブルシューティング

用紙が詰まったときは

用紙が詰まると、操作パネルの画面にメッセージが表示されます。メッセージで用紙が詰まった場所を確認して、詰まった用紙を取り除いてください。

⚠ 注意

- 製品内部の、マニュアルで指示されている箇所以外には触れないでください。感電や火傷のおそれがあります。
- カバー類を開閉するときは、手や指を挟まないように注意してください。けがをするおそれがあります。
- 詰まった用紙を取り除く際は、用紙や用紙カセットを無理に引き抜かないでください。また、不安定な姿勢で作業しないでください。急に用紙や用紙カセットが引き抜けると、勢いでけがをするおそれがあります。
- 用紙の端を手でこすらないでください。用紙の側面は薄く鋭利なため、けがをするおそれがあります。

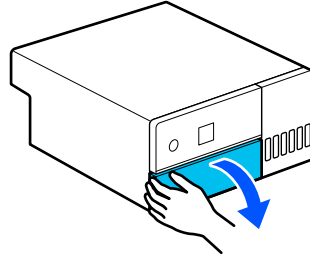
!重要

- 画面に「電源を入れ直してください。」と表示されたときは、一旦電源を切り、再度電源を入れてエラーが繰り返すかどうかを確認してください。同じメッセージが再度表示されるときは、画面の指示に従って【OK】ボタンを押し、次項の手順に従って用紙詰まりを解消してから電源を入れ直してください。
- 詰まった用紙を取り除くときは、用紙を無理に引き抜かないでください。本機が故障するおそれがあります。
- 本機内部の手の届かないような箇所に用紙が詰まっている場合は、無理に取り除かないでお買い求めの販売店またはエプソンソリューションコールセンターに連絡してください。

用紙カセットでの用紙詰まり

以下の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

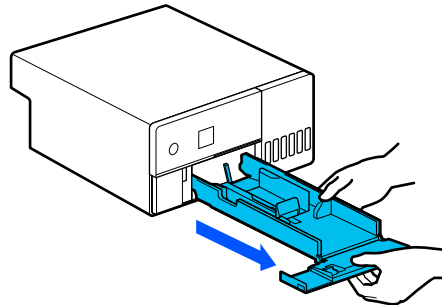
- 1 前面カバーを開けます。



- 2 用紙カセットを引き抜きます。

!重要

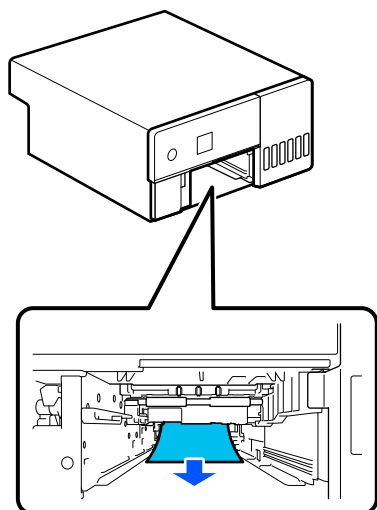
用紙カセットは両手で引き抜いてください。片手で作業をすると、用紙カセットを引き抜いたときに重さで用紙カセットが落下し破損するおそれがあります。



- 3 内部奥に詰まっている用紙や紙片をゆっくり引き抜きます。

!重要

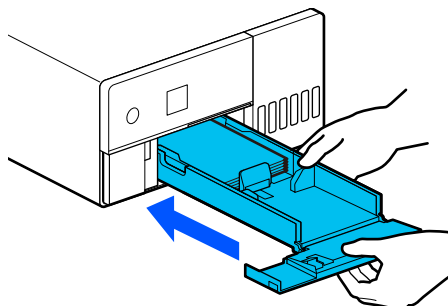
内部奥に詰まった用紙が引き抜けないときは、無理に引っ張らないでください。次項を参照して、背面ユニット側から用紙詰まりを確認し、詰まった用紙を取り除いてください。



4 用紙カセットを差し込みます。

!重要

用紙カセットは両手で差し込んでください。片手で作業をすると、セットした用紙の重さで用紙カセットが落下し破損するおそれがあります。



5 操作パネルの【OK】ボタンを押します。

エラー状態が解除され、ホーム画面が表示されます。

参考

操作パネルの【OK】ボタンを押してもエラー状態が解除されないときは、次項を参照して、背面ユニット側から用紙詰まりを確認し、詰まった用紙を取り除いてください。

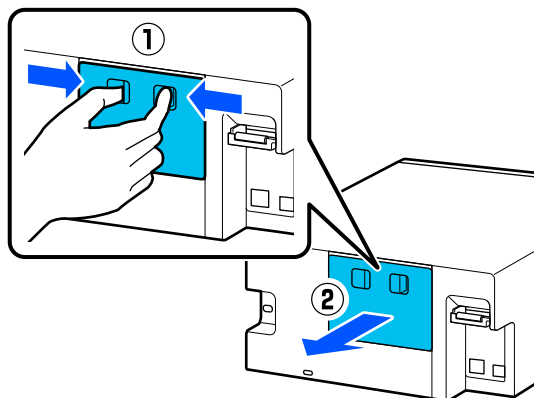
6 状態表示ランプが消灯していることを確認します。

背面ユニットでの用紙詰まり

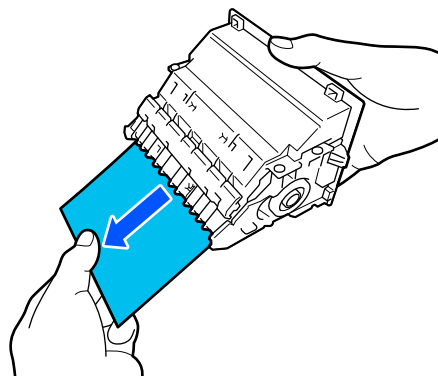
以下の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

1 背面ユニットを取り外します。

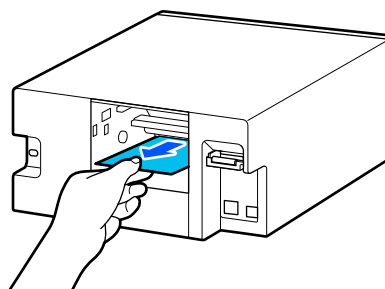
取り外し時に、背面ユニットに詰まっていた用紙が本機内部に残ってしまうときも、そのまま背面ユニットを取り外してください。



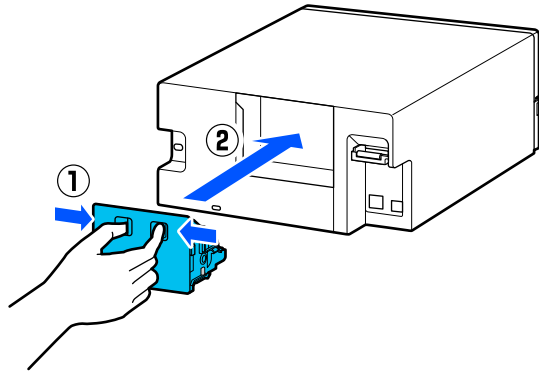
2 背面ユニットに詰まっている用紙や紙片をゆっくり引き抜きます。



3 本機内部に詰まっている用紙や紙片をゆっくり引き抜きます。



4 背面ユニットを取り付けます。



5 操作パネルの【OK】ボタンを押します。

エラー状態が解除され、ホーム画面が表示されます。

6 状態表示ランプが消灯していることを確認します。

印刷できない（プリンターが動かない）

プリンタードライバーが正しくインストールされていない（Windows）

■ **【デバイスとプリンター】フォルダーに本機のアイコンはありますか？**

- アイコンがある
プリンタードライバーはインストールされています。次項目の「プリンターとコンピューターの接続に異常がある」を確認します。
- アイコンがない（[未指定] にアイコンがある）

以下の手順をしてください。

- ①コントロールパネルを表示して、[ハードウェアとサウンド] - [デバイスマネージャー] - [ほかのデバイス] の順にクリックします。
- ② [EPSON SL-D500 Series] を右クリックし、[ドライバーソフトウェアの更新] をクリックします。
- ③ [ドライバーソフトウェアの最新版を自動更新します] をクリックします。
- ④ドライバーソフトウェアの更新完了後、[閉じる] をクリックします。

上記の対処をしてもプリンタードライバーがインストールされないときは、プリンタードライバーを削除してから再インストールしてください。

🔗 [「ソフトウェアの削除」 22 ページ](#)

■ **印刷するポートの設定が使用する本機の接続先と合っていますか？**

印刷先のポートを確認します。プリンターのプロパティ画面で [ポート] タブをクリックし、プリンター名のポートが設定されているか確認します。表示がない場合はプリンタードライバーが正しくインストールされていません。プリンタードライバーを削除して、インストールし直してください。

🔗 [「ソフトウェアの削除」 22 ページ](#)

プリンタードライバーが正しくインストールされていない（Mac OS）

■ **本機がプリンターリストに追加されていますか？**

アップルメニュー - [システム環境設定] - [プリンターとスキャナ] の順にクリックします。プリンター名が表示されないときは、プリンターを追加してください。

プリンターとコンピューターの接続に異常がある

■ **ケーブルが外れていませんか？**

プリンター側のポートとコンピューター側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。また、ケーブルが断線していないか、変に曲がっていないか確認してください。予備のケーブルをお持ちの場合は、差し換えてご確認ください。

プリンター側でエラーが発生している

■ **操作パネルの画面のメッセージで確認します。**

🔗 [「操作パネル」 12 ページ](#)
🔗 [「メッセージが表示されたとき」 120 ページ](#)

印刷が中断されている

■ **印刷キューのステータスが【一時停止】になっていませんか？（Windows）**

印刷途中で印刷を中断したときや何らかのトラブルで印刷が停止したときは、印刷キューのステータスが [一時停止] になります。このままの状態でも印刷を実行しても印刷されません。

[デバイスとプリンター] フォルダーの本機のアイコンをダブルクリックし、プリンターが一時停止状態の場合は [プリンター] メニューの [一時停止] をクリックしてチェックを外します。

■ **印刷のステータスが [一時停止] になっていませんか? (Mac OS)**

お使いのプリンターの印刷状況を確認する画面を表示して、一時停止の状態でないことをご確認ください。

- ① アップルメニュー - [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ] の順にクリックします。
- ② 状況が [一時停止中] と表示されているプリンターがあるときは、そのプリンターをダブルクリックします。
- ③ [プリンタを再開] をクリックします。

プリンターがオフラインになっている

■ **コンピューターをスリープ状態にしましたか?**

コンピューターをスリープ状態にしないでください。コンピューターをスリープ状態にしたとき、プリンターがオフラインになることがあります。

プリンターがオフラインになったときは、コンピューターを再起動してください。再起動してもプリンターがまだオフラインのときは、プリンターの電源を入れ直してください。

プリンターは動くが印刷されない

プリントヘッドは動くが印刷しない

■ **本機の動作確認をしてください。**

ノズルチェックパターンを印刷して、本機の動作や印刷状態を確認してください。

- 本機から印刷を実行するとき
☞ [「ノズルチェックパターンの印刷方法」 62 ページ](#)
 - メンテナンスツールから印刷を実行するとき (Windows)
☞ [「ノズルチェックパターンの印刷方法」 74 ページ](#)
 - メンテナンスツールから印刷を実行するとき (Mac OS)
☞ [「ノズルチェックパターンの印刷方法」 87 ページ](#)
- ノズルチェックパターンが正しく印刷されなかったときは、次項をご確認ください。

ノズルチェックパターンが正常に印刷できない

■ **ヘッドクリーニングをしてください。**

ノズルが目詰まりしている可能性があります。ヘッドクリーニングしてから再度ノズルチェックパターンを印刷してください。

- 本機からクリーニングを実行するとき
☞ [「プリントヘッドのクリーニング \(通常クリーニング\)」 63 ページ](#)
- メンテナンスツールからクリーニングを実行するとき (Windows)
☞ [「診断クリーニング」 75 ページ](#)
- メンテナンスツールからクリーニングを実行するとき (Mac OS)
☞ [「診断クリーニング」 88 ページ](#)

フチなし印刷ができない

■ **用紙を正しくセットしましたか?**

以下の手順に従って、正しい位置に用紙をセットしてください。セットした位置がずれているとフチなし印刷ができません。

- ☞ [「用紙のセット」 24 ページ](#)

■ **フチなし印刷に対応している用紙を使用していますか?**

本機では対応する用紙にのみフチなし印刷ができます。以下をご覧ください。フチなし印刷に対応する用紙をお使いください。

- ☞ [「使用可能な用紙」 134 ページ](#)

印刷品質/印刷結果のトラブル

印刷品質が悪い/ムラやスジがある/薄い/濃い

■ **プリントヘッドのノズルが目詰まりしていませんか?**

プリントヘッドが目詰まりを起こしていると、特定の色が出なくなり印刷品質が悪くなります。ノズルチェックを実行してください。

- 本機からノズルチェックパターンを印刷するとき
☞ [「ノズルチェックパターンの印刷方法」 62 ページ](#)
- メンテナンスツールからノズルチェックを実行するとき (Windows)
☞ [「ノズルチェックの方法」 73 ページ](#)
- メンテナンスツールからノズルチェックを実行するとき (Mac OS)
☞ [「ノズルチェックの方法」 86 ページ](#)

■ **【用紙種類】の設定は正しいですか？**
 プリントードライバーとプリンター本体の用紙設定、実際の用紙が合っていないと印刷品質に影響を及ぼします。設定と実際に印刷する用紙種類は合わせてください。

■ **インクボトルは推奨品（当社純正品）を使用していますか？**
 本機は、純正インクボトルの使用を前提に調整されています。純正品以外をご使用になると、印刷品質が低下することがあります。

■ **ディスプレイの表示と印刷結果を比較していませんか？**
 ディスプレイ表示とプリンターで印刷したときの色とでは、発色方法が違うため、色合いに差異が生じます。

他機種と色味が異なる

■ **製品の特性により機種ごとに色味が異なります。**
 使用するインクやプリンターードライバー、プリンタープロファイルなどが機種ごとに異なるため、印刷結果の色味も機種ごとに異なります。

印刷位置がずれる/はみ出す

■ **印刷範囲を指定していますか？**
 アプリケーションソフトやプリンターの設定で印刷範囲の確認をしてください。

■ **【用紙サイズ】の設定は正しいですか？**
 セットした用紙のサイズと、プリンターードライバーの【用紙サイズ】が合っていないと、印刷位置がずれたり、データの一部が印刷されなかったりします。印刷設定を確認してください。

印刷面がこすれる/汚れる

■ **用紙が厚すぎたり、薄すぎたりしませんか？**
 本機で使用できる仕様の用紙かどうかを確認してください。
 ☞ [「使用可能な用紙」134 ページ](#)

■ **プリントヘッドが印刷面をこすっていますか？**

厚手の用紙に印刷すると、プリントヘッドが印刷面と近くなり、用紙表面をこすって汚れが発生することがあります。そのときは、こすれ軽減機能を有効にしてください。ただし、印刷品質や印刷速度が低下することがあります。

- 本機から設定するとき
 ホーム画面で【設定】 - 【プリンターの基本設定】 - 【こすれ軽減】 - 【する】を選択します。
- プリントードライバーから設定するとき (Windows)
 プリントードライバーの【ユーティリティ】画面で【ドライバーの動作設定】をクリックして、【印刷こすれを軽減する】にチェックを付けます。
- プリントードライバーから設定するとき (Mac OS)
 - ① アップルメニュー - 【システム環境設定】 - 【プリンタとスキャナ】の順にクリックします。
 - ② 本機を選択して、【オプションとサプライ】 - 【オプション】の順にクリックします。
 - ③ 【こすれ軽減】で【オン】を選択します。

■ **ハガキに印刷していませんか？**

ハガキに印刷すると、画像データによっては用紙の縦方向に等間隔で色の付いたスジが入ることがあります。これは本機内部のローラーの跡です。スジが目立つときは、以下の通りプリンターードライバーの設定を変更してください。ただし、印刷速度が低下することがあります。

- Windows の場合
 プリントードライバーの【ユーティリティ】画面で【ドライバーの動作設定】をクリックして、【ローラーの跡を軽減する】にチェックを付けます。
- Mac OS の場合
 - ① アップルメニュー - 【システム環境設定】 - 【プリンタとスキャナ】の順にクリックします。
 - ② 本機を選択して、【オプションとサプライ】 - 【オプション】の順にクリックします。
 - ③ 【ローラーの跡を軽減する】で【オン】を選択します。

印刷した用紙の裏側が汚れる

■ **プラテンに紙粉が溜まっていませんか？**
 プラテンの清掃をしてください。
 ☞ [「プラテンの清掃」54 ページ](#)

用紙にしわが発生する

■ **一般の室温環境下で使用していますか？**
 エプソン製の専用紙は一般の室温環境下（温度：15～25℃、湿度：40～60%）で使用してください。また、当社指定以外の薄紙など使用方法に注意が必要な用紙については、用紙のマニュアルをご覧ください。

フチなし印刷で余白が発生する

■ アプリケーションソフト側で適切な印刷データを作成していますか？

プリンタードライバー側だけでなく、アプリケーションソフト側でも用紙設定をしてから印刷してください。

☞ 「四辺フチなし印刷」 40 ページ

給紙ミス/排紙のトラブル

給紙されない

■ 用紙を正しくセットしましたか？

- 本機で使用可能な用紙をセットしてください。
- 用紙の取り扱い上のご注意に従ってください。
- 用紙はセット可能枚数を超えてセットしないでください。
- 本機の用紙サイズと用紙種類の設定を、実際にセットした用紙に合わせてください。

☞ 「使用可能な用紙」 134 ページ

☞ 「用紙に関するご注意」 15 ページ

☞ 「用紙のセット」 24 ページ

■ 給紙ローラーキットを清掃してください。

給紙ローラーキットが紙粉などで汚れると、給紙不良が発生することがあります。ローラーの表面を清掃してください。

☞ 「給紙ローラーキットの清掃」 56 ページ

■ 給紙ローラーキットの新品への交換が必要です。

用紙のセット、給紙ローラーキットの清掃を適切に実施しても繰り返し給紙不良が発生するときは、給紙ローラーキットを新品と交換してください。

☞ 「消耗品とオプション」 134 ページ

☞ 「給紙ローラーキットの交換」 60 ページ

スマートデバイスと接続されているのに印刷できない (iOS)

■ 設定画面自動表示が無効になっています。

操作パネルの以下のメニューで「設定画面自動表示」を有効にしてください。

【設定】 - 【プリンターの基本設定】 - 【給紙装置設定】 - 【設定画面自動表示】

■ AirPrint の設定が無効になっています。

Web Config で AirPrint の設定を有効にしてください。

☞ 「システム管理者ガイド」

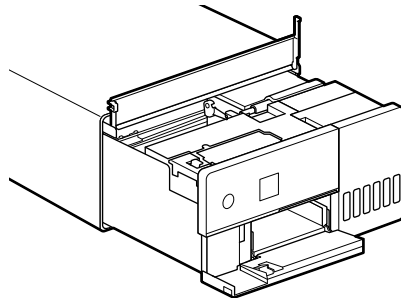
その他

連続印刷中に印刷速度が極端に遅くなった

■ 高温による本機内部の損傷を防ぐための機能が働いています。

印刷速度が低下した状態でも印刷は継続できます。

印刷速度を回復させるには、背面ユニットを取り外してから止まる位置までプリンターの内部を引き出し、内部カバーを開けた状態で 15～30 分放置してください。このとき、電源は入れたままにしてください。電源を切った状態で放置しても、印刷速度は回復しません。



管理者パスワードを忘れた

■ エプソンソリューションコールセンターにご相談ください。

設定した管理者パスワードを忘れたときは、エプソンソリューションコールセンターにご相談ください。

☞ 「お問い合わせ先」 148 ページ

【管理者ロック】を【オフ】にしている場合は、管理者パスワードを入力しないで【全て初期化】を実行できるので、管理者パスワード含む全ての設定を初期値に戻せます。

☞ 「操作パネルのメニュー」 96 ページ

トラブルが解消されないときは

「トラブルシューティング」の内容を確認してもトラブルが解消されないときは、お買い求めの販売店またはエプソンソリューションコールセンターに連絡してください。

付録

消耗品とオプション

本機で使用できる消耗品とオプションは以下の通りです。（2022年5月現在）
最新の情報は、エプソンのウェブサイト（<https://www.epson.jp>）をご覧ください。

商品名		型番	備考
インクボトル	フォトブラック	SLIC6BK	プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクボトルを使用することをお勧めします。指定外のインクを使用すると、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できないことがあります。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。指定外のインクの使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。 🔗 「インクの補充」 50 ページ
	シアン	SLIC6C	
	マゼンタ	SLIC6M	
	イエロー	SLIC6Y	
	ライトシアン	SLIC6LC	
	ライトマゼンタ	SLIC6LM	
メンテナンスボックス		PXMB9	メンテナンスボックスが空き容量不足になったときの交換用メンテナンスボックスです。 🔗 「メンテナンスボックスの交換」 52 ページ
給紙ローラーキット		SLRK3	本機の底面にあるローラーの交換用部品です。

使用可能な用紙

高品質な印刷結果を得るために、以下のエプソン製専用紙の使用をお勧めします。
本機で使用できる用紙は以下の通りです。（2022年5月現在）

エプソン製専用紙

用紙名称	サイズ	セット可能枚数	自動両面印刷	フチなし印刷	ICC プロファイル
SureLab Photo Paper Gloss (250)	L判 89 x 127 mm	100	-	✓	Epson_SL-D500_PhotoPaperGloss.icc
	KG サイズ 102 x 152 mm	100	-	✓	
SureLab Photo Paper Luster (250)	L判 89 x 127 mm	100	-	✓	Epson_SL-D500_PhotoPaperLuster.icc
	KG サイズ 102 x 152 mm	100	-	✓	
SureLab Photo Paper Gloss - DS(225)	KG サイズ 102 x 152 mm	100	✓	✓	Epson_SL-D500_PhotoPaperGloss_DS.icc
SureLab Photo Paper Gloss - DS(190)	KG サイズ 102 x 152 mm	100	✓	✓	Epson_SL-D500_PhotoPaperGloss_DS.icc
SureLab Photo Paper Luster - DS(225)	KG サイズ 102 x 152 mm	100	✓	✓	Epson_SL-D500_PhotoPaperLuster_DS.icc

用紙名称	サイズ	セット可能枚数	自動両面印刷	フチなし印刷	ICC プロファイル
SureLab Photo Paper Luster - DS(190)	KG サイズ 102 x 152 mm	100	✓	✓	Epson_SL-D500_PhotoPaperLuster_DS.icc

市販のハガキ（日本郵便株式会社製）

ハガキの両面に印刷するときは、宛名面から先に印刷することをお勧めします。

用紙名称	サイズ	セット可能枚数	自動両面印刷	フチなし印刷*	ICC プロファイル
郵便ハガキ（インクジェット写真用）	ハガキ 100 x 148 mm	100	-	✓	Epson_SL-D500_Standard.icc
郵便ハガキ（インクジェット紙）	ハガキ 100 x 148 mm	100	-	✓	Epson_SL-D500_Standard.icc
郵便ハガキ	ハガキ 100 x 148 mm	100	-	✓	Epson_SL-D500_Standard.icc

* 宛名面印刷時は非対応です。

その他の市販用紙

その他の市販用紙は、本機の仕様に合った用紙をお使いください。

[🔗 「仕様一覧」 143 ページ](#)

また、用紙種類を追加してからお使いください。

[🔗 「用紙情報の追加」 92 ページ](#)

！重要

- しわ、毛羽立ち、破れ、汚れなどのある用紙は使用しないでください。
- 本機の仕様の範囲内の用紙であれば本機にセットできますが、通紙および印刷品質を保証するものではありません。

光沢写真用紙

用紙名称*	サイズ	自動両面印刷	フチなし印刷	ICC プロファイル
フォトペーパー<光沢>	L 判 89 x 127 mm	-	✓	Epson_SL-D500_PhotoPaperGloss.icc
	KG サイズ 102 x 152 mm	-	✓	

* プリンタードライバーや本機のメニューの用紙種類設定で選択する名称

マット写真用紙

用紙名称*	サイズ	自動両面印刷	フチなし印刷	ICC プロファイル
フォトペーパー<マット>	L判 89 x 127 mm	-	✓	Epson_SL-D500_PhotoPaperMatte.icc
	KG サイズ 102 x 152 mm	✓	✓	

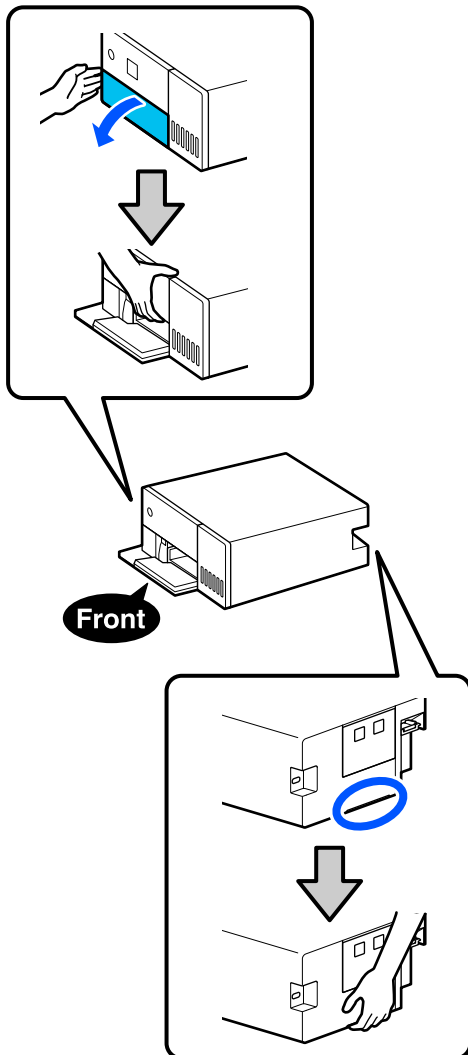
* プリンタードライバーや本機のメニューの用紙種類設定で選択する名称

移動と輸送

ここでは、本機を移動または輸送する方法について説明します。

⚠ 注意

- 本製品を持ち上げる際は、無理のない姿勢で作業してください。
- 本製品を持ち上げる際は、以下の図で指示された箇所に正面から手を掛けて持ち上げてください。他の部分を持って持ち上げると、プリンターが落下したり、下ろす際に指を挟んだりして、けがをすることがあります。



- 本製品の内部を引き出した状態で持ち運ばないでください。落下によりけがをすることがあります。

!重要

本機を移動・輸送するときは、傾けたり、立てたり、逆さまにしないでください。インクが漏れるおそれがあります。

移動の方法

同じ建物内の別の場所など、短距離の移動をさせるときの方法を説明します。

!重要

本機を移動するときは、横方向に滑らせずに、必ず持ち上げてください。故障の原因になります。

移動の準備

移動の際は、事前に以下の準備をしてください。

- 用紙カセットから用紙を全て取り出します。
- 本機の電源を切り、全ての配線を取り外します。

移動後の作業

移動後は、使い始める前にプリントヘッドの目詰まりがないかを確認してください。

📖 [「プリントヘッドのノズルチェック」61 ページ](#)

輸送の方法

本機を輸送するときの方法を説明します。

輸送の準備

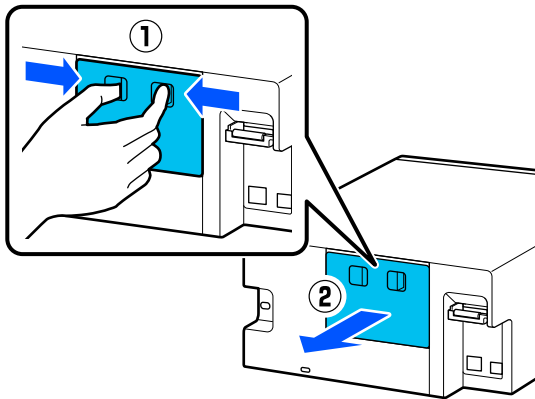
- 1 用紙カセットから用紙を全て取り出します。

- 2 本機の電源を切り、電源コードなど全ての配線を本機から取り外します。

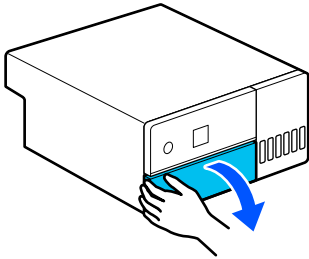
！重要

電源ランプが消灯してから電源プラグをコンセントから抜いてください。プリントヘッドがキャッピングされない(プリントヘッドが右端に位置しない)ことがあります。キャッピングせずに長時間放置すると、印刷不良の原因となります。

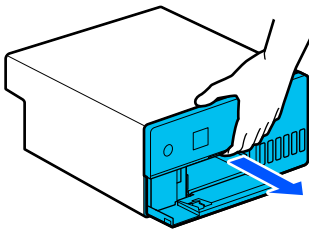
- 3 背面ユニットを取り外します。



- 4 前面カバーを開けます。

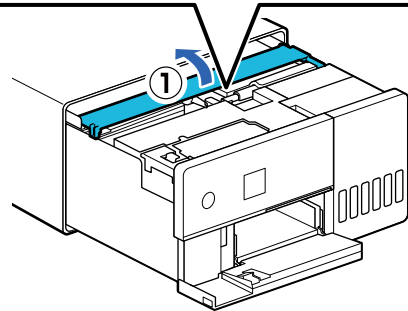
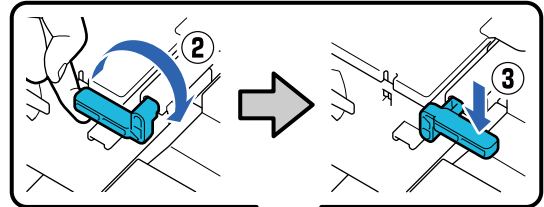


- 5 図の位置に手を掛けて、止まる位置までプリンターの内部を引き出します。

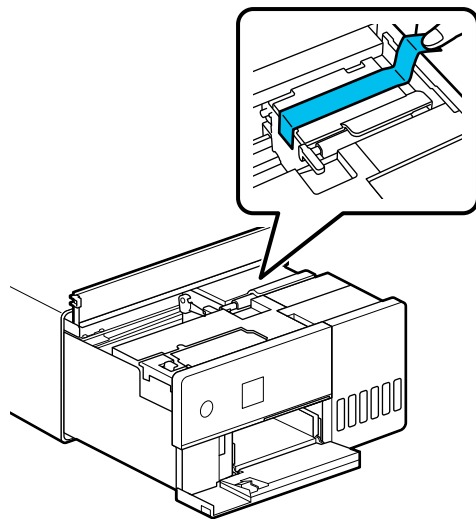


- 6 内部カバーを開けて、図のように輸送用ロックを輸送位置にセットします。

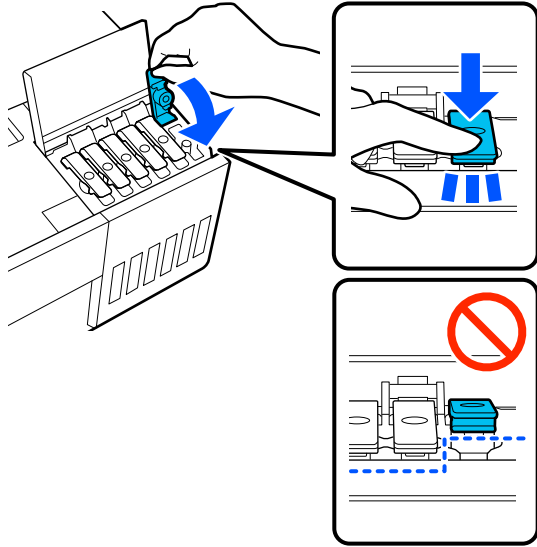
輸送用ロックを輸送位置にセットすると、輸送時にインク漏れを防げます。



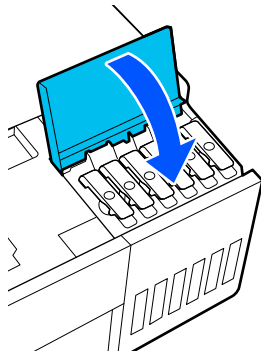
- 7 プリントヘッドが動かないように、市販のテープなどでしっかり固定します。



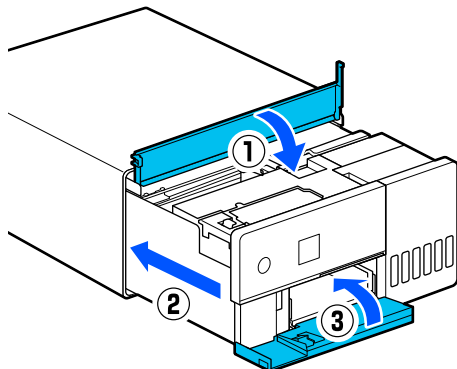
- 8** 全てのインクタンクキャップがしっかり閉まっていることを確認します。



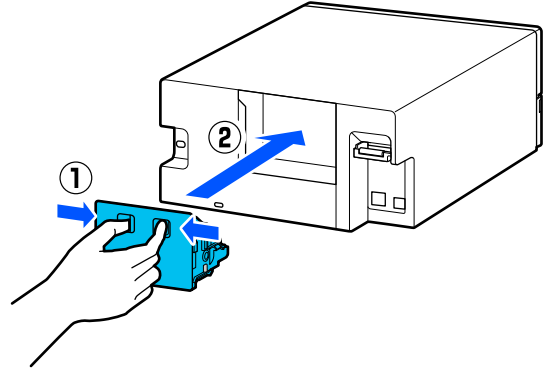
- 9** インクタンクカバーをしっかりと閉めます。



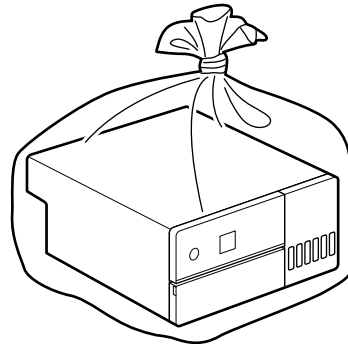
- 10** 内部カバーを閉め、プリンターの内部を元の位置に戻して前面カバーを閉めます。



- 11** 背面ユニットを取り付けます。



- 12** 本機を同梱の輸送袋に入れて口を閉じます。



- 13** 本機を箱に入れて、市販の緩衝材や購入時の保護材などで梱包します。

本機は精密機器のため、輸送時の衝撃で本機が故障するのを未然に防ぐために梱包してください。

!重要

インクボトルの輸送について

インクボトル輸送時は、以下の点にご注意ください。

- 密閉できる袋に入れて輸送してください。
- 輸送するときは、傾けたり急激な温度変化を与えたりしないでください。インクボトルのキャップをしっかり締めてもインクが漏れることがあります。
- 開封済みのインクボトルは本機と同じ箱に入れしないでください。

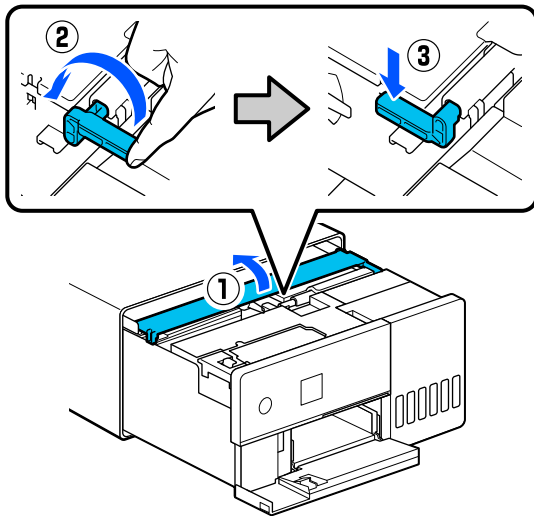
輸送後の作業

輸送後は、以下の手順に従い本機を使用可能な状態にします。

- 1 背面ユニットを取り外します。
- 2 前面カバーを開けて、止まる位置までプリンターの内部を引き出します。
- 3 内部カバーを開けて、プリントヘッドを固定していたテープを剥がします。
- 4 図のように輸送用ロックを印刷位置にセットします。

！重要

輸送後は必ず輸送用ロックを印刷位置にセットしてください。輸送位置にセットされていると印刷できません。



- 5 内部カバーを閉め、プリンターの内部を元の位置に戻して前面カバーを閉めます。
- 6 背面ユニットを取り付けます。
- 7 電源コードを接続して、本機の電源を入れます。

- 8 プリントヘッドのノズルチェックを実行して、ノズルの目詰まりがないか確認します。

🔗 「プリントヘッドのノズルチェック」61 ページ

参考

LAN/USB ケーブルを本機に接続するときの接続手順は、『セットアップガイド』をご覧ください。お手元に『セットアップガイド』がないときは、<https://epson.sn> からお使いの機種を選択してご覧いただけます。

接続手順は動画でもご覧いただけます。
[動画マニュアル](#)


システム条件

各ソフトウェアは、以下の環境で使用できます。（2022年5月現在）
 対応 OS 等は、変更されることがあります。
 最新の情報は、エプソンのウェブサイト（<https://www.epson.jp>）をご覧ください。

プリンタードライバー


Windows PC

オペレーティングシステム	Windows 11 Windows 10/Windows 10 x64 Windows 8.1/Windows 8.1 x64
CPU	Intel Core 2 Duo 3.0 GHz 以上
空きメモリー領域	1 GB 以上
ハードディスク（インストール時空き容量）	2 GB 以上
ディスプレイ解像度	SXGA（1280×1080）以上
本機との接続方法*	USB 接続、有線または無線 LAN 接続

* 対応する接続方法の詳細（インターフェイスの仕様）は以下を参照
 [「仕様一覧」143 ページ](#)

Mac

オペレーティングシステム	OS X 10.9.5 Mavericks 以降
CPU	Intel Core 2 Duo 2.0 GHz 以上
主記憶メモリー	2 GB 以上
ハードディスク（インストール時空き容量）	2 GB 以上
ディスプレイ解像度	WXGA+（1440×900）以上
本機との接続方法*	USB 接続、有線または無線 LAN 接続


* 対応する接続方法の詳細（インターフェイスの仕様）は以下を参照
 [「仕様一覧」143 ページ](#)

メンテナンスツール

Windows PC


オペレーティングシステム	Windows 11 Windows 10/Windows 10 x64 Windows 8.1/Windows 8.1 x64
CPU	Intel Core 2 Duo 3.0 GHz 以上
空きメモリー領域	1 GB 以上
ハードディスク（インストール時空き容量）	2 GB 以上
ディスプレイ解像度	SXGA（1280×1080）以上

本機との接続方法*	USB 接続、有線または無線 LAN 接続
-----------	-----------------------

* 対応する接続方法の詳細（インターフェイスの仕様）は以下を参照
 [「仕様一覧」143 ページ](#)

Mac

オペレーティングシステム	OS X 10.9.5 Mavericks 以降
CPU	Intel Core 2 Duo 2.0 GHz 以上
主記憶メモリー	2 GB 以上
ハードディスク（インストール時空き容量）	2 GB 以上
ディスプレイ解像度	WXGA+（1440×900）以上
本機との接続方法*	USB 接続、有線または無線 LAN 接続

* 対応する接続方法の詳細（インターフェイスの仕様）は以下を参照
 [「仕様一覧」143 ページ](#)

Web Config

ブラウザは最新バージョンをお使いください。

Windows PC

ブラウザ	Internet Explorer 11、Microsoft Edge、Mozilla Firefox、Google Chrome
------	---

Mac

ブラウザ	Safari、Mozilla Firefox、Google Chrome
------	--------------------------------------

仕様一覧

基本仕様	
印字方式	オンデマンドインクジェット方式
ノズル配列	各色 180 ノズル
最高解像度	1440×720dpi
紙送り方式	フリクションフィード

！重要

本機は、標高 2000m 以下でお使いください。

電気関係仕様	
定格電圧	AC 100-120 V
定格周波数	50-60 Hz
定格電流	0.9 A
消費電力	動作時:約 18 W レディー時:約 3.8 W スリープモード時:約 1.4 W 電源オフ時:約 0.2 W

インターフェイス仕様	
USB ポート	Hi-Speed USB
有線 LAN 準拠規格	10BASE-T (IEEE802.3i) 100BASE-TX (IEEE802.3u) Energy Efficient Ethernet (IEEE802.3az)*1

インターフェイス仕様

無線 LAN	
準拠規格	IEEE802.11b/g/n/a/ac
周波数帯	IEEE802.11b/g/n: 2.4GHz IEEE802.11a/n/ac: 5GHz
接続モード	インフラストラクチャー Wi-Fi Direct (シンプル AP モード) *2
無線セキュリティ	WEP (64/128bit) WPA-PSK (TKIP) WPA2-PSK (AES) WPA3-SAE (AES) WPA2-Enterprise (AES) (EAP-TLS/PEAPTLS/PEAPMSCHAPv2/EAP-TTLS) WPA3-Enterprise
ネットワーク印刷プロトコル/機能*3	EpsonNet Print (Windows) Standard TCP/IP (Windows) Bonjour (Mac OS) IPP 印刷 (Windows、Mac OS) Mopria Print (Mopria device) Chromebook ネイティブ印刷 AirPrint (iOS、Mac OS)
セキュリティ規格/プロトコル	SSL/TLS: HTTPS Server/Client IPPS Server SMTPS Client STARTTLS (SMTPS) IEEE802.1X IPsec/IP Filtering SNMPv3

*1 IEEE802.3az に対応した接続機器が必要。

*2 IEEE802.11b は非対応。

*3 EpsonNet Print は、IPv4 のみ対応。他は IPv4 と IPv6 の両方に対応。

用紙カセット (給紙エリア) 仕様

用紙幅	89~102 mm
用紙長さ	127~152 mm 自動両面印刷時: 148~152 mm
用紙厚	0.20~0.265 mm

用紙カセット (排紙エリア) 仕様

容量	100 枚
用紙サイズ	定型サイズ: KG サイズ (102 x 152 mm) 以下 不定型サイズ: 幅: 89~102 mm、長さ: 127~152 mm

インク仕様

形態	インクボトル
インク種	6 色水性染料
有効期限	製造時から 5 年

インク仕様

保存温度	梱包保存時: -20~40 °C (-20 °Cの場合 4 日以内、40 °Cの場合 1 カ月以内) 梱包輸送時: -20~60 °C (-20 °Cの場合 4 日以内、40 °Cの場合 1 カ月以内、60 °Cの場合 72 時間以内)
容量	70 ml
外形寸法	直径: 37.8 mm 高さ: 138.7 mm

！重要

インクボトル中のインクは-14 °C以下の環境で長時間放置すると凍結します。万一凍結した場合は、室温（25 °C）で2時間以上かけて解凍してから使用してください（非結露）。

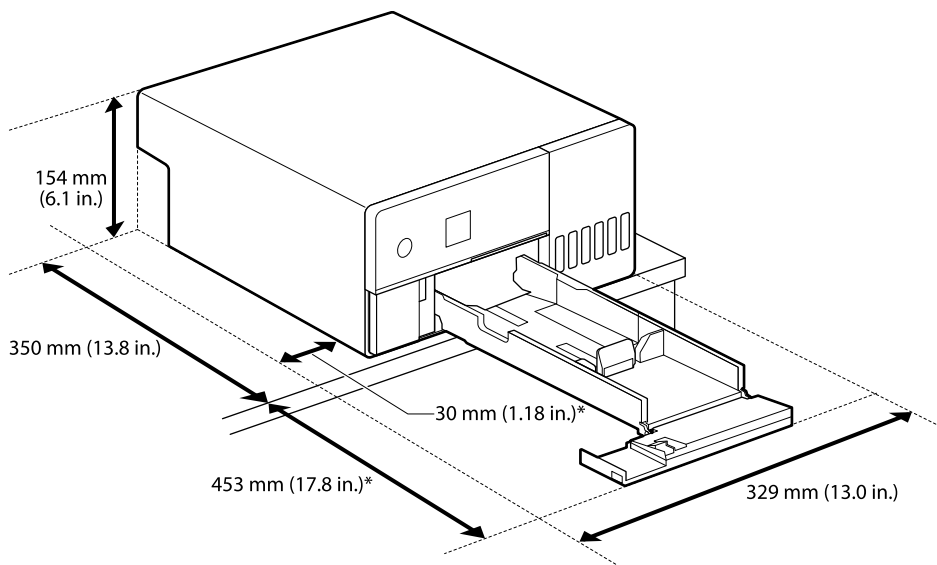
総合仕様

温度	動作時: 10~35 °C 保存時（開梱前）: -20~60 °C（60 °Cの場合 120 時間以内、40 °Cの場合 1 カ月以内） 保存時（開梱後）: -20~40 °C（40 °Cの場合 1 カ月以内）
湿度	動作時: 20~80 %（非結露） 保存時（開梱前）: 5~85 %（非結露） 保存時（開梱後）: 5~85 %（非結露）
質量	本体: 7.0 kg（インク含まず）
外形寸法	本体: 299（幅）×350（長さ）×154（高さ）mm 📄 「必要スペース」 145 ページ

参考

銘板は本機の底面に貼り付けられています。

必要スペース



*作業時に必要なスペース

サービス・サポートのご案内

エプソンサービスパック

エプソンサービスパックは、ハードウェア保守パックです。

エプソンサービスパック対象製品と同時にご購入の上、登録していただきますと、対象製品購入時から所定の期間（3年、4年、5年等）、出張修理いたします。また、修理のご依頼や故障かどうかわからない場合のご相談等の受付窓口として、専用のヘルプデスクをご用意いたします。

- スピーディーな対応 – スポット出張修理依頼に比べて優先的に迅速にサービスエンジニアを派遣いたします。
- もしものときの安心 – 万が一トラブルが発生した場合は何回でもサービスエンジニアを派遣して修理いたします。
- 手続きが簡単 – ウェブサイトで必要事項を登録、またはエプソンサービスパック登録書をファクスするだけで、契約手続きなどの面倒な事務処理は一切不要です。
- 維持費の予算化 – エプソンサービスパック規約内・期間内であれば、都度修理費用がかからず維持費の予算化が可能です。

エプソンサービスパックは、エプソン製品ご購入販売店にてお買い求めください。

保守サービスのご案内

「故障かな?」と思ったときは、まず「トラブルシューティング」をよくお読みください。そして、接続や設定に間違いがないことをご確認の上、保守サービスの受付窓口にお問い合わせください。

[🔗 「困ったときは」 120 ページ](#)

保証書について

保証期間中に故障した場合には、保証書の記載内容に基づき修理いたします。保証期間や保証事項については、保証書をご覧ください。

保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認いただき、ご提示ください。「お買い上げ年月日」「販売店名」の記載がない場合は、保証書と共に、購入の証憑（領収書、納品書等）となるものを添付のうえご提示ください。

保証書は大切に保管してください。

補修用性能部品および消耗品の保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の保有期間は、製品の製造終了後7年間です。

予告なく外観や仕様、補修用性能部品および消耗品の保有期間などを変更することがあります。

保守サービスの受付窓口

保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- エプソンソリューションコールセンター
[🔗 「お問い合わせ先」 148 ページ](#)

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。

付録

使用頻度や使用目的に合わせてお選びください。詳細は、お買い求めの販売店、エプソン修理のお申し込み窓口までお問い合わせください。

種類		概要	修理代金	
			保証期間内	保証期間外
年間保守契約	出張保守	<ul style="list-style-type: none"> 優先的にサービスエンジニアを派遣し、その場で修理いたします。 修理の都度発生する修理代・部品代*が無償のため、予算化ができて便利です。 定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。 	年間一定の保守料金	
	持込保守	<ul style="list-style-type: none"> お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、お預かりして修理いたします。 修理の都度発生する修理代・部品代*が無償のため、予算化ができて便利です。 	年間一定の保守料金	
スポット出張修理		<ul style="list-style-type: none"> お客様からご連絡いただいて数日以内にサービスエンジニアを派遣し、その場で修理いたします。 	有償 （出張料のみ） 修理完了後、その都度お支払いください	有償 （出張料+技術料+部品代） 修理完了後、その都度お支払いください
引取修理（ドア to ドア）		<ul style="list-style-type: none"> ご指定の日時・場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです。お客様による梱包・送付の必要はありません。 修理代金とは別に引取料金（保証期間内外とも一律）が必要です。 	有償 （引取料金のみ） 修理完了品をお届けしたときにお支払いください	有償 （引取料金+修理代金） 修理完了品をお届けしたときにお支払いください
持込／送付修理		<ul style="list-style-type: none"> お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、お預かりして修理いたします。 	無償	有償 （基本料+技術料+部品代） 修理完了品をお届けしたときにお支払いください

* 消耗品（インクボトル、メンテナンスボックス、用紙など）は保守対象外です。

！重要

- エプソン純正品以外あるいはエプソン品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。
- インクの注入時、および保管時における、手、衣服、床等へのインク汚れには充分注意してください。なお、そのインク汚れに伴う損害については責任を負いかねますのでご了承ください。

お問い合わせ先

●エプソンのウェブサイト epson.jp

各種製品情報・ドライバー類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのウェブサイトです。

●修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先(エプソンソリューションコールセンター)

050-3155-8690

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8431へお問い合わせください。

●製品の新規ご購入に関するご質問・ご相談先

製品の購入をお考えになっている方の専用窓口です。製品の機能や仕様など、お気軽にお電話ください。

050-3155-8380

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8413へお問い合わせください。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスを利用しています。
上記電話番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話(一般回線)からおかけいただくか、各◎印の電話番号におかけくださいますようお願いいたします。

● MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンターをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス!

myepson.jp/

▶ カンタンな質問に答えて
会員登録。

●消耗品のご購入

製品取扱販売店で買い求めください。

本ページに記載の情報は予告無く変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
最新の情報はエプソンのウェブサイト(epson.jp/support)にてご確認ください。

エプソン販売 株式会社 〒160-8801 東京都新宿区新宿四丁目1番6号 JR新宿ミライナタワー
セイコーエプソン 株式会社 〒392-8502 長野県諏訪市大和三丁目3番5号

ビジネス(インク2) 2024.10

製品に関する諸注意

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがあります。弊社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品の不具合に起因する付随的損害

万一、本製品（添付のソフトウェア等も含みます）の不具合によって所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失等）は、補償致しかねます。

本製品の使用限定

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で弊社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認の上、ご判断ください。

液晶画面について

画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。また液晶の特性上、明るさにムラが生じることがありますが、故障ではありません。

プリンター本体の廃棄

産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。

複製が禁止されている印刷物

紙幣、有価証券などをプリンターで印刷すると、その印刷物の使用如何に係わらず、法律に違反し、罰せられます。（関連法律）刑法第 148 条、第 149 条、第 162 条 通貨及証券模造取締法第 1 条、第 2 条など

以下の行為は、法律により禁止されています。

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券を複製すること（見本印があっても不可）
 - 日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類を複製すること
 - 政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、郵便はがきなどを複製すること
 - 政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類を複製すること
- 次のものは、複製するにあたり注意が必要です。
- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券など
 - パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

著作権

写真・書籍・地図・図面・絵画・版画・音楽・映画・プログラムなどの著作権物は、個人（家庭内その他これに準ずる限られた範囲内）で使用するために複製する以外は著作権者の承認が必要です。

電波障害自主規制

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

瞬時電圧低下

本製品は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。（社団法人 電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

電源高調波

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

セキュリティーに関するご注意

お客様の権利（プライバシー保護）に関する重要な事項です。

本製品などの無線 LAN 製品では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してコンピューターなどと無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えて全ての場所に届くため、セキュリティーに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が電波を故意に傍受し、ID やパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報、メールの内容などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

- 不正に侵入される

悪意ある第三者が無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、以下のような行為をされてしまう可能性があります。

- 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- コンピューターウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

本来、無線 LAN カードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティーの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティーに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。セキュリティーの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティーに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

セキュリティー対策を施さず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむを得ない事情によりセキュリティーの問題が発生してしまった場合は、弊社は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

インターネット回線への接続に関するご注意

本製品のネットワークインターフェイスは、電気通信事業者（移动通信会社、固定通信会社、インターネットサービスプロバイダ等）の通信回線に直接接続することができません。本製品をインターネットに接続する際は、必ずルーターなどを経由し接続してください。

セキュリティーの観点から、本製品はインターネットに直接接続せず、ルーターやファイアウォールなどで保護されたネットワーク内に設置してください。

無線に関するご注意

本製品は、2.4GHz 帯の「2.400GHz～2.497GHz」まで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、以下の事項に注意して使用してください。

- DSSS/OFDM 変調方式採用
- 与干渉距離 40m

2.4 DS4/OF4/FH2

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）、および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

- 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、電波の発射を停止した上、販売店にご連絡頂き、混信回避のための処置など（たとえば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
- その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局、またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、エプソンソリューションコールセンターまでお問合せください。

• チャンネル

IEEE802.11a/n/ac (5GHz 帯) の以下のチャンネルは、屋外での使用が禁止されています。
W52 (CH36～CH48)、W53 (CH52～CH64)

- 本製品は Wi-Fi Alliance の承認を受けた無線機器です。他メーカーの Wi-Fi 承認済み無線機器とも通信が可能です。Wi-Fi 対応製品の詳細は Wi-Fi Alliance のウェブサイト (<http://www.wi-fi.org>) をご参照ください。

オープンソースソフトウェアのライセンス契約について

本製品は当社が権利を有するソフトウェアの他にオープンソースソフトウェアを利用しています。
オープンソースソフトウェアと各ライセンスの契約書全文は、以下に記載されています。

Windows

64 bit: %ProgramFiles(x86)%¥EPSON¥SL-D500 Series¥License¥License.txt

32 bit: %ProgramFiles%¥EPSON¥SL-D500 Series¥License¥License.txt

Linux

/usr/share/doc/epson-inkjet-printer-sld500-series/COPYING.LIB

/usr/share/doc/epson-inkjet-printer-sld500-series/COPYING.EPSON